

子どもの生活実態調査
市民アンケート
中間報告

札幌市

目次

集計方法等について.....	5
1 所得階層について.....	5
2 世帯類型について.....	5
3 集計結果の示し方について.....	6
第一部 保護者回答結果より.....	8
1 調査回答世帯について（単純集計）.....	8
・学年 ・世帯類型 ・所得階層 ・回答者とお子さんとの関係	
・回答者の年齢 ・家族に含まれる人の組み合わせ	
2 働き方について.....	13
・母親の就業状況 ・父親の就業状況	
3 家計・生活不安について.....	17
・家計の状況 ・電気、ガス、水道の支払い滞納状況 ・今後の生活への不安	
4 健康について.....	24
・保護者の健康状況 ・保護者の心の健康状態 ・子どもの健康状況	
・子どもに必要な病院受診をさせなかった経験	
・自身が必要な病院受診をしなかった経験	
5 進学について.....	34
・子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか（小5・中2保護者）	
・高校卒業後の進路についてどのように考えているか（高2の保護者）	
・教育を受けさせるためのお金の準備（小5・中2保護者）	
6 相談相手・制度の利用について.....	41
・子ども、子育てについての悩みを相談する相手	
・子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）	
・子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）	
・手当等の制度利用（生活保護） ・手当等の制度利用（就学援助）	
7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について.....	51
・母親の仕事への影響 ・父親の仕事への影響 ・回答者自身への影響	
・子どもへの影響 ・家庭の家計への影響	

第二部 子ども回答結果より	68
1 自分の家の暮らし向き.....	68
・自分の家の暮らし向き	
2 居場所・相談相手・食事等について.....	71
・平日の放課後一緒に過ごす相手（一人である）	・ほっとできる場所
・悩みごとの相談相手	・平日に夕食をだれと食べるか
3 進学・勉強時間・成績について.....	79
・どの段階まで進学したいか	
・どの段階まで進学したかという問に「高校まで」と答えた理由	
・授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）	
・成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか	
4 健康（精神衛生）について.....	87
・抑うつ尺度	・自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス集計

調査概要

集計方法等について

1 所得階層について

【所得階層（表3）の算出方法】

本報告書で用いられる5区分の所得階層は、2019年の国民生活基礎調査における貧困率の推計に用いられる「相対所得貧困線」を基準線として用い、その倍率に準じて設定している。該当する倍率は、「低所得層Ⅰ」：1.0倍未満、「低所得層Ⅱ」：1.0～1.4倍未満、「中間所得層Ⅰ」：1.4～1.8倍未満、「中間所得層Ⅱ」：1.8～2.5倍未満、「上位所得層」2.5倍以上である。基準線（相対所得貧困線）は、一人当たり等価可処分所得の中央値の50%であり、2019年国民生活基礎調査では127万円である。これに世帯人数の平方根を掛けて、世帯人数ごとの基準線を設定した。

調査では、50万刻みの選択肢（800万以上は100万刻み）で年間所得の回答を求めている。これは当初所得なので、可処分所得に変換する必要がある。国民生活基礎調査では、所得5分位階層ごとに、所得範囲と平均所得（a）、平均可処分所得（b）を示している。これによって、それぞれの所得分位（所得範囲）ごとの平均所得と平均可処分所得の比を求めることができる。この比を係数として用い、当該世帯の可処分所得の推計値を算出し、該当する上記の所得階層区分を当てはめた。

本調査では、基本的に50万刻みの選択肢で「所得の幅」把握しているため、選択肢の区分線と所得階層区分線が一致しない場合が生ずる。これについては、ずれの幅の小さいほうの所得階層に区分することとした。

※ 国の子どもの貧困率等の基となる国民生活基礎調査では、詳しい聞き取りの方法により可処分所得の回答を得ているが、本アンケート調査では、年間収入から可処分所得を推計しており、調査・集計方法が異なるため単純な比較はできない。

2 世帯類型について

世帯類型は、「父+母+子」と「父+母+子+祖父母」（祖父のみ、祖母のみの場合を含む。以下同様）を「ふたり親世帯」とし、「母+子」、「母+子+祖父母」、「父+子」、「父+子+祖父母」を「ひとり親世帯」として、調査結果を示している。

3 集計結果の示し方について

- ・この集計では、一部を除き、各設問ごとに、学年、世帯類型、所得階層とのクロス集計を示している。
- ・集計は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答割合(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- ・文章中及び図表内の「n=〇〇」はその設問についての回答者数を示している。
- ・集計した表には「不明」(無回答・無効回答を合わせたもの)を記載しているが、グラフには「不明」を表記していない。このため、グラフ内の数値を合計しても100.0%とならない。

第一部
保護者回答結果より

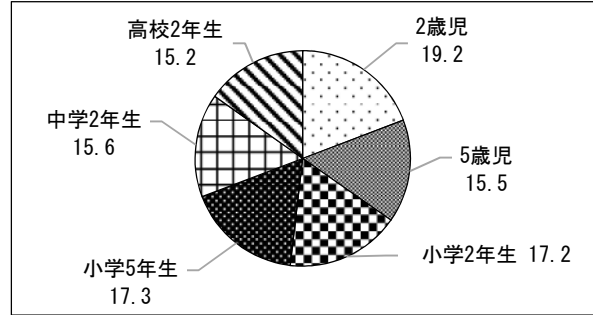
第一部 保護者回答結果より

1 調査回答世帯について（単純集計）

表1 学年

No.	カテゴリ名	n	%
1	2歳児	1398	19.2%
2	5歳児	1131	15.5%
3	小学2年生	1249	17.2%
4	小学5年生	1263	17.3%
5	中学2年生	1133	15.6%
6	高校2年生	1108	15.2%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

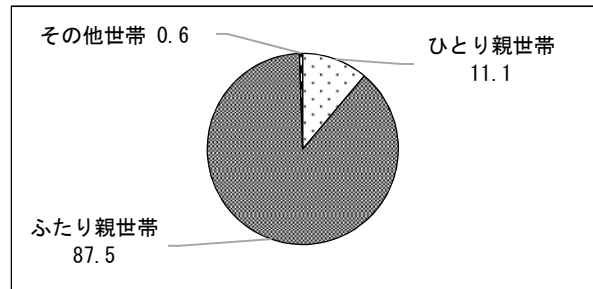


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表2 世帯類型

No.	カテゴリ名	n	%
1	ひとり親世帯	805	11.1%
2	ふたり親世帯	6371	87.5%
3	その他世帯	41	0.6%
	不明	65	0.9%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

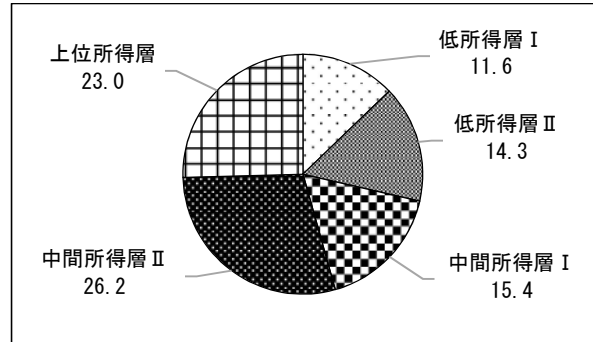


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表3 所得階層

No.	カテゴリ名	n	%
1	低所得層 I	842	11.6%
2	低所得層 II	1040	14.3%
3	中間所得層 I	1122	15.4%
4	中間所得層 II	1905	26.2%
5	上位所得層	1672	23.0%
	不明	701	9.6%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

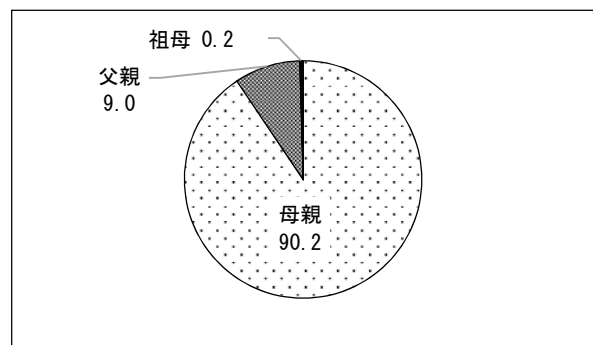


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表4 回答者とお子さんとの関係

No.	カテゴリ名	n	%
1	母親	6571	90.2%
2	父親	652	9.0%
3	きょうだい	6	0.1%
4	祖母	16	0.2%
5	祖父	1	0.0%
6	その他	9	0.1%
	不明	27	0.4%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

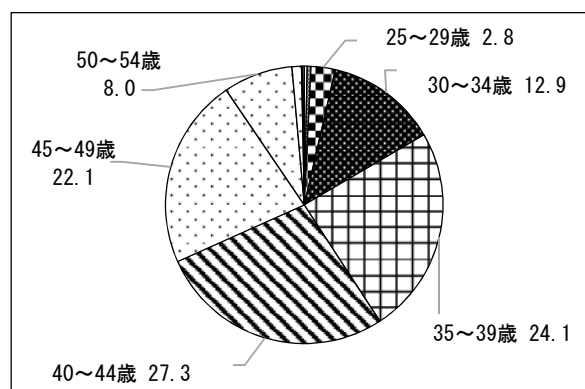


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表5 回答者の年齢

No.	カテゴリ名	n	%
1	～19歳	25	0.3%
2	20～24歳	32	0.4%
3	25～29歳	204	2.8%
4	30～34歳	939	12.9%
5	35～39歳	1755	24.1%
6	40～44歳	1989	27.3%
7	45～49歳	1606	22.1%
8	50～54歳	584	8.0%
9	55～59歳	81	1.1%
10	60～64歳	11	0.2%
11	65歳以上	12	0.2%
	不明	44	0.6%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

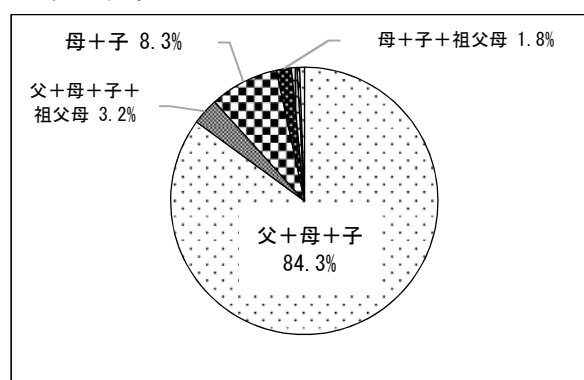


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表6 家族に含まれる人の組み合わせ

No.	カテゴリ名	n	%
1	父+母+子	6139	84.3%
2	父+母+子+祖父母	232	3.2%
3	母+子	604	8.3%
4	母+子+祖父母	130	1.8%
5	父+子	51	0.7%
6	父+子+祖父母	20	0.3%
7	その他	41	0.6%
	不明	65	0.9%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

この中間報告では、子どもの学年別、世帯類型別、所得階層別に主な調査結果を確認していく。そこではじめに、子どもの学年（年齢）、世帯類型、所得階層別の回答者分布および、回答者が誰か（子どもからみた関係）、回答者の年齢を確認しておく。

表1の学年は、保護者の回答にもとづいている。小学5年生以上の学年では、保護者のみ、あるいは子どものみが回答した世帯もある（詳細は「調査概要」の回収率の説明を参照）。したがって、第2部の子ども調査の結果で示す母数と一致していない部分がある。

表6は、「家族に含まれる人の組み合わせ」の回答結果である。このうち、「父+母+子」と「父+母+子+祖父母」（祖父のみ、祖母のみの場合を含む。以下同様）を「ふたり親世帯」とし、「母+子」、「母+子+祖父母」、「父+子」、「父+子+祖父母」を「ひとり親世帯」として、以下、調査結果を示していく（表2）。

この中間報告では、世帯人数と世帯収入に応じた5区分の所得階層を設定した。所得階層区分による調査回答世帯の分布は表3のとおり（*所得階層区分の算出方法は、

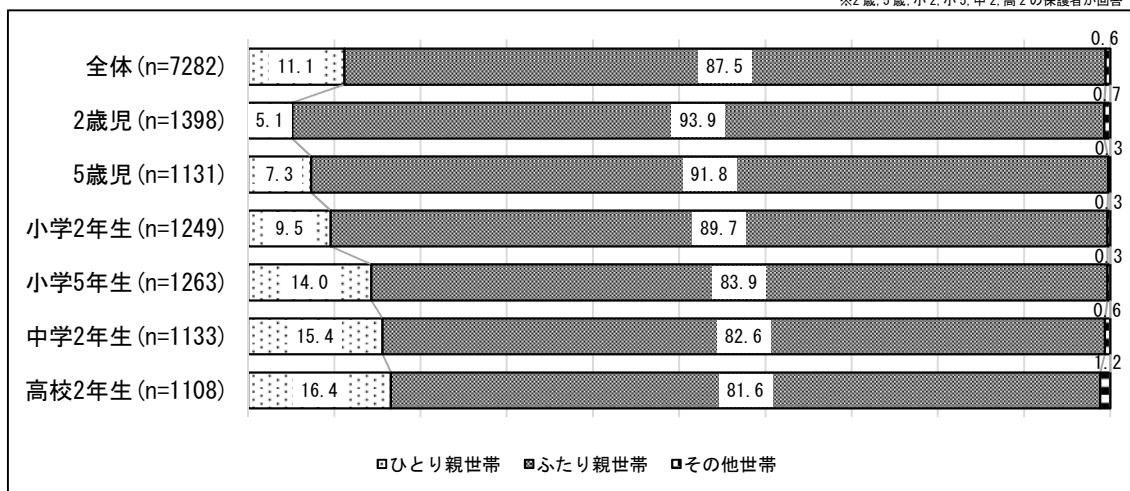
調査結果中間報告「1 所得階層について」を参照)。

回答者のおよそ9割(90.2%)が子どもの母親である(表4)。回答者の年齢の分布は表5のとおりである。

表7 学年と世帯類型のクロス

		合計	世帯類型			
			ひとり親世帯	ふたり親世帯	その他世帯	不明
全体		7282	805	6371	41	65
		100.0%	11.1%	87.5%	0.6%	0.9%
学年	2歳児	1398	71	1313	10	4
		100.0%	5.1%	93.9%	0.7%	0.3%
	5歳児	1131	82	1038	3	8
		100.0%	7.3%	91.8%	0.3%	0.7%
	小学2年生	1249	119	1120	4	6
		100.0%	9.5%	89.7%	0.3%	0.5%
	小学5年生	1263	177	1060	4	22
		100.0%	14.0%	83.9%	0.3%	1.7%
	中学2年生	1133	174	936	7	16
		100.0%	15.4%	82.6%	0.6%	1.4%
	高校2年生	1108	182	904	13	9
		100.0%	16.4%	81.6%	1.2%	0.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

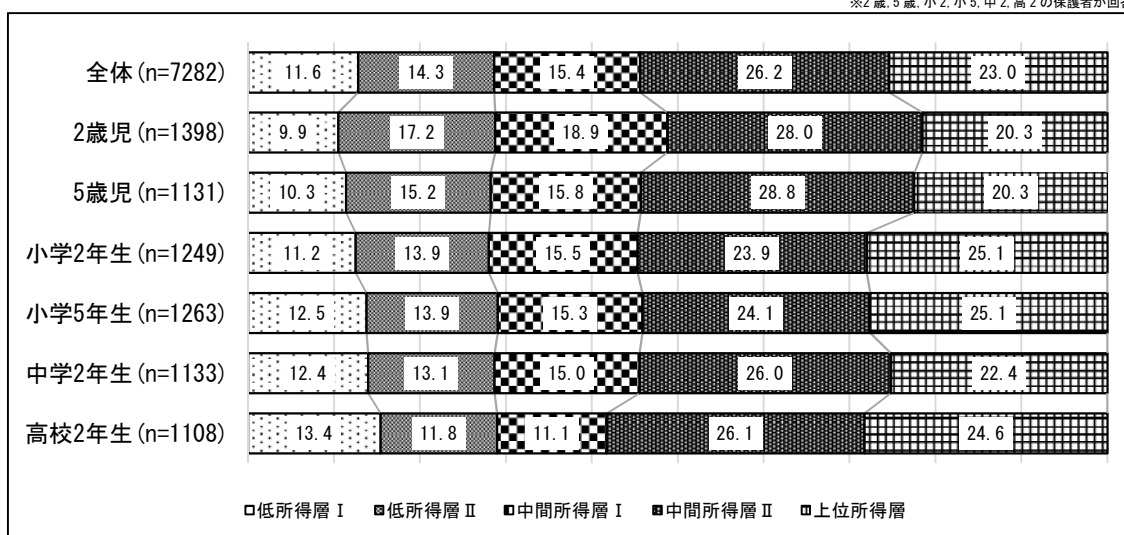


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 8 学年と所得階層のクロス

		合計	所得階層					不明
			低所得層 I	低所得層 II	中間所得層 I	中間所得層 II	上位所得層	
全体		7282 100.0%	842 11.6%	1040 14.3%	1122 15.4%	1905 26.2%	1672 23.0%	701 9.6%
学年	2歳児	1398 100.0%	139 9.9%	241 17.2%	264 18.9%	392 28.0%	284 20.3%	78 5.6%
	5歳児	1131 100.0%	116 10.3%	172 15.2%	179 15.8%	326 28.8%	230 20.3%	108 9.5%
	小学2年生	1249 100.0%	140 11.2%	173 13.9%	193 15.5%	298 23.9%	314 25.1%	131 10.5%
	小学5年生	1263 100.0%	158 12.5%	175 13.9%	193 15.3%	305 24.1%	317 25.1%	115 9.1%
	中学2年生	1133 100.0%	140 12.4%	148 13.1%	170 15.0%	295 26.0%	254 22.4%	126 11.1%
	高校2年生	1108 100.0%	149 13.4%	131 11.8%	123 11.1%	289 26.1%	273 24.6%	143 12.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

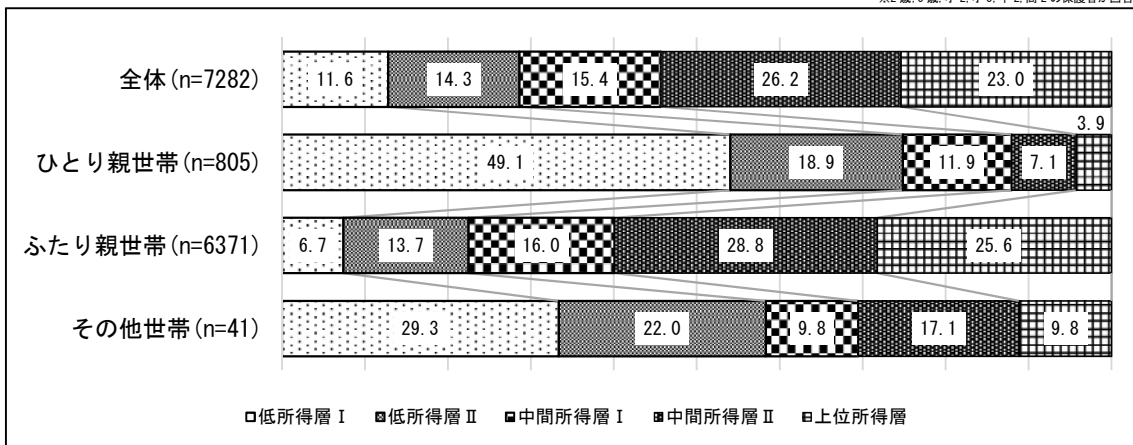


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 9 世帯類型と所得階層のクロス

		合計	所得階層					不明
			低所得層 I	低所得層 II	中間所得層 I	中間所得層 II	上位所得層	
全体		7282 100.0%	842 11.6%	1040 14.3%	1122 15.4%	1905 26.2%	1672 23.0%	701 9.6%
世帯 類型	ひとり親世帯	805 100.0%	395 49.1%	152 18.9%	96 11.9%	57 7.1%	31 3.9%	74 9.2%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	426 6.7%	873 13.7%	1017 16.0%	1833 28.8%	1633 25.6%	589 9.2%
	その他世帯	41 100.0%	12 29.3%	9 22.0%	4 9.8%	7 17.1%	4 9.8%	5 12.2%
	不明	65 100.0%	9 13.8%	6 9.2%	5 7.7%	8 12.3%	4 6.2%	33 50.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

学年ごとの世帯類型および所得階層の分布についても確認しておく、学年が上がるほどひとり親世帯の割合が高くなる（2歳児保護者では5.1%、高2保護者では16.4%）。（表7）。所得階層の分布については、学年によって大きな違いはみられない（表8）。

ひとり親世帯とふたり親世帯それぞれの所得階層分布をみると、ひとり親世帯の49.1%が低所得層Iであるところ、ふたり親世帯の低所得層Iは6.7%である。また、全体的にふたり親世帯よりも所得が低い方に分布している（表9）。ただし、ひとり親世帯とふたり親世帯の母数（回答世帯数）には8倍近い開きがある。実数でみると、低所得層Iに含まれる世帯数はふたり親世帯（426世帯）がひとり親世帯（395世帯）をやや上回る。

2 働き方について

表 10 学年と母親の就業状況のクロス

		合計	母親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	不明
全体		7119 100.0%	1857 26.1%	2557 35.9%	419 5.9%	85 1.2%	257 3.6%	31 0.4%	85 1.2%	1779 25.0%	6 0.1%	43 0.6%
学年	2歳児	1388 100.0%	493 35.5%	265 19.1%	77 5.5%	15 1.1%	32 2.3%	6 0.4%	25 1.8%	466 33.6%	0 0.0%	9 0.6%
	5歳児	1114 100.0%	284 25.5%	369 33.1%	41 3.7%	10 0.9%	47 4.2%	6 0.5%	11 1.0%	339 30.4%	0 0.0%	7 0.6%
	小学2年生	1233 100.0%	302 24.5%	467 37.9%	62 5.0%	19 1.5%	48 3.9%	3 0.2%	15 1.2%	311 25.2%	1 0.1%	5 0.4%
	小学5年生	1224 100.0%	259 21.2%	494 40.4%	83 6.8%	17 1.4%	53 4.3%	9 0.7%	15 1.2%	288 23.5%	0 0.0%	6 0.5%
	中学2年生	1093 100.0%	277 25.3%	471 43.1%	74 6.8%	8 0.7%	51 4.7%	3 0.3%	7 0.6%	191 17.5%	2 0.2%	9 0.8%
	高校2年生	1067 100.0%	242 22.7%	491 46.0%	82 7.7%	16 1.5%	26 2.4%	4 0.4%	12 1.1%	184 17.2%	3 0.3%	7 0.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 11 世帯類型と母親の就業状況のクロス

		合計	母親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	不明
全体		7119 100.0%	1857 26.1%	2557 35.9%	419 5.9%	85 1.2%	257 3.6%	31 0.4%	85 1.2%	1779 25.0%	6 0.1%	43 0.6%
世帯 類型	ひとり親世帯	734 100.0%	282 38.4%	222 30.2%	82 11.2%	7 1.0%	29 4.0%	3 0.4%	11 1.5%	88 12.0%	2 0.3%	8 1.1%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	1572 24.7%	2330 36.6%	336 5.3%	78 1.2%	226 3.5%	28 0.4%	74 1.2%	1688 26.5%	4 0.1%	35 0.5%
	その他世帯	14 100.0%	3 21.4%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 12 所得階層と母親の就業状況のクロス

		合計	母親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	不明
全体		7119 100.0%	1857 26.1%	2557 35.9%	419 5.9%	85 1.2%	257 3.6%	31 0.4%	85 1.2%	1779 25.0%	6 0.1%	43 0.6%
所得階層	低所得層 I	815 100.0%	150 18.4%	359 44.0%	78 9.6%	10 1.2%	47 5.8%	4 0.5%	12 1.5%	147 18.0%	1 0.1%	7 0.9%
	低所得層 II	1018 100.0%	190 18.7%	421 41.4%	57 5.6%	9 0.9%	41 4.0%	6 0.6%	11 1.1%	275 27.0%	0 0.0%	8 0.8%
	中間所得層 I	1100 100.0%	234 21.3%	440 40.0%	71 6.5%	6 0.5%	32 2.9%	5 0.5%	14 1.3%	294 26.7%	1 0.1%	3 0.3%
	中間所得層 II	1879 100.0%	510 27.1%	702 37.4%	110 5.9%	16 0.9%	52 2.8%	11 0.6%	17 0.9%	453 24.1%	1 0.1%	7 0.4%
	上位所得層	1648 100.0%	669 40.6%	384 23.3%	78 4.7%	39 2.4%	51 3.1%	4 0.2%	20 1.2%	398 24.2%	1 0.1%	4 0.2%
	不明	659 100.0%	104 15.8%	251 38.1%	25 3.8%	5 0.8%	34 5.2%	1 0.2%	11 1.7%	212 32.2%	2 0.3%	14 2.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

学年別に母親の働き方をみると、学年が上がるほど働いていない人の割合は減少する（2歳児保護者では33.6%、高2保護者では17.2%）。一方で、パート・アルバイトで働いている人の割合が増加する（2歳児保護者では19.1%、高2保護者では46.0%）。正規の職員・従業員は2歳児保護者で最も高い（35.5%）（表10）。

世帯類型別に母親の働き方をみると、ひとり親世帯の方がふたり親世帯より母親が働いていない割合が少ない（ひとり親世帯では12.0%、ふたり親世帯では26.5%）。一方でひとり親世帯の方が正規の職員・従業員である割合が高い（ひとり親世帯では38.4%、ふたり親世帯では24.7%）。パート・アルバイトでは大きな差はみられない（ひとり親世帯では30.2%、ふたり親世帯では36.6%）。また、ひとり親世帯の方がふたり親世帯より派遣社員・契約社員・嘱託である人の割合も多い（ひとり親世帯では11.2%、ふたり親世帯では5.3%）。（表11）。

所得階層別に母親の働き方をみると、上位所得層では40.6%の母親が正規の職員・従業員である。一方で、低所得層 I でも18.4%の母親が正規の職員・従業員として働いている。また、上位所得層を除いた4つの所得階層ではいずれもパート・アルバイトの働き方が最も多く4割前後となっている。働いていない母親の割合は、低所得層 I が最も低い（18.0%）（表12）。

表 13 学年と父親の就業状況のクロス

		合計	父親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	不明
全体		6449 100.0%	5243 81.3%	46 0.7%	109 1.7%	360 5.6%	548 8.5%	2 0.0%	35 0.5%	50 0.8%	9 0.1%	47 0.7%
学年	2歳児	1317 100.0%	1102 83.7%	11 0.8%	26 2.0%	60 4.6%	97 7.4%	0 0.0%	5 0.4%	11 0.8%	2 0.2%	3 0.2%
	5歳児	1045 100.0%	859 82.2%	5 0.5%	15 1.4%	63 6.0%	81 7.8%	0 0.0%	6 0.6%	7 0.7%	2 0.2%	7 0.7%
	小学2年生	1130 100.0%	926 81.9%	11 1.0%	21 1.9%	66 5.8%	86 7.6%	0 0.0%	2 0.2%	8 0.7%	0 0.0%	10 0.9%
	小学5年生	1075 100.0%	844 78.5%	8 0.7%	17 1.6%	65 6.0%	111 10.3%	2 0.2%	10 0.9%	8 0.7%	0 0.0%	10 0.9%
	中学2年生	956 100.0%	769 80.4%	6 0.6%	12 1.3%	52 5.4%	93 9.7%	0 0.0%	4 0.4%	6 0.6%	3 0.3%	11 1.2%
	高校2年生	926 100.0%	743 80.2%	5 0.5%	18 1.9%	54 5.8%	80 8.6%	0 0.0%	8 0.9%	10 1.1%	2 0.2%	6 0.6%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 14 世帯類型と父親の就業状況のクロス

		合計	父親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	不明
全体		6449 100.0%	5243 81.3%	46 0.7%	109 1.7%	360 5.6%	548 8.5%	2 0.0%	35 0.5%	50 0.8%	9 0.1%	47 0.7%
世帯 類型	ひとり親世帯	71 100.0%	46 64.8%	2 2.8%	1 1.4%	5 7.0%	8 11.3%	0 0.0%	3 4.2%	3 4.2%	0 0.0%	3 4.2%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	5193 81.5%	44 0.7%	107 1.7%	355 5.6%	540 8.5%	2 0.0%	31 0.5%	47 0.7%	9 0.1%	43 0.7%
	その他世帯	7 100.0%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 15 所得階層と父親の就業状況のクロス

		合計	父親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	不明
全体		6449 100.0%	5243 81.3%	46 0.7%	109 1.7%	360 5.6%	548 8.5%	2 0.0%	35 0.5%	50 0.8%	9 0.1%	47 0.7%
所得階層	低所得層 I	438 100.0%	252 57.5%	16 3.7%	31 7.1%	25 5.7%	80 18.3%	0 0.0%	10 2.3%	18 4.1%	3 0.7%	3 0.7%
	低所得層 II	889 100.0%	693 78.0%	14 1.6%	26 2.9%	31 3.5%	103 11.6%	0 0.0%	5 0.6%	10 1.1%	0 0.0%	7 0.8%
	中間所得層 I	1030 100.0%	865 84.0%	1 0.1%	16 1.6%	45 4.4%	86 8.3%	1 0.1%	2 0.2%	5 0.5%	2 0.2%	7 0.7%
	中間所得層 II	1849 100.0%	1649 89.2%	7 0.4%	15 0.8%	73 3.9%	93 5.0%	0 0.0%	7 0.4%	2 0.1%	0 0.0%	3 0.2%
	上位所得層	1649 100.0%	1337 81.1%	6 0.4%	14 0.8%	155 9.4%	110 6.7%	1 0.1%	9 0.5%	8 0.5%	0 0.0%	9 0.5%
	不明	594 100.0%	447 75.3%	2 0.3%	7 1.2%	31 5.2%	76 12.8%	0 0.0%	2 0.3%	7 1.2%	4 0.7%	18 3.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

父親の働き方については、全体のおよそ8割（81.3%）が正規の職員・従業員であり、1割弱（8.5%）が自営業である。これは学年別でもおおむね同様である（表13）。

世帯類型別に父親の働き方をみる際は、ひとり親世帯（父子世帯）の回答世帯数が少ない（71世帯）ことに留意する必要がある。正規の職員・従業員である割合はひとり親世帯の方がふたり親世帯より低い（ひとり親世帯では64.8%、ふたり親世帯では81.5%）ものの、ひとり親世帯の父親の回答として最も高い割合である（表14）。

所得階層別に父親の働き方をみると、低所得層 I において、他の階層より正規の職員・従業員の割合が低く（それでも57.5%と半数を超える）、働いていないという回答が他の所得階層より高い（しかしながら4.1%、18世帯にとどまる）（表15）。

3 家計・生活不安について

表 16 学年と家計の状況のクロス

		合計	家計の状況					不明
			毎月貯金をしている 黒字であり	貯金はしていない 黒字ではあるが	ぎりぎりである 黒字でも赤字でもなく	貯金をとりくずしている 赤字であり	借金をして生活をしている 赤字であり	
全体		7282 100.0%	2774 38.1%	604 8.3%	2549 35.0%	783 10.8%	340 4.7%	232 3.2%
学年	2歳児	1398 100.0%	569 40.7%	126 9.0%	439 31.4%	163 11.7%	76 5.4%	25 1.8%
	5歳児	1131 100.0%	436 38.5%	101 8.9%	406 35.9%	118 10.4%	43 3.8%	27 2.4%
	小学2年生	1249 100.0%	498 39.9%	108 8.6%	421 33.7%	127 10.2%	49 3.9%	46 3.7%
	小学5年生	1263 100.0%	499 39.5%	94 7.4%	445 35.2%	126 10.0%	60 4.8%	39 3.1%
	中学2年生	1133 100.0%	412 36.4%	103 9.1%	414 36.5%	115 10.2%	46 4.1%	43 3.8%
	高校2年生	1108 100.0%	360 32.5%	72 6.5%	424 38.3%	134 12.1%	66 6.0%	52 4.7%

表 17 世帯類型と家計の状況のクロス

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

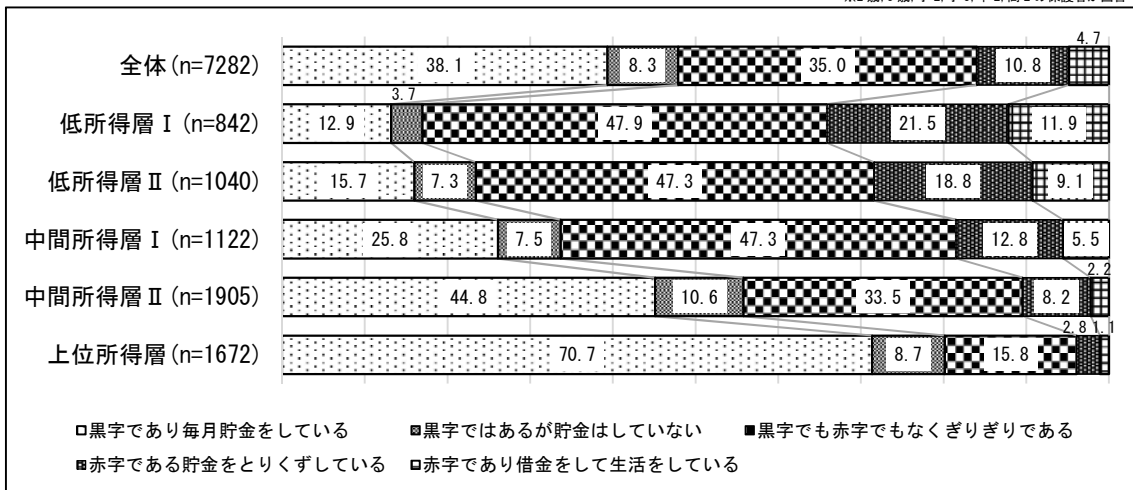
		合計	家計の状況					不明
			毎月貯金をしている 黒字であり	貯金はしていない 黒字ではあるが	ぎりぎりである 黒字でも赤字でもなく	貯金をとりくずしている 赤字であり	借金をして生活をしている 赤字であり	
全体		7282 100.0%	2774 38.1%	604 8.3%	2549 35.0%	783 10.8%	340 4.7%	232 3.2%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	159 19.8%	44 5.5%	379 47.1%	125 15.5%	65 8.1%	33 4.1%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	2599 40.8%	550 8.6%	2133 33.5%	642 10.1%	266 4.2%	181 2.8%
	その他世帯	41 100.0%	7 17.1%	7 17.1%	15 36.6%	5 12.2%	4 9.8%	3 7.3%
	不明	65 100.0%	9 13.8%	3 4.6%	22 33.8%	11 16.9%	5 7.7%	15 23.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 18 所得階層と家計の状況のクロス

		合計	家計の状況					不明
			黒字であり 毎月貯金をしている	黒字ではあるが 貯金はしていない	ぎりぎりである	黒字でも赤字でもなく ぎりぎりである	貯金をとりくずしている 赤字であり	
全体		7282 100.0%	2774 38.1%	604 8.3%	2549 35.0%	783 10.8%	340 4.7%	232 3.2%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	109 12.9%	31 3.7%	403 47.9%	181 21.5%	100 11.9%	18 2.1%
	低所得層 II	1040 100.0%	163 15.7%	76 7.3%	492 47.3%	195 18.8%	95 9.1%	19 1.8%
	中間所得層 I	1122 100.0%	290 25.8%	84 7.5%	531 47.3%	144 12.8%	62 5.5%	11 1.0%
	中間所得層 II	1905 100.0%	854 44.8%	201 10.6%	638 33.5%	157 8.2%	41 2.2%	14 0.7%
	上位所得層	1672 100.0%	1182 70.7%	145 8.7%	265 15.8%	46 2.8%	19 1.1%	15 0.9%
	不明	701 100.0%	176 25.1%	67 9.6%	220 31.4%	60 8.6%	23 3.3%	155 22.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

家計の状況に関する回答を学年別にみると、2歳児保護者から小5保護者までは「黒字で毎月貯金をしている」という回答がもっとも多いが（2歳児保護者では40.7%、5歳児保護者では38.5%、小2保護者では39.9%、小5保護者では39.5%）、中2では「黒字で毎月貯金をしている」（36.4%）と「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」（36.5%）がほぼ同数となり、高2保護者では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が最も多くなる（38.3%）（表16）。

世帯類型別にみると、ふたり親世帯では「黒字で毎月貯金をしている」が40.8%で最も多いのに対し、ひとり親世帯では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が47.1%で最も多い。また、ひとり親世帯の方が「赤字で貯金を取りくずしている」世帯や「赤字で借金をしている」世帯の割合が高い（「赤字で貯金を取りくずしている」はひとり親世帯では15.5%、ふたり親世帯では10.1%、「赤字で借金をしている」はひとり親世帯では8.1%、ふたり親世帯では4.2%）（表17）。

所得階層と家計状況の関連は明確である。所得が高いほど「黒字で毎月貯金をしている」割合が高くなり、上位所得層では7割を超える（70.7%）。中間所得層Ⅰ以下では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」世帯が半数近くを占める（中間所得層Ⅰでは47.3%、低所得層Ⅱでは47.3%、低所得層Ⅰでは47.9%）。また、所得階層が低くなるほど、「赤字で貯金を取りくずしている」や「赤字で借金をしている」という回答が多くなる（「赤字で貯金を取りくずしている」は中間所得層Ⅰでは12.8%、低所得層Ⅱでは18.8%、低所得層Ⅰでは21.5%、「赤字で借金をしている」は中間所得層Ⅰでは5.5%、低所得層Ⅱでは9.1%、低所得層Ⅰでは11.9%）（表18）。

表19 学年と電気、ガス、水道の支払い滞納状況のクロス

		合計	電気、ガス、水道の支払い滞納状況			
			あった	なかった	払う必要がない	不明
全体		7282 100.0%	290 4.0%	6766 92.9%	118 1.6%	108 1.5%
学年	2歳児	1398 100.0%	63 4.5%	1295 92.6%	30 2.1%	10 0.7%
	5歳児	1131 100.0%	27 2.4%	1071 94.7%	14 1.2%	19 1.7%
	小学2年生	1249 100.0%	53 4.2%	1163 93.1%	21 1.7%	12 1.0%
	小学5年生	1263 100.0%	54 4.3%	1172 92.8%	16 1.3%	21 1.7%
	中学2年生	1133 100.0%	49 4.3%	1046 92.3%	16 1.4%	22 1.9%
	高校2年生	1108 100.0%	44 4.0%	1019 92.0%	21 1.9%	24 2.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 20 世帯類型と電気、ガス、水道の支払い滞納状況のクロス

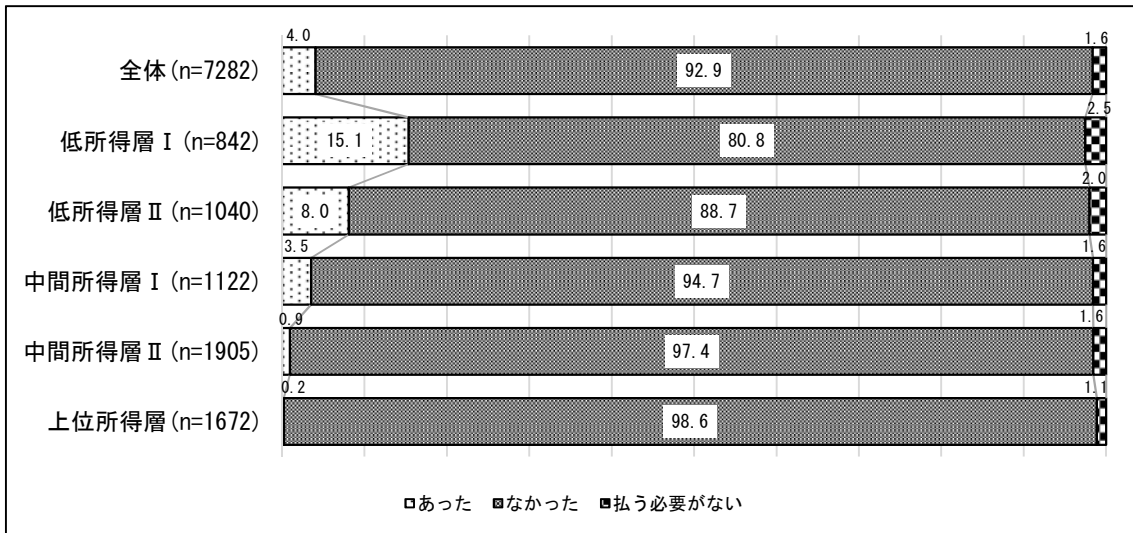
		合計	電気、ガス、水道の支払い滞納状況			
			あった	なかった	払う必要がない	不明
全体		7282 100.0%	290 4.0%	6766 92.9%	118 1.6%	108 1.5%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	95 11.8%	651 80.9%	36 4.5%	23 2.9%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	190 3.0%	6030 94.6%	78 1.2%	73 1.1%
	その他世帯	41 100.0%	2 4.9%	36 87.8%	2 4.9%	1 2.4%
	不明	65 100.0%	3 4.6%	49 75.4%	2 3.1%	11 16.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 21 所得階層と電気、ガス、水道の支払い滞納状況のクロス

		合計	電気、ガス、水道の支払い滞納状況			
			あった	なかった	払う必要がない	不明
全体		7282 100.0%	290 4.0%	6766 92.9%	118 1.6%	108 1.5%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	127 15.1%	680 80.8%	21 2.5%	14 1.7%
	低所得層 II	1040 100.0%	83 8.0%	922 88.7%	21 2.0%	14 1.3%
	中間所得層 I	1122 100.0%	39 3.5%	1063 94.7%	18 1.6%	2 0.2%
	中間所得層 II	1905 100.0%	18 0.9%	1855 97.4%	30 1.6%	2 0.1%
	上位所得層	1672 100.0%	3 0.2%	1649 98.6%	19 1.1%	1 0.1%
	不明	701 100.0%	20 2.9%	597 85.2%	9 1.3%	75 10.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

過去1年間に経済的な理由で「電気、ガス、水道のいずれかの料金」の支払いができなかったことがあるかをたずねた。(表19、表20、表21)。

学年別、世帯類型別、所得階層別のいずれにおいても、支払えないことが「なかった」という回答が8~9割と最も多い。

しかし、ふたり親世帯よりもひとり親世帯で、また、所得の低い階層の方が支払えないことが「あった」という回答割合が高く、ひとり親世帯の11.8%、低所得層1の15.1%および低所得層2の8.0%で、支払いができなかった経験がある。

表 22 学年と今後の生活への不安のクロス

		合計	今後の生活への不安					不明
			感じている	感じている どちらかといえば	どちらともいえない	感じていない	どちらかといえば 感じていない	
全体		7282 100.0%	2427 33.3%	2263 31.1%	1164 16.0%	720 9.9%	566 7.8%	142 2.0%
学年	2歳児	1398 100.0%	482 34.5%	428 30.6%	216 15.5%	154 11.0%	106 7.6%	12 0.9%
	5歳児	1131 100.0%	376 33.2%	368 32.5%	176 15.6%	122 10.8%	74 6.5%	15 1.3%
	小学2年生	1249 100.0%	368 29.5%	425 34.0%	199 15.9%	135 10.8%	99 7.9%	23 1.8%
	小学5年生	1263 100.0%	402 31.8%	394 31.2%	209 16.5%	125 9.9%	109 8.6%	24 1.9%
	中学2年生	1133 100.0%	388 34.2%	337 29.7%	183 16.2%	90 7.9%	101 8.9%	34 3.0%
	高校2年生	1108 100.0%	411 37.1%	311 28.1%	181 16.3%	94 8.5%	77 6.9%	34 3.1%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表 23 世帯類型と今後の生活への不安のクロス

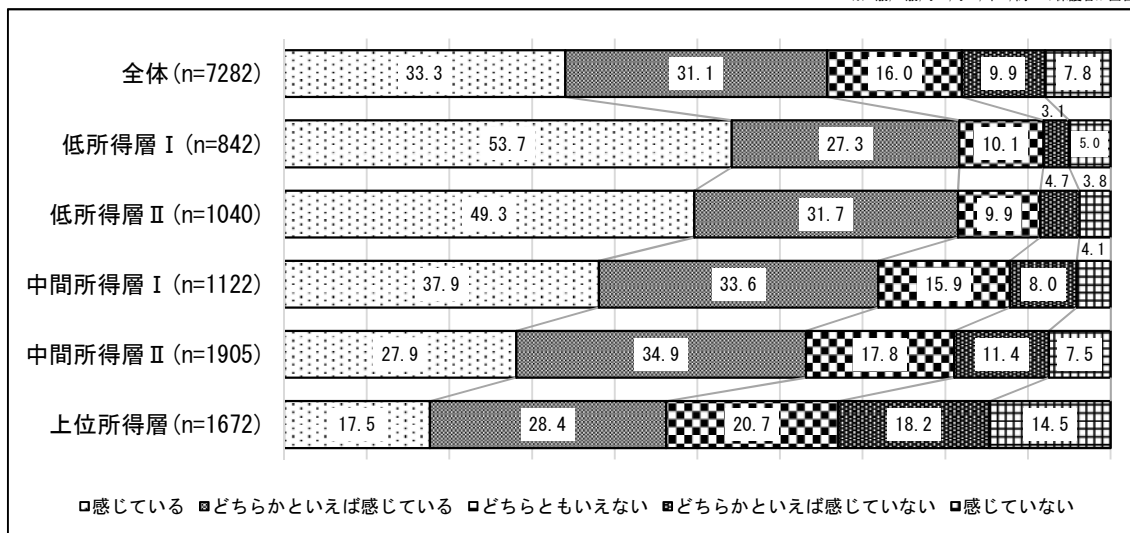
		合計	今後の生活への不安					不明
			感じている	感じている どちらかといえば	どちらともいえない	感じていない	どちらかといえば 感じていない	
全体		7282 100.0%	2427 33.3%	2263 31.1%	1164 16.0%	720 9.9%	566 7.8%	142 2.0%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	419 52.0%	213 26.5%	89 11.1%	35 4.3%	32 4.0%	17 2.1%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	1972 31.0%	2028 31.8%	1057 16.6%	680 10.7%	524 8.2%	110 1.7%
	その他世帯	41 100.0%	15 36.6%	10 24.4%	9 22.0%	3 7.3%	4 9.8%	0 0.0%
	不明	65 100.0%	21 32.3%	12 18.5%	9 13.8%	2 3.1%	6 9.2%	15 23.1%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表 24 所得階層と今後の生活への不安のクロス

		合計	今後の生活への不安					不明
			感じている	感じている どちらかといえば	どちらともいえない	感じている どちらかといえば	感じていない	
全体		7282 100.0%	2427 33.3%	2263 31.1%	1164 16.0%	720 9.9%	566 7.8%	142 2.0%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	452 53.7%	230 27.3%	85 10.1%	26 3.1%	42 5.0%	7 0.8%
	低所得層 II	1040 100.0%	513 49.3%	330 31.7%	103 9.9%	49 4.7%	39 3.8%	6 0.6%
	中間所得層 I	1122 100.0%	425 37.9%	377 33.6%	178 15.9%	90 8.0%	46 4.1%	6 0.5%
	中間所得層 II	1905 100.0%	532 27.9%	664 34.9%	340 17.8%	217 11.4%	142 7.5%	10 0.5%
	上位所得層	1672 100.0%	293 17.5%	475 28.4%	346 20.7%	305 18.2%	243 14.5%	10 0.6%
	不明	701 100.0%	212 30.2%	187 26.7%	112 16.0%	33 4.7%	54 7.7%	103 14.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 22、表 23、表 24 は、「あなたは、今後の生活（経済的・子育てなど）に対して不安を感じていますか」に対する回答である。「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせるとおよそ6割（64.4%）を占め、これは学年別でみても同様である（表 22）。ふたり親世帯よりもひとり親世帯で、また、所得の低い階層になるほど「感じている」という回答の割合が高くなり、ひとり親世帯、低所得層 I では半数を超える（ひとり親世帯では 52.0%、低所得層 I では 53.7%）（表 23、表 24）。

4 健康について

表 25 学年と保護者の健康状態のクロス

	合計	保護者の健康状態（※複数回答）								
		健康である	通院している	入院中である	通院していないが体調が悪い	障がい認定を受けている（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	その他	不明	
全体	7282 —	5926 81.4%	1093 15.0%	5 0.1%	236 3.2%	63 0.9%	63 0.9%	46 0.6%	35 0.5%	
学年	2歳児	1398 —	1197 85.6%	162 11.6%	0 0.0%	45 3.2%	8 0.6%	10 0.7%	15 1.1%	2 0.1%
	5歳児	1131 —	966 85.4%	135 11.9%	0 0.0%	35 3.1%	6 0.5%	3 0.3%	4 0.4%	1 0.1%
	小学2年生	1249 —	1029 82.4%	166 13.3%	1 0.1%	41 3.3%	9 0.7%	11 0.9%	8 0.6%	5 0.4%
	小学5年生	1263 —	1000 79.2%	217 17.2%	3 0.2%	35 2.8%	19 1.5%	17 1.3%	4 0.3%	9 0.7%
	中学2年生	1133 —	896 79.1%	194 17.1%	0 0.0%	41 3.6%	9 0.8%	7 0.6%	5 0.4%	10 0.9%
	高校2年生	1108 —	838 75.6%	219 19.8%	1 0.1%	39 3.5%	12 1.1%	15 1.4%	10 0.9%	8 0.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 26 世帯類型と保護者の健康状態のクロス

	合計	保護者の健康状態（※複数回答）								
		健康である	通院している	入院中である	悪い通院していないが体調が悪い	障がい認定を受けている（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	その他	不明	
全体	7282 —	5926 81.4%	1093 15.0%	5 0.1%	236 3.2%	63 0.9%	63 0.9%	46 0.6%	35 0.5%	
世帯類型	ひとり親世帯	805 —	566 70.3%	194 24.1%	1 0.1%	50 6.2%	14 1.7%	6 0.7%	9 1.1%	4 0.5%
	ふたり親世帯	6371 —	5292 83.1%	875 13.7%	4 0.1%	183 2.9%	47 0.7%	54 0.8%	36 0.6%	20 0.3%
	その他世帯	41 —	27 65.9%	14 34.1%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%
	不明	65 —	41 63.1%	10 15.4%	0 0.0%	2 3.1%	2 3.1%	2 3.1%	0 0.0%	11 16.9%

※2歳、5歳、小2、中2、高2の保護者が回答

表 27 所得階層と保護者の健康状態のクロス

		合計	保護者の健康状態（※複数回答）							
			健康である	通院している	入院中である	悪い 通院していないが体調が	障がい認定を受けている （難病をのぞく）	いる 指定難病の認定を受けて	その他	不明
全体		7282	5926	1093	5	236	63	63	46	35
		—	81.4%	15.0%	0.1%	3.2%	0.9%	0.9%	0.6%	0.5%
所得 階層	低所得層 I	842	608	179	0	49	16	10	5	4
		—	72.2%	21.3%	0.0%	5.8%	1.9%	1.2%	0.6%	0.5%
	低所得層 II	1040	832	153	0	49	12	11	12	2
		—	80.0%	14.7%	0.0%	4.7%	1.2%	1.1%	1.2%	0.2%
	中間所得層 I	1122	932	157	1	34	13	6	5	2
		—	83.1%	14.0%	0.1%	3.0%	1.2%	0.5%	0.4%	0.2%
	中間所得層 II	1905	1598	256	3	47	7	15	13	3
	—	83.9%	13.4%	0.2%	2.5%	0.4%	0.8%	0.7%	0.2%	
上位所得層	1672	1404	250	0	30	5	14	8	1	
	—	84.0%	15.0%	0.0%	1.8%	0.3%	0.8%	0.5%	0.1%	
不明	701	552	98	1	27	10	7	3	23	
	—	78.7%	14.0%	0.1%	3.9%	1.4%	1.0%	0.4%	3.3%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「健康である」と答えた人は全体で81.4%。また、子どもの学年が上がるほど健康である人の割合が低くなり（2歳児保護者では85.6%、高2保護者では75.6%）、通院している人の割合が高くなる（2歳児保護者では11.6%、高2保護者では19.8%）（表25）。ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べて健康である人の割合が低く（ひとり親世帯では70.3%、ふたり親世帯では83.1%）、通院している人や通院していないが体調が悪い人の割合が高い（「通院している」がひとり親世帯では24.1%、ふたり親世帯では13.7%、「通院していないが体調が悪い」がひとり親世帯では6.2%、ふたり親世帯では2.9%）（表26）。

所得階層が低いほど健康である人の割合が低く（低所得層 I では72.2%、上位所得層では84.0%）、通院している人や通院していない人の割合が高い（「通院している」が低所得層 I では21.3%、上位所得層では15.0%、「通院していないが体調が悪い」が低所得層 I では5.8%、上位所得層では1.8%）（表27）。

表 28 学年と保護者の心の健康状態のクロス

		合計	保護者心の健康状態				
			0～4点	5～9点	10～14点	15点以上	不明
全体		7282	5171	1305	471	210	125
		100.0%	71.0%	17.9%	6.5%	2.9%	1.7%
学年	2歳児	1398	968	281	79	54	16
		100.0%	69.2%	20.1%	5.7%	3.9%	1.1%
	5歳児	1131	825	193	69	31	13
		100.0%	72.9%	17.1%	6.1%	2.7%	1.1%
	小学2年生	1249	907	198	93	30	21
		100.0%	72.6%	15.9%	7.4%	2.4%	1.7%
小学5年生	1263	880	228	91	37	27	
	100.0%	69.7%	18.1%	7.2%	2.9%	2.1%	
中学2年生	1133	800	202	77	31	23	
	100.0%	70.6%	17.8%	6.8%	2.7%	2.0%	
高校2年生	1108	791	203	62	27	25	
	100.0%	71.4%	18.3%	5.6%	2.4%	2.3%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答した選択肢より分類

表 29 世帯類型と保護者の心の健康状態のクロス

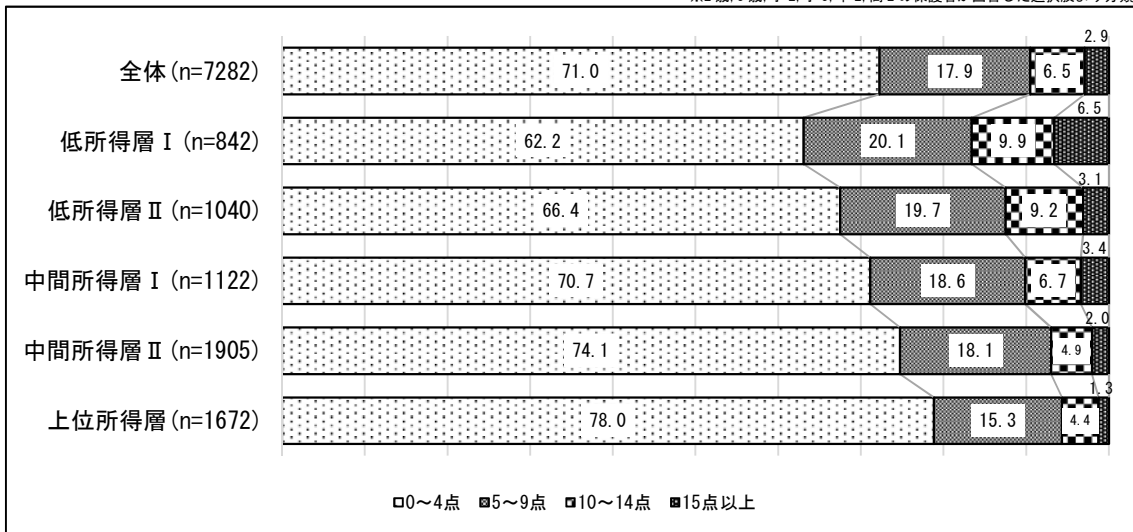
		合計	保護者の心の健康状態				
			0～4点	5～9点	10～14点	15点以上	不明
全体		7282	5171	1305	471	210	125
		100.0%	71.0%	17.9%	6.5%	2.9%	1.7%
世帯類型	ひとり親世帯	805	492	168	73	60	12
		100.0%	61.1%	20.9%	9.1%	7.5%	1.5%
	ふたり親世帯	6371	4619	1120	391	145	96
		100.0%	72.5%	17.6%	6.1%	2.3%	1.5%
その他世帯	41	31	6	3	1	0	
	100.0%	75.6%	14.6%	7.3%	2.4%	0.0%	
不明	65	29	11	4	4	17	
	100.0%	44.6%	16.9%	6.2%	6.2%	26.2%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答した選択肢より分類

表 30 所得階層と保護者の心の健康状態のクロス

		合計	保護者の心の健康状態				
			0~4点	5~9点	10~14点	15点以上	不明
全体		7282	5171	1305	471	210	125
		100.0%	71.0%	17.9%	6.5%	2.9%	1.7%
所得階層	低所得層 I	842	524	169	83	55	11
		100.0%	62.2%	20.1%	9.9%	6.5%	1.3%
	低所得層 II	1040	691	205	96	32	16
		100.0%	66.4%	19.7%	9.2%	3.1%	1.5%
	中間所得層 I	1122	793	209	75	38	7
		100.0%	70.7%	18.6%	6.7%	3.4%	0.6%
中間所得層 II	1905	1411	345	93	39	17	
	100.0%	74.1%	18.1%	4.9%	2.0%	0.9%	
上位所得層	1672	1304	256	73	21	18	
	100.0%	78.0%	15.3%	4.4%	1.3%	1.1%	
不明	701	448	121	51	25	56	
	100.0%	63.9%	17.3%	7.3%	3.6%	8.0%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答した選択肢より分類



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

今回の調査では、保護者に対し過去1か月の心の状態を聞く設問に対する回答を得点化している。高いほど心の健康状態に問題があり、10点以上ではうつ病や不安障害などの可能性がある。

10点以上の方は全体で9.4%であり、子どもの学年による明らかな違いはみられない(表28)。

ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べて10点以上の割合が高い(ひとり親世帯では16.5%、ふたり親世帯では8.4%)(表29)。

所得階層が低いほど10点以上の割合が高く(低所得層Iでは16.4%、上位所得層では5.6%)、低所得層Iと上位所得層では約3倍の違いがある(表30)。

表 31 学年と子どもの健康状態のクロス

		合計	子どもの健康状態（※複数回答）								
			健康である	通院している病気がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	不明
全体		7282	6532	503	2	62	193	23	222	78	36
		—	89.7%	6.9%	0.0%	0.9%	2.7%	0.3%	3.0%	1.1%	0.5%
学年	2歳児	1398	1261	97	0	7	20	6	58	15	3
		—	90.2%	6.9%	0.0%	0.5%	1.4%	0.4%	4.1%	1.1%	0.2%
	5歳児	1131	1030	73	0	1	20	3	41	12	3
		—	91.1%	6.5%	0.0%	0.1%	1.8%	0.3%	3.6%	1.1%	0.3%
	小学2年生	1249	1108	89	0	7	57	3	54	12	5
		—	88.7%	7.1%	0.0%	0.6%	4.6%	0.2%	4.3%	1.0%	0.4%
	小学5年生	1263	1135	87	2	4	51	3	45	12	9
	—	89.9%	6.9%	0.2%	0.3%	4.0%	0.2%	3.6%	1.0%	0.7%	
中学2年生	1133	1004	78	0	19	31	7	19	19	10	
	—	88.6%	6.9%	0.0%	1.7%	2.7%	0.6%	1.7%	1.7%	0.9%	
高校2年生	1108	994	79	0	24	14	1	5	8	6	
	—	89.7%	7.1%	0.0%	2.2%	1.3%	0.1%	0.5%	0.7%	0.5%	

表 32 世帯類型と子どもの健康状態のクロス

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

		合計	子どもの健康状態（※複数回答）								
			健康である	通院している病気がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	不明
全体		7282	6532	503	2	62	193	23	222	78	36
		—	89.7%	6.9%	0.0%	0.9%	2.7%	0.3%	3.0%	1.1%	0.5%
世帯 類型	ひとり親世帯	805	699	77	0	11	38	0	39	10	5
		—	86.8%	9.6%	0.0%	1.4%	4.7%	0.0%	4.8%	1.2%	0.6%
	ふたり親世帯	6371	5740	424	2	50	150	23	182	66	24
		—	90.1%	6.7%	0.0%	0.8%	2.4%	0.4%	2.9%	1.0%	0.4%
その他世帯	41	39	1	0	1	1	0	0	2	0	
	—	95.1%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	
不明	65	54	1	0	0	4	0	1	0	7	
	—	83.1%	1.5%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	1.5%	0.0%	10.8%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 33 所得階層と子どもの健康状態のクロス

		合計	子どもの健康状態（※複数回答）								
			健康である	通院している病気がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	不明
全体		7282	6532	503	2	62	193	23	222	78	36
		—	89.7%	6.9%	0.0%	0.9%	2.7%	0.3%	3.0%	1.1%	0.5%
所得階層	低所得層 I	842	745	61	0	13	23	2	28	14	3
		—	88.5%	7.2%	0.0%	1.5%	2.7%	0.2%	3.3%	1.7%	0.4%
	低所得層 II	1040	923	74	1	5	37	3	50	12	6
		—	88.8%	7.1%	0.1%	0.5%	3.6%	0.3%	4.8%	1.2%	0.6%
	中間所得層 I	1122	1004	85	0	10	36	3	39	15	2
		—	89.5%	7.6%	0.0%	0.9%	3.2%	0.3%	3.5%	1.3%	0.2%
	中間所得層 II	1905	1717	129	0	20	47	7	48	20	9
		—	90.1%	6.8%	0.0%	1.0%	2.5%	0.4%	2.5%	1.0%	0.5%
	上位所得層	1672	1524	103	1	6	40	6	49	13	2
		—	91.1%	6.2%	0.1%	0.4%	2.4%	0.4%	2.9%	0.8%	0.1%
	不明	701	619	51	0	8	10	2	8	4	14
		—	88.3%	7.3%	0.0%	1.1%	1.4%	0.3%	1.1%	0.6%	2.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「健康である」子どもは全体で 89.7%であり、学年による違いはみられない（表 31）。
 子どもの健康状態については、所得階層による明らかな違いはみられない（表 33）。

表 34 学年と子どもに必要な病院受診をさせなかった経験のクロス

		合計	子どもに必要な病院受診をさせなかった経験		
			あった	なかった	不明
全体		7282 100.0%	1196 16.4%	6026 82.8%	60 0.8%
学年	2歳児	1398 100.0%	216 15.5%	1175 84.0%	7 0.5%
	5歳児	1131 100.0%	181 16.0%	949 83.9%	1 0.1%
	小学2年生	1249 100.0%	175 14.0%	1070 85.7%	4 0.3%
	小学5年生	1263 100.0%	214 16.9%	1031 81.6%	18 1.4%
	中学2年生	1133 100.0%	215 19.0%	907 80.1%	11 1.0%
	高校2年生	1108 100.0%	195 17.6%	894 80.7%	19 1.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 35 世帯類型と子どもに必要な病院受診をさせなかった経験のクロス

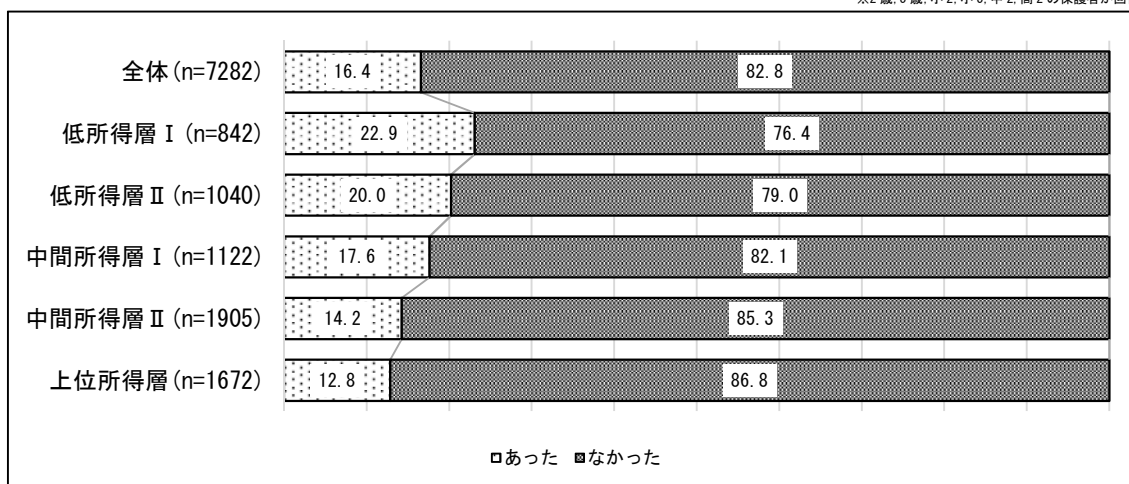
		合計	子どもに必要な病院受診をさせなかった経験		
			あった	なかった	不明
全体		7282 100.0%	1196 16.4%	6026 82.8%	60 0.8%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	174 21.6%	619 76.9%	12 1.5%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	1004 15.8%	5332 83.7%	35 0.5%
	その他世帯	41 100.0%	6 14.6%	34 82.9%	1 2.4%
	不明	65 100.0%	12 18.5%	41 63.1%	12 18.5%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 36 所得階層と子どもに必要な病院受診をさせなかった経験のクロス

		合計	子どもに必要な病院受診をさせなかった経験		
			あった	なかった	不明
全体		7282	1196	6026	60
		100.0%	16.4%	82.8%	0.8%
所得階層	低所得層 I	842	193	643	6
		100.0%	22.9%	76.4%	0.7%
	低所得層 II	1040	208	822	10
		100.0%	20.0%	79.0%	1.0%
	中間所得層 I	1122	197	921	4
		100.0%	17.6%	82.1%	0.4%
	中間所得層 II	1905	270	1625	10
	100.0%	14.2%	85.3%	0.5%	
上位所得層	1672	214	1452	6	
	100.0%	12.8%	86.8%	0.4%	
不明	701	114	563	24	
	100.0%	16.3%	80.3%	3.4%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

子どもを受診させる必要があったのに受診させなかった経験がある人は、全体で16.4%であり、中学2年生でやや高い傾向(19.0%)がある(表34)。

ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べ、子どもを受診させなかった経験のある人の割合がやや高い(ひとり親世帯では21.6%、ふたり親世帯では15.8%)(表35)。

所得階層が低いほど子どもを受診させなかった経験のある人の割合が高い(低所得層 I では22.9%、上位所得層では12.8%)(表36)。

表 37 学年と自身が必要な病院受診をしなかった経験のクロス

		合計	自身が必要な病院受診をしなかった経験		
			あった	なかった	不明
全体		7282 100.0%	2410 33.1%	4805 66.0%	67 0.9%
学年	2歳児	1398 100.0%	634 45.4%	752 53.8%	12 0.9%
	5歳児	1131 100.0%	431 38.1%	696 61.5%	4 0.4%
	小学2年生	1249 100.0%	408 32.7%	833 66.7%	8 0.6%
	小学5年生	1263 100.0%	364 28.8%	882 69.8%	17 1.3%
	中学2年生	1133 100.0%	323 28.5%	797 70.3%	13 1.1%
	高校2年生	1108 100.0%	250 22.6%	845 76.3%	13 1.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 38 世帯類型と自身が必要な病院受診をしなかった経験のクロス

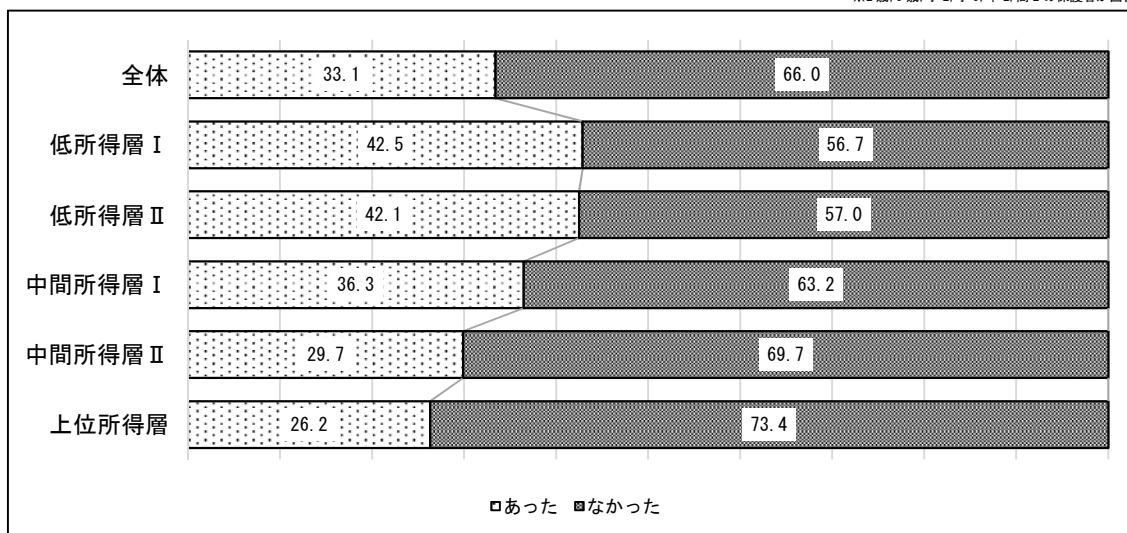
		合計	自身が必要な病院受診をしなかった経験		
			あった	なかった	不明
全体		7282 100.0%	2410 33.1%	4805 66.0%	67 0.9%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	321 39.9%	473 58.8%	11 1.4%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	2060 32.3%	4268 67.0%	43 0.7%
	その他世帯	41 100.0%	7 17.1%	34 82.9%	0 0.0%
	不明	65 100.0%	22 33.8%	30 46.2%	13 20.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 39 所得階層と自身が必要な病院受診をしなかった経験のクロス

		合計	自身が必要な病院受診をしなかった経験		
			あった	なかった	不明
全体		7282 100.0%	2410 33.1%	4805 66.0%	67 0.9%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	358 42.5%	477 56.7%	7 0.8%
	低所得層 II	1040 100.0%	438 42.1%	593 57.0%	9 0.9%
	中間所得層 I	1122 100.0%	407 36.3%	709 63.2%	6 0.5%
	中間所得層 II	1905 100.0%	566 29.7%	1328 69.7%	11 0.6%
	上位所得層	1672 100.0%	438 26.2%	1228 73.4%	6 0.4%
	不明	701 100.0%	203 29.0%	470 67.0%	28 4.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

自分自身が必要な受診をしなかった経験がある人は33.1%であり、子どもの受診と比較すると自分自身の受診を控える人の割合が高い。

学年が低いほどその割合は高い。特に2歳児の保護者では45.4%にも上る。(表37)。ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べ、受診しなかった経験のある人の割合がやや高い(ひとり親世帯では39.9%、ふたり親世帯では32.3%)(表38)。

所得階層が低いほど受診しなかった経験のある人の割合が高いが、低所得層IとIIでは同程度である(低所得層Iでは42.5%、低所得層IIでは42.1%、上位所得層では26.2%)(表39)。

5 進学について

表 40 学年と子どもにどの段階まで教育を受けさせたいかのクロス

		合計	子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか								
			中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	四年制大学またはそれ以上	まだわからない	その他	不明
全体		2396 100.0%	6 0.3%	163 6.8%	30 1.3%	52 2.2%	183 7.6%	1381 57.6%	465 19.4%	60 2.5%	56 2.3%
学年	小学5年生	1263 100.0%	5 0.4%	84 6.7%	16 1.3%	23 1.8%	91 7.2%	716 56.7%	267 21.1%	33 2.6%	28 2.2%
	中学2年生	1133 100.0%	1 0.1%	79 7.0%	14 1.2%	29 2.6%	92 8.1%	665 58.7%	198 17.5%	27 2.4%	28 2.5%

※小5、中2の保護者が回答

表 41 世帯類型と子どもにどの段階まで教育を受けさせたいかのクロス

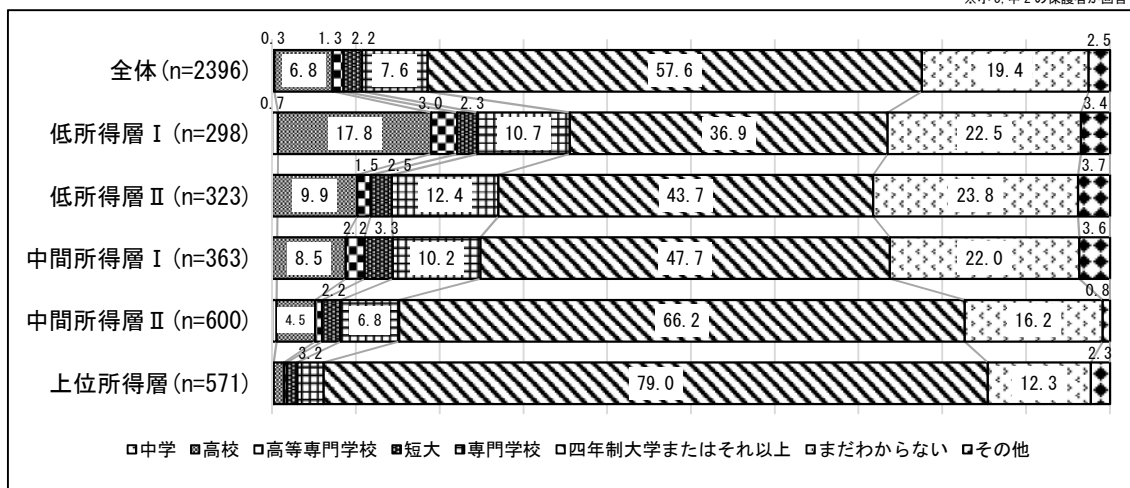
		合計	子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか								
			中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	四年制大学またはそれ以上	まだわからない	その他	不明
全体		2396 100.0%	6 0.3%	163 6.8%	30 1.3%	52 2.2%	183 7.6%	1381 57.6%	465 19.4%	60 2.5%	56 2.3%
世帯 類型	ひとり親世帯	351 100.0%	3 0.9%	37 10.5%	8 2.3%	6 1.7%	39 11.1%	169 48.1%	70 19.9%	14 4.0%	5 1.4%
	ふたり親世帯	1996 100.0%	3 0.2%	118 5.9%	21 1.1%	45 2.3%	141 7.1%	1191 59.7%	389 19.5%	45 2.3%	43 2.2%
	その他世帯	11 100.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	不明	38 100.0%	0 0.0%	6 15.8%	1 2.6%	1 2.6%	0 0.0%	17 44.7%	5 13.2%	0 0.0%	8 21.1%

※小5、中2の保護者が回答

表 42 所得階層と子どもにどの段階まで教育を受けさせたいかのクロス

		合計	子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか								
			中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	四年制大学またはそれ以上	まだわからない	その他	不明
全体		2396 100.0%	6 0.3%	163 6.8%	30 1.3%	52 2.2%	183 7.6%	1381 57.6%	465 19.4%	60 2.5%	56 2.3%
所得階層	低所得層 I	298 100.0%	2 0.7%	53 17.8%	9 3.0%	7 2.3%	32 10.7%	110 36.9%	67 22.5%	10 3.4%	8 2.7%
	低所得層 II	323 100.0%	0 0.0%	32 9.9%	5 1.5%	8 2.5%	40 12.4%	141 43.7%	77 23.8%	12 3.7%	8 2.5%
	中間所得層 I	363 100.0%	0 0.0%	31 8.5%	8 2.2%	12 3.3%	37 10.2%	173 47.7%	80 22.0%	13 3.6%	9 2.5%
	中間所得層 II	600 100.0%	3 0.5%	27 4.5%	5 0.8%	13 2.2%	41 6.8%	397 66.2%	97 16.2%	5 0.8%	12 2.0%
	上位所得層	571 100.0%	1 0.2%	7 1.2%	2 0.4%	7 1.2%	18 3.2%	451 79.0%	70 12.3%	13 2.3%	2 0.4%
	不明	241 100.0%	0 0.0%	13 5.4%	1 0.4%	5 2.1%	15 6.2%	109 45.2%	74 30.7%	7 2.9%	17 7.1%

※小5、中2の保護者が回答



※小5、中2の保護者が回答

「四年制大学またはそれ以上」と回答する者は、ひとり親世帯で 48.1%であるのに対し、ふたり親世帯では 59.7%となっている (表 41)。

所得階層別にみると、所得階層が高くなるほど、「四年制大学またはそれ以上」と回答している。具体的には、低所得層 I では 36.9%である一方、上位所得層では 79.0%と 8 割に迫っている。他方で、所得階層が低くなるほど、「高校」と回答する者が多くなっている。具体的には、上位所得層では 1.2%であるのに対し、低所得層 I では 17.8%と 2 割に迫っている (表 42)。

表 43 学年と高校卒業後の進路についてどのように考えているかのクロス

		合計	高校卒業後の進路についてどのように考えているか						
			就職	短大進学	専門学校進学	四年制大学進学	まだわからない	その他	不明
全体		1108 100.0%	44 4.0%	14 1.3%	103 9.3%	739 66.7%	172 15.5%	16 1.4%	20 1.8%
学年	高校2年生	1108 100.0%	44 4.0%	14 1.3%	103 9.3%	739 66.7%	172 15.5%	16 1.4%	20 1.8%

※高2の保護者が回答

表 44 世帯類型と高校卒業後の進路についてどのように考えているかのクロス

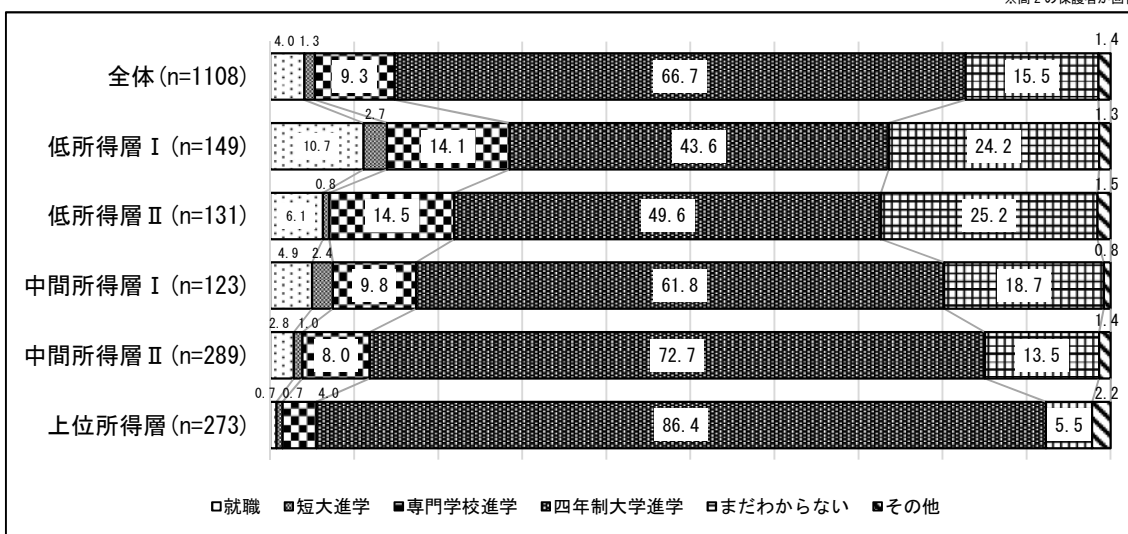
		合計	高校卒業後の進路についてどのように考えているか						
			就職	短大進学	専門学校進学	四年制大学進学	まだわからない	その他	不明
全体		1108 100.0%	44 4.0%	14 1.3%	103 9.3%	739 66.7%	172 15.5%	16 1.4%	20 1.8%
世帯類型	ひとり親世帯	182 100.0%	12 6.6%	4 2.2%	31 17.0%	91 50.0%	35 19.2%	3 1.6%	6 3.3%
	ふたり親世帯	904 100.0%	31 3.4%	9 1.0%	71 7.9%	640 70.8%	126 13.9%	13 1.4%	14 1.5%
	その他世帯	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	6 46.2%	6 46.2%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%

※高2の保護者が回答

表 45 所得階層と高校卒業後の進路についてどのように考えているかのクロス

		合計	高校卒業後の進路についてどのように考えているか						
			就職	短大進学	専門学校進学	四年制大学進学	まだわからない	その他	不明
全体		1108	44	14	103	739	172	16	20
		100.0%	4.0%	1.3%	9.3%	66.7%	15.5%	1.4%	1.8%
所得階層	低所得層 I	149	16	4	21	65	36	2	5
		100.0%	10.7%	2.7%	14.1%	43.6%	24.2%	1.3%	3.4%
	低所得層 II	131	8	1	19	65	33	2	3
		100.0%	6.1%	0.8%	14.5%	49.6%	25.2%	1.5%	2.3%
	中間所得層 I	123	6	3	12	76	23	1	2
		100.0%	4.9%	2.4%	9.8%	61.8%	18.7%	0.8%	1.6%
中間所得層 II	289	8	3	23	210	39	4	2	
	100.0%	2.8%	1.0%	8.0%	72.7%	13.5%	1.4%	0.7%	
上位所得層	273	2	2	11	236	15	6	1	
	100.0%	0.7%	0.7%	4.0%	86.4%	5.5%	2.2%	0.4%	
不明	143	4	1	17	87	26	1	7	
	100.0%	2.8%	0.7%	11.9%	60.8%	18.2%	0.7%	4.9%	

※高2の保護者が回答



※高2の保護者が回答

「四年制大学進学」と回答するものは、ひとり親世帯で 50.0%であるのに対し、ふたり親世帯で 70.8%となっている (表 44)。

所得階層別にみると、所得階層が高いほど、「四年制大学進学」と回答している。低所得層 I では 43.6%である一方、上位所得層では 86.4%と 8 割を超えている。他方、所得階層が低くなると、「就職」「専門学校進学」「まだわからない」と回答する傾向がみられる (表 45)。

表 46 学年と教育を受けさせるためのお金の準備のクロス

		合計	教育を受けさせるためのお金の準備					その他	不明
			準備できている	必要なお金はすでに準備を始めている	貯金や学資保険などで準備を始めている	利用する予定である	時期になったら奨学金を利用する予定である		
全体		2396 100.0%	243 10.1%	1396 58.3%	283 11.8%	383 16.0%	33 1.4%	58 2.4%	
学年	小学 5 年生	1263 100.0%	105 8.3%	787 62.3%	118 9.3%	218 17.3%	16 1.3%	19 1.5%	
	中学 2 年生	1133 100.0%	138 12.2%	609 53.8%	165 14.6%	165 14.6%	17 1.5%	39 3.4%	

※小 5、中 2 の保護者が回答

表 47 世帯類型と教育を受けさせるためのお金の準備のクロス

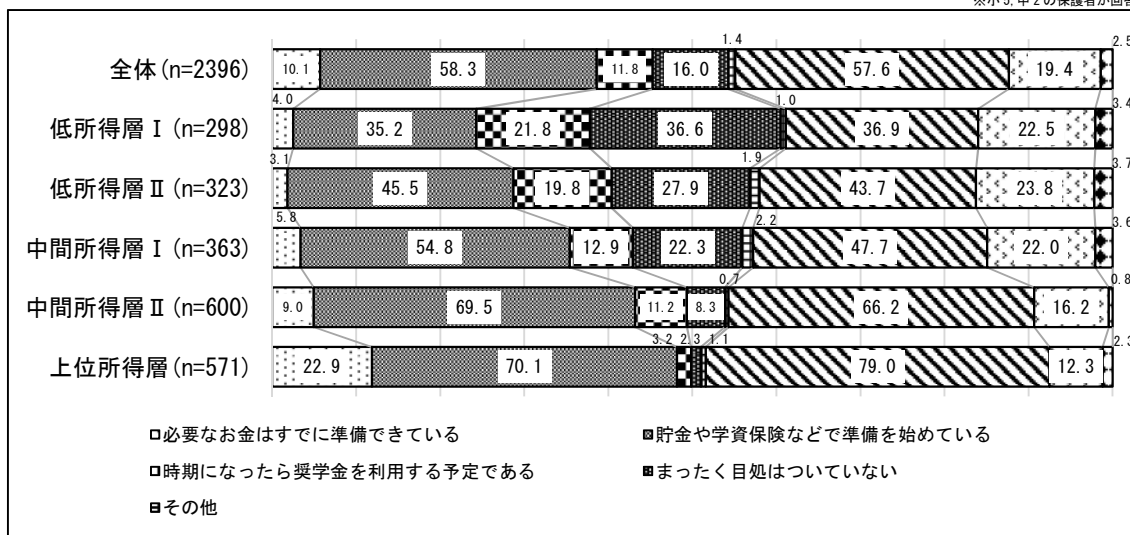
		合計	教育を受けさせるためのお金の準備					その他	不明
			準備できている	必要なお金はすでに準備を始めている	貯金や学資保険などで準備を始めている	利用する予定である	時期になったら奨学金を利用する予定である		
全体		2396 100.0%	243 10.1%	1396 58.3%	283 11.8%	383 16.0%	33 1.4%	58 2.4%	
世帯類型	ひとり親世帯	351 100.0%	24 6.8%	135 38.5%	78 22.2%	101 28.8%	9 2.6%	4 1.1%	
	ふたり親世帯	1996 100.0%	215 10.8%	1245 62.4%	200 10.0%	273 13.7%	23 1.2%	40 2.0%	
	その他世帯	11 100.0%	0 0.0%	4 36.4%	3 27.3%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	
	不明	38 100.0%	4 10.5%	12 31.6%	2 5.3%	5 13.2%	1 2.6%	14 36.8%	

※小 5、中 2 の保護者が回答

表 48 所得階層と教育を受けさせるためのお金の準備のクロス

	合計	教育を受けさせるためのお金の準備						
		準備できている	必要なお金はすでに準備できている	貯金や学資保険などで準備を始めている	時期になったら奨学金を利用する予定である	まったく目処はついていない	その他	不明
全体	2396 100.0%	243 10.1%	1396 58.3%	283 11.8%	383 16.0%	33 1.4%	58 2.4%	
所得階層	低所得層 I	298 100.0%	12 4.0%	105 35.2%	65 21.8%	109 36.6%	3 1.0%	4 1.3%
	低所得層 II	323 100.0%	10 3.1%	147 45.5%	64 19.8%	90 27.9%	6 1.9%	6 1.9%
	中間所得層 I	363 100.0%	21 5.8%	199 54.8%	47 12.9%	81 22.3%	8 2.2%	7 1.9%
	中間所得層 II	600 100.0%	54 9.0%	417 69.5%	67 11.2%	50 8.3%	4 0.7%	8 1.3%
	上位所得層	571 100.0%	131 22.9%	400 70.1%	18 3.2%	13 2.3%	6 1.1%	3 0.5%
	不明	241 100.0%	15 6.2%	128 53.1%	22 9.1%	40 16.6%	6 2.5%	30 12.4%

※小5, 中2の保護者が回答



※小5, 中2の保護者が回答

ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比べて、「貯金や学資保険などで準備を始めている」との回答が少なく（ひとり親世帯では38.5%、ふたり親世帯では62.4%）、「時期になったら奨学金を利用する予定である」さらには「まったく目処はついていない」と回答する傾向がみられる（「時期になったら奨学金を利用する予定である」はひとり親世帯では22.2%、ふたり親世帯では10.0%、「まったく目処はついていない」はひとり

親世帯では28.8%、ふたり親世帯では13.7%) (表47)。

所得階層別にみると、所得階層が高いほど、「貯金や学資保険などで準備を始めている」と回答する傾向がみられる。例えば、低所得層Ⅰで35.2%であるのに対し、上位所得層では70.1%が回答している。さらに、上位所得層の2割を超える世帯(22.9%)が「必要なお金はすでに準備できている」と回答している。他方、所得階層が低くなれば、「時期になったら奨学金を利用する予定である」、さらには「まったく目処はついていない」という回答が多い(「時期になったら奨学金を利用する予定である」は低所得層Ⅰでは21.8%、上位所得層では3.2%、「まったく目処はついていない」は低所得層Ⅰでは36.6%、上位所得層では2.3%)。特に、低所得層Ⅰでは3割を超える世帯が「まったく目処はついていない」と回答している(表48)。

6 相談相手・制度の利用について

表 49 学年と子ども・子育てについての悩みを相談する相手のクロス

		子ども・子育てについての悩みを相談する相手（※複数回答）												
		同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	不明	
全体	7282	5403	4637	2258	481	3809	1771	219	410	144	107	184	67	
	—	74.2%	63.7%	31.0%	6.6%	52.3%	24.3%	3.0%	5.6%	2.0%	1.5%	2.5%	0.9%	
学 年	2歳児	1398	1041	976	374	91	722	517	60	77	61	16	38	9
		—	74.5%	69.8%	26.8%	6.5%	51.6%	37.0%	4.3%	5.5%	4.4%	1.1%	2.7%	0.6%
	5歳児	1131	828	773	318	100	638	427	35	55	29	13	20	11
		—	73.2%	68.3%	28.1%	8.8%	56.4%	37.8%	3.1%	4.9%	2.6%	1.1%	1.8%	1.0%
	小学2年生	1249	996	845	411	97	675	286	49	108	18	27	18	6
		—	79.7%	67.7%	32.9%	7.8%	54.0%	22.9%	3.9%	8.6%	1.4%	2.2%	1.4%	0.5%
	小学5年生	1263	943	797	407	64	658	232	36	74	15	25	35	12
	—	74.7%	63.1%	32.2%	5.1%	52.1%	18.4%	2.9%	5.9%	1.2%	2.0%	2.8%	1.0%	
中学2年生	1133	794	672	385	56	587	194	26	60	15	18	33	16	
	—	70.1%	59.3%	34.0%	4.9%	51.8%	17.1%	2.3%	5.3%	1.3%	1.6%	2.9%	1.4%	
高校2年生	1108	801	574	363	73	529	115	13	36	6	8	40	13	
	—	72.3%	51.8%	32.8%	6.6%	47.7%	10.4%	1.2%	3.2%	0.5%	0.7%	3.6%	1.2%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 50 世帯類型と子ども・子育てについての悩みを相談する相手のクロス

		子ども・子育てについての悩みを相談する相手（※複数回答）												
		同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	不明	
全体	7282	5403	4637	2258	481	3809	1771	219	410	144	107	184	67	
	—	74.2%	63.7%	31.0%	6.6%	52.3%	24.3%	3.0%	5.6%	2.0%	1.5%	2.5%	0.9%	
世 帯 類 型	ひとり親世帯	805	210	441	296	28	424	141	27	56	18	15	61	12
		—	26.1%	54.8%	36.8%	3.5%	52.7%	17.5%	3.4%	7.0%	2.2%	1.9%	7.6%	1.5%
	ふたり親世帯	6371	5128	4148	1939	445	3342	1616	189	348	125	88	118	43
		—	80.5%	65.1%	30.4%	7.0%	52.5%	25.4%	3.0%	5.5%	2.0%	1.4%	1.9%	0.7%
その他世帯	41	32	18	12	3	21	7	2	3	1	2	1	1	
	—	78.0%	43.9%	29.3%	7.3%	51.2%	17.1%	4.9%	7.3%	2.4%	4.9%	2.4%	2.4%	
不明	65	33	30	11	5	22	7	1	3	0	2	4	11	
	—	50.8%	46.2%	16.9%	7.7%	33.8%	10.8%	1.5%	4.6%	0.0%	3.1%	6.2%	16.9%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 51 所得階層と子ども・子育てについての悩みを相談する相手のクロス

	合計	子ども・子育てについての悩みを相談する相手（※複数回答）												
		同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	不明	
全体	7282	5403	4637	2258	481	3809	1771	219	410	144	107	184	67	
	—	74.2%	63.7%	31.0%	6.6%	52.3%	24.3%	3.0%	5.6%	2.0%	1.5%	2.5%	0.9%	
所得階層	低所得層 I	842	416	469	248	46	434	169	34	50	27	17	42	8
		—	49.4%	55.7%	29.5%	5.5%	51.5%	20.1%	4.0%	5.9%	3.2%	2.0%	5.0%	1.0%
	低所得層 II	1040	745	688	291	62	574	259	39	54	36	9	37	9
		—	71.6%	66.2%	28.0%	6.0%	55.2%	24.9%	3.8%	5.2%	3.5%	0.9%	3.6%	0.9%
	中間所得層 I	1122	856	756	355	80	604	290	41	68	19	17	23	4
		—	76.3%	67.4%	31.6%	7.1%	53.8%	25.8%	3.7%	6.1%	1.7%	1.5%	2.0%	0.4%
	中間所得層 II	1905	1519	1251	632	124	1025	499	55	106	35	24	38	6
	—	79.7%	65.7%	33.2%	6.5%	53.8%	26.2%	2.9%	5.6%	1.8%	1.3%	2.0%	0.3%	
上位所得層	1672	1366	1049	571	118	849	429	42	101	15	30	22	4	
	—	81.7%	62.7%	34.2%	7.1%	50.8%	25.7%	2.5%	6.0%	0.9%	1.8%	1.3%	0.2%	
不明	701	501	424	161	51	323	125	8	31	12	10	22	36	
	—	71.5%	60.5%	23.0%	7.3%	46.1%	17.8%	1.1%	4.4%	1.7%	1.4%	3.1%	5.1%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

回答者のほとんどが何らかの相談相手を持っている。「相談する人はいない」と回答したものは2.5%である。

相談相手は「同居の家族（74.2%）」「同居していない家族・親戚（63.7%）」が高い比率を示し、家族、親族が相談相手として選ばれることが一般的である。

家族、親族以外では、「友人・知人（職場、近所以外）」が52.3%と多い。「近所の人（6.6%）」は少数にとどまる。

上記は年齢・学年段階別に大きな違いはない（表 49）。

「学校（保育園・幼稚園）の先生（24.3%）」は年齢・学年段階が低いほど比率が高い（2歳児保護者では37.0%、高2保護者では10.4%）。「地域の相談員・相談機関（3.0%）」は少数であるが、2歳児・5歳児保護者にやや高い（2歳児保護者では4.3%、5歳児保護者では3.1%）。

「SNSのみで交流がある人（2.0%）」は少数であるが、2歳児保護者に多い（4.4%）。世帯類型別にみると、ひとり親世帯は「同居の家族」が26.1%と少なく、「相談する人はいない」が7.6%と相対的に高いことが特徴である。ふたり親世帯は「同居の家族」が80.5%と高い。

所得階層別にみると、「相談する人はいない」が、上位所得層では1.3%であるのに対し低所得層 I では5.0%と、低所得層に相対的に高い。

「医師等の専門家（5.6%）」は全体から見ると少数であるが、年齢、世帯類型、所得階層ごとの比率の差は小さい。

表 52 学年と子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）								
			利用している 利用したことがある・利用 していない	利用する必要がなかった	利用したかったが条件を満たして いなかった	利用時間や制度・サービス が使いづらかった	利用するのに抵抗感があつ た	利用のしかたがわからなかつ た	制度やサービスについてま たく知らなかった	制度やサービスがなかった	不明
全体		6174 100.0%	183 3.0%	4749 76.9%	16 0.3%	48 0.8%	125 2.0%	292 4.7%	370 6.0%	199 3.2%	192 3.1%
学年	2歳児	1398 100.0%	19 1.4%	1039 74.3%	6 0.4%	9 0.6%	32 2.3%	102 7.3%	132 9.4%	40 2.9%	19 1.4%
	5歳児	1131 100.0%	37 3.3%	880 77.8%	5 0.4%	6 0.5%	29 2.6%	52 4.6%	68 6.0%	23 2.0%	31 2.7%
	小学2年生	1249 100.0%	38 3.0%	958 76.7%	3 0.2%	9 0.7%	20 1.6%	45 3.6%	78 6.2%	54 4.3%	44 3.5%
	小学5年生	1263 100.0%	43 3.4%	993 78.6%	2 0.2%	14 1.1%	25 2.0%	55 4.4%	56 4.4%	32 2.5%	43 3.4%
	中学2年生	1133 100.0%	46 4.1%	879 77.6%	0 0.0%	10 0.9%	19 1.7%	38 3.4%	36 3.2%	50 4.4%	55 4.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2の保護者が回答

表 53 世帯類型と子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）								
			利用している 利用したことがある・利用 していない	利用する必要がなかった	利用したかったが条件を満たして いなかった	利用時間や制度・サービス が使いづらかった	利用するのに抵抗感があつ た	利用のしかたがわからなかつ た	制度やサービスについてま たく知らなかった	制度やサービスがなかった	不明
全体		6174 100.0%	183 3.0%	4749 76.9%	16 0.3%	48 0.8%	125 2.0%	292 4.7%	370 6.0%	199 3.2%	192 3.1%
世帯 類型	ひとり親世帯	623 100.0%	20 3.2%	383 61.5%	2 0.3%	9 1.4%	31 5.0%	45 7.2%	60 9.6%	43 6.9%	30 4.8%
	ふたり親世帯	5467 100.0%	162 3.0%	4313 78.9%	14 0.3%	39 0.7%	92 1.7%	245 4.5%	306 5.6%	151 2.8%	145 2.7%
	その他世帯	28 100.0%	1 3.6%	20 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.1%	1 3.6%	2 7.1%	0 0.0%	2 7.1%
	不明	56 100.0%	0 0.0%	33 58.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	2 3.6%	5 8.9%	15 26.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2の保護者が回答

表 54 所得階層と子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）								
			利用している 利用したことがある・利用し ている	利用する必要がなかった	利用しなかったが条件を満た していないかった	利用時間が短かった 利用しづらかった	利用するのに抵抗感があった	利用のしかたがわからなかつ た	制度やサービスについてまっ たく知らなかった	制度やサービスがなかった	不明
全体		6174 100.0%	183 3.0%	4749 76.9%	16 0.3%	48 0.8%	125 2.0%	292 4.7%	370 6.0%	199 3.2%	192 3.1%
所得階層	低所得層 I	693 100.0%	29 4.2%	430 62.0%	1 0.1%	6 0.9%	35 5.1%	56 8.1%	69 10.0%	42 6.1%	25 3.6%
	低所得層 II	909 100.0%	29 3.2%	652 71.7%	8 0.9%	16 1.8%	27 3.0%	46 5.1%	76 8.4%	31 3.4%	24 2.6%
	中間所得層 I	999 100.0%	35 3.5%	773 77.4%	3 0.3%	7 0.7%	20 2.0%	57 5.7%	52 5.2%	34 3.4%	18 1.8%
	中間所得層 II	1616 100.0%	38 2.4%	1322 81.8%	1 0.1%	13 0.8%	18 1.1%	62 3.8%	90 5.6%	48 3.0%	24 1.5%
	上位所得層	1399 100.0%	39 2.8%	1192 85.2%	1 0.1%	6 0.4%	14 1.0%	44 3.1%	51 3.6%	32 2.3%	20 1.4%
	不明	558 100.0%	13 2.3%	380 68.1%	2 0.4%	0 0.0%	11 2.0%	27 4.8%	32 5.7%	12 2.2%	81 14.5%

※2歳、5歳、小2、小5、中2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は3.0%で、全体の中では少数である。世帯類型別、所得階層別にみても利用状況に大きな差はない。

「利用する必要がなかった」は76.9%で、全体の3/4を占める。世帯類型別には、ひとり親世帯、所得階層別には低所得層が「利用する必要がなかった」と回答する比率が低い（ひとり親世帯では61.5%、ふたり親世帯では78.9%、低所得層 I では62.0%、上位所得層では85.2%）。

「必要がなかった」以外の利用していない理由は、「制度やサービスについて知らなかった（6.0%）」「利用の仕方がわからなかった（4.7%）」「制度やサービスがなかった（3.2%）」といったサービス共有と情報提供の問題に関わることが多い。「抵抗感があった（2.0%）」は全体では少数であるが、ひとり親世帯、低所得層 I にやや高い（ひとり親世帯では5.0%、ふたり親世帯では1.7%、低所得層 I では5.1%、上位所得層では1.0%）。

表 55 学年と子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）								
			利用している 利用したことがある・利用 していない	利用する 必要がなかった	利用した が条件を満 たしてい なかった	利用時間 や制度・サ ービスが 使いづら かった	利用する のに抵抗 感があつ た	利用のし かたがわ からなか った	制度やサ ービスに ついてま ったく知 らなかつ た	制度やサ ービスが なかつた	不明
全体		3645 100.0%	74 2.0%	2421 66.4%	18 0.5%	36 1.0%	40 1.1%	181 5.0%	568 15.6%	161 4.4%	146 4.0%
学年	小学2年生	1249 100.0%	18 1.4%	809 64.8%	2 0.2%	8 0.6%	10 0.8%	60 4.8%	238 19.1%	60 4.8%	44 3.5%
	小学5年生	1263 100.0%	25 2.0%	853 67.5%	4 0.3%	16 1.3%	17 1.3%	74 5.9%	186 14.7%	42 3.3%	46 3.6%
	中学2年生	1133 100.0%	31 2.7%	759 67.0%	12 1.1%	12 1.1%	13 1.1%	47 4.1%	144 12.7%	59 5.2%	56 4.9%

※小2,小5,中2の保護者が回答

表 56 世帯類型と子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）								
			利用している 利用したことがある・利用 していない	利用する 必要がなかった	利用した が条件を満 たしてい なかった	利用時間 や制度・サ ービスが 使いづら かった	利用する のに抵抗 感があつ た	利用のし かたがわ からなか った	制度やサ ービスに ついてま ったく知 らなかつ た	制度やサ ービスが なかつた	不明
全体		3645 100.0%	74 2.0%	2421 66.4%	18 0.5%	36 1.0%	40 1.1%	181 5.0%	568 15.6%	161 4.4%	146 4.0%
世帯類型	ひとり親世帯	470 100.0%	30 6.4%	224 47.7%	1 0.2%	16 3.4%	18 3.8%	41 8.7%	93 19.8%	24 5.1%	23 4.9%
	ふたり親世帯	3116 100.0%	43 1.4%	2170 69.6%	17 0.5%	20 0.6%	21 0.7%	137 4.4%	468 15.0%	131 4.2%	109 3.5%
	その他世帯	15 100.0%	0 0.0%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	1 6.7%	1 6.7%
	不明	44 100.0%	1 2.3%	19 43.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.5%	4 9.1%	5 11.4%	13 29.5%

※小2,小5,中2の保護者が回答

表 57 所得階層と子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）								
			利用している	利用する必要がある・利用しなかった	利用したかったが条件を満たしていなかった	利用しなかったが利用時間が制度・サービスが使いづらかった	利用するのに抵抗感があった	利用のしかたがわからなかった	制度やサービスについてまったく知らなかった	制度やサービスがなかった	不明
全体		3645 100.0%	74 2.0%	2421 66.4%	18 0.5%	36 1.0%	40 1.1%	181 5.0%	568 15.6%	161 4.4%	146 4.0%
所得階層	低所得層 I	438 100.0%	22 5.0%	216 49.3%	1 0.2%	13 3.0%	19 4.3%	38 8.7%	91 20.8%	19 4.3%	19 4.3%
	低所得層 II	496 100.0%	20 4.0%	286 57.7%	5 1.0%	9 1.8%	9 1.8%	27 5.4%	96 19.4%	28 5.6%	16 3.2%
	中間所得層 I	556 100.0%	9 1.6%	358 64.4%	5 0.9%	3 0.5%	5 0.9%	34 6.1%	104 18.7%	26 4.7%	12 2.2%
	中間所得層 II	898 100.0%	10 1.1%	637 70.9%	5 0.6%	5 0.6%	2 0.2%	35 3.9%	135 15.0%	45 5.0%	24 2.7%
	上位所得層	885 100.0%	8 0.9%	703 79.4%	1 0.1%	2 0.2%	2 0.2%	30 3.4%	96 10.8%	30 3.4%	13 1.5%
	不明	372 100.0%	5 1.3%	221 59.4%	1 0.3%	4 1.1%	3 0.8%	17 4.6%	46 12.4%	13 3.5%	62 16.7%

※小2、小5、中2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は 2.0%で、全体の中では少数である。世帯類型別、所得階層別にみると、ひとり親世帯（6.4%）、低所得層 I（5.0%）、低所得層 II（4.0%）が相対的に多い。

「利用する必要がある・利用しなかった」は 66.4%で、全体の 2/3 を占める。「子ども食堂」と同様、世帯類型別にはひとり親世帯、所得階層別には低所得層が「利用する必要がある・利用しなかった」と回答する比率が低い（ひとり親世帯では 47.7%、ふたり親世帯では 69.6%、低所得層 I では 49.3%、上位所得層では 79.4%）。

「必要がなかった」以外の利用していない理由は、「子ども食堂」と同様に「制度やサービスについて知らなかった（15.6%）」「利用の仕方がわからなかった（5.0%）」「制度やサービスがなかった（4.4%）」といったサービス共有と情報提供の問題に関わることが多い。「抵抗感があった（1.1%）」「使いづらかった（1.0%）」は全体では少数であるが、ひとり親世帯、低所得層 I にやや高い（「抵抗感があった」はひとり親世帯では 3.8%、ふたり親世帯では 0.7%、低所得層 I では 4.3%、上位所得層では 0.2%、「使いづらかった」はひとり親世帯では 3.4%、ふたり親世帯では 0.6%、低所得層 I では 3.0%、上位所得層では 0.2%）。

表 58 学年と手当等の制度利用（生活保護）のクロス

		合計	手当等の制度利用（生活保護）							不明
			利用している 利用したことがある・利 用している	利用する必要がなかった	満たしていなかった 利用したかったが条件を 満たしていなかった	使いつらかった 利用したかったが制度が 使いつらかった	利用するのに抵抗感があ った	利用のしかたがわからな かった	制度やサービスについて まったく知らなかった	
全体		7282 100.0%	232 3.2%	6514 89.5%	103 1.4%	16 0.2%	74 1.0%	43 0.6%	48 0.7%	252 3.5%
学年	2歳児	1398 100.0%	20 1.4%	1270 90.8%	20 1.4%	3 0.2%	20 1.4%	17 1.2%	17 1.2%	31 2.2%
	5歳児	1131 100.0%	21 1.9%	1042 92.1%	12 1.1%	1 0.1%	11 1.0%	5 0.4%	7 0.6%	32 2.8%
	小学2年生	1249 100.0%	45 3.6%	1134 90.8%	14 1.1%	0 0.0%	13 1.0%	8 0.6%	3 0.2%	32 2.6%
	小学5年生	1263 100.0%	64 5.1%	1125 89.1%	18 1.4%	3 0.2%	10 0.8%	3 0.2%	6 0.5%	34 2.7%
	中学2年生	1133 100.0%	47 4.1%	1004 88.6%	18 1.6%	1 0.1%	7 0.6%	4 0.4%	5 0.4%	47 4.1%
	高校2年生	1108 100.0%	35 3.2%	939 84.7%	21 1.9%	8 0.7%	13 1.2%	6 0.5%	10 0.9%	76 6.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 59 世帯類型と手当等の制度利用（生活保護）のクロス

		合計	手当等の制度利用（生活保護）							不明
			利用している 利用したことがある・利 用している	利用する必要がなかった	満たしていなかった 利用したかったが条件を 満たしていなかった	使いつらかった 利用したかったが制度が 使いつらかった	利用するのに抵抗感があ った	利用のしかたがわからな かった	制度やサービスについて まったく知らなかった	
全体		7282 100.0%	232 3.2%	6514 89.5%	103 1.4%	16 0.2%	74 1.0%	43 0.6%	48 0.7%	252 3.5%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	159 19.8%	513 63.7%	35 4.3%	7 0.9%	32 4.0%	9 1.1%	5 0.6%	45 5.6%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	69 1.1%	5922 93.0%	65 1.0%	8 0.1%	40 0.6%	34 0.5%	42 0.7%	191 3.0%
	その他世帯	41 100.0%	3 7.3%	33 80.5%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 9.8%
	不明	65 100.0%	1 1.5%	46 70.8%	2 3.1%	1 1.5%	2 3.1%	0 0.0%	1 1.5%	12 18.5%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 60 所得階層と手当等の制度利用（生活保護）のクロス

		合計	手当等の制度利用（生活保護）							不明
			利用している 利用したことがある・利 用している	利用する必要がなかった	満たしていなかった 利用したかったが条件を 満たしていなかった	使いつらかった 利用したかったが制度が 使いつらかった	利用するのに抵抗感があ った	利用のしかたがわからな かった	制度やサービスについて まったく知らなかった	
全体		7282 100.0%	232 3.2%	6514 89.5%	103 1.4%	16 0.2%	74 1.0%	43 0.6%	48 0.7%	252 3.5%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	122 14.5%	558 66.3%	43 5.1%	10 1.2%	45 5.3%	13 1.5%	8 1.0%	43 5.1%
	低所得層 II	1040 100.0%	58 5.6%	900 86.5%	25 2.4%	1 0.1%	9 0.9%	13 1.3%	7 0.7%	27 2.6%
	中間所得層 I	1122 100.0%	9 0.8%	1051 93.7%	12 1.1%	1 0.1%	7 0.6%	4 0.4%	11 1.0%	27 2.4%
	中間所得層 II	1905 100.0%	7 0.4%	1827 95.9%	11 0.6%	3 0.2%	5 0.3%	9 0.5%	10 0.5%	33 1.7%
	上位所得層	1672 100.0%	6 0.4%	1639 98.0%	5 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	8 0.5%	13 0.8%
	不明	701 100.0%	30 4.3%	539 76.9%	7 1.0%	1 0.1%	8 1.1%	3 0.4%	4 0.6%	109 15.5%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は3.2%で、全体の中では少数である。生活保護基準以下の所得層を対象とした制度であることから、ひとり親世帯（19.8%）、低所得層 I（14.5%）、低所得層 II（5.6%）に利用層が集中している。

「利用する必要がなかった」は89.5%で、全体の約9割を占める。不明の3.5%を除くと、全体の3.9%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。

ひとり親世帯では「利用する必要はなかった」は63.7%で、不明の5.6%を除くと、全体の10.9%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由は「条件を満たしていなかった（4.3%）」「抵抗感があった（4.0%）」が多い。

低所得層 I では、「利用する必要はなかった」は66.3%で、不明の5.1%を除くと、全体の14.1%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由はひとり親世帯と同様に「条件を満たしていなかった（5.1%）」「抵抗感があった（5.3%）」が多い。

表 61 学年と手当等の制度利用（就学援助）のクロス

		合計	手当等の制度利用（就学援助）							不明
			利用している 利用したことがある・利 用している	利用する必要がなかった	満たしていなかった 利用したかったが条件を 満たしていなかった	利用したかったが制度が 使いづらかった	利用するのに抵抗感があ った	利用のしかたがわからな かった	制度やサービスについて まったく知らなかった	
全体		4753 100.0%	819 17.2%	3401 71.6%	198 4.2%	10 0.2%	18 0.4%	48 1.0%	72 1.5%	187 3.9%
学年	小学2年生	1249 100.0%	157 12.6%	972 77.8%	50 4.0%	3 0.2%	3 0.2%	13 1.0%	16 1.3%	35 2.8%
	小学5年生	1263 100.0%	213 16.9%	938 74.3%	38 3.0%	1 0.1%	5 0.4%	12 1.0%	24 1.9%	32 2.5%
	中学2年生	1133 100.0%	215 19.0%	789 69.6%	56 4.9%	0 0.0%	3 0.3%	10 0.9%	13 1.1%	47 4.1%
	高校2年生	1108 100.0%	234 21.1%	702 63.4%	54 4.9%	6 0.5%	7 0.6%	13 1.2%	19 1.7%	73 6.6%

※小2,小5,中2,高2の保護者が回答

表 62 世帯類型と手当等の制度利用（就学援助）のクロス

		合計	手当等の制度利用（就学援助）							不明
			利用している 利用したことがある・利 用している	利用する必要がなかった	満たしていなかった 利用したかったが条件を 満たしていなかった	利用したかったが制度が 使いづらかった	利用するのに抵抗感があ った	利用のしかたがわからな かった	制度やサービスについて まったく知らなかった	
全体		4753 100.0%	819 17.2%	3401 71.6%	198 4.2%	10 0.2%	18 0.4%	48 1.0%	72 1.5%	187 3.9%
世帯類型	ひとり親世帯	652 100.0%	381 58.4%	161 24.7%	31 4.8%	1 0.2%	3 0.5%	15 2.3%	20 3.1%	40 6.1%
	ふたり親世帯	4020 100.0%	425 10.6%	3197 79.5%	166 4.1%	9 0.2%	14 0.3%	29 0.7%	47 1.2%	133 3.3%
	その他世帯	28 100.0%	9 32.1%	12 42.9%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	1 3.6%	4 14.3%
	不明	53 100.0%	4 7.5%	31 58.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	3 5.7%	4 7.5%	10 18.9%

※小2,小5,中2,高2の保護者が回答

表 63 所得階層と手当等の制度利用（就学援助）のクロス

		合計	手当等の制度利用（就学援助）							不明
			利用している	利用したことがある・利用していない	利用する必要がなかった	満たしていなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用するのに抵抗があった	
全体		4753 100.0%	819 17.2%	3401 71.6%	198 4.2%	10 0.2%	18 0.4%	48 1.0%	72 1.5%	187 3.9%
所得階層	低所得層 I	587 100.0%	341 58.1%	163 27.8%	18 3.1%	4 0.7%	3 0.5%	12 2.0%	16 2.7%	30 5.1%
	低所得層 II	627 100.0%	214 34.1%	313 49.9%	49 7.8%	2 0.3%	7 1.1%	14 2.2%	8 1.3%	20 3.2%
	中間所得層 I	679 100.0%	106 15.6%	482 71.0%	51 7.5%	2 0.3%	3 0.4%	8 1.2%	12 1.8%	15 2.2%
	中間所得層 II	1187 100.0%	76 6.4%	1007 84.8%	49 4.1%	1 0.1%	2 0.2%	3 0.3%	25 2.1%	24 2.0%
	上位所得層	1158 100.0%	18 1.6%	1106 95.5%	15 1.3%	1 0.1%	0 0.0%	3 0.3%	5 0.4%	10 0.9%
	不明	515 100.0%	64 12.4%	330 64.1%	16 3.1%	0 0.0%	3 0.6%	8 1.6%	6 1.2%	88 17.1%

※小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は 17.2%である。ひとり親世帯（58.4%）、低所得層 I（58.1%）、低所得層 II（34.1%）では特に利用者が多い。

「利用する必要がなかった」は 71.6%で、全体の約 7 割を占める。不明の 3.9%を除くと、全体の 7.3%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。

ひとり親世帯では「利用する必要はなかった」は 24.7%で、不明の 6.1%を除くと、全体の 10.7%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由は「条件を満たしていなかった（4.8%）」「利用の仕方がわからなかった（2.3%）」「制度やサービスについて知らなかった（3.1%）」が多い。

低所得層 I では、「利用する必要はなかった」は 27.8%で、不明の 5.1%を除くと、全体の 9.0%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由はひとり親世帯と同様に「条件を満たしていなかった（3.1%）」「利用の仕方がわからなかった（2.0%）」「制度やサービスについて知らなかった（2.7%）」が多い。

7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について

表 64 学年と生活や心身への影響があったか（A 母親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか A 母親の仕事への影響（※複数回答）						不明
			失業した・仕事をやめた	休業した 一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	
全体		7119 —	249 3.5%	1105 15.5%	724 10.2%	405 5.7%	16 0.2%	4686 65.8%	229 3.2%
学年	2 歳児	1388 —	52 3.7%	196 14.1%	96 6.9%	57 4.1%	2 0.1%	1010 72.8%	32 2.3%
	5 歳児	1114 —	38 3.4%	223 20.0%	124 11.1%	59 5.3%	2 0.2%	698 62.7%	31 2.8%
	小学 2 年生	1233 —	40 3.2%	217 17.6%	123 10.0%	67 5.4%	2 0.2%	791 64.2%	48 3.9%
	小学 5 年生	1224 —	46 3.8%	203 16.6%	110 9.0%	83 6.8%	7 0.6%	774 63.2%	35 2.9%
	中学 2 年生	1093 —	33 3.0%	146 13.4%	135 12.4%	76 7.0%	2 0.2%	700 64.0%	42 3.8%
	高校 2 年生	1067 —	40 3.7%	120 11.2%	136 12.7%	63 5.9%	1 0.1%	713 66.8%	41 3.8%

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 65 世帯類型と生活や心身への影響があったか（A 母親の仕事への影響）のクロス

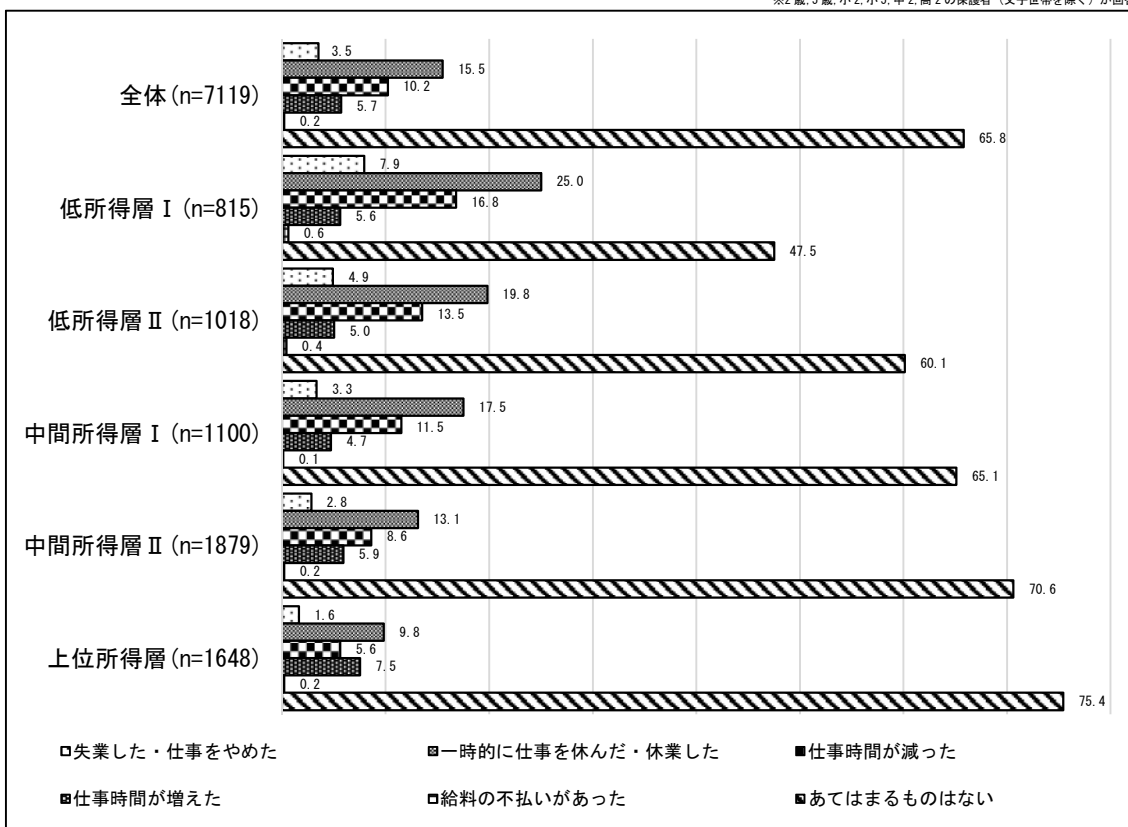
		合計	生活や心身への影響があったか A 母親の仕事への影響（※複数回答）						不明
			失業した・仕事をやめた	休業した 一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	
全体		7119 —	249 3.5%	1105 15.5%	724 10.2%	405 5.7%	16 0.2%	4686 65.8%	229 3.2%
世帯類型	ひとり親世帯	734 —	47 6.4%	156 21.3%	107 14.6%	60 8.2%	5 0.7%	361 49.2%	37 5.0%
	ふたり親世帯	6371 —	201 3.2%	947 14.9%	615 9.7%	345 5.4%	11 0.2%	4316 67.7%	191 3.0%
	その他世帯	14 —	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	9 64.3%	1 7.1%

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 66 所得階層と生活や心身への影響があったか（A 母親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか A 母親の仕事への影響（※複数回答）						不明
			失業した・仕事をやめた	一時的に仕事を休んだ・休業した	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	
全体		7119	249	1105	724	405	16	4686	229
		—	3.5%	15.5%	10.2%	5.7%	0.2%	65.8%	3.2%
所得階層	低所得層 I	815	64	204	137	46	5	387	34
		—	7.9%	25.0%	16.8%	5.6%	0.6%	47.5%	4.2%
	低所得層 II	1018	50	202	137	51	4	612	27
		—	4.9%	19.8%	13.5%	5.0%	0.4%	60.1%	2.7%
	中間所得層 I	1100	36	193	127	52	1	716	22
		—	3.3%	17.5%	11.5%	4.7%	0.1%	65.1%	2.0%
	中間所得層 II	1879	52	247	161	111	3	1327	38
	—	2.8%	13.1%	8.6%	5.9%	0.2%	70.6%	2.0%	
上位所得層	1648	26	161	93	124	3	1243	31	
	—	1.6%	9.8%	5.6%	7.5%	0.2%	75.4%	1.9%	
不明	659	21	98	69	21	0	401	77	
	—	3.2%	14.9%	10.5%	3.2%	0.0%	60.8%	11.7%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

「失業した・仕事をやめた」は全体で3.5%。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯に、より失業や休業等への影響がある（「失業した・仕事をやめた」はひとり親世帯では6.4%、ふたり親世帯では3.2%、「一時的に仕事を休んだ・休業した」はひとり親世帯では21.3%、ふたり親世帯では14.9%）（表65）。

所得階層別にみると、低所得層に、より失業や休業への影響がある（「失業した・仕事をやめた」は低所得層Ⅰでは7.9%、上位所得層では1.6%、「一時的に仕事を休んだ・休業した」は低所得層Ⅰでは25.0%、上位所得層では9.8%）（表66）。

表 67 学年と生活や心身への影響があったか（B 父親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか B 父親の仕事への影響（※複数回答）						
			失業した・仕事をやめた	休業した 一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	不明
全体		6449	91	514	771	402	20	4634	178
		—	1.4%	8.0%	12.0%	6.2%	0.3%	71.9%	2.8%
学年	2 歳児	1317	25	121	173	99	5	928	16
		—	1.9%	9.2%	13.1%	7.5%	0.4%	70.5%	1.2%
	5 歳児	1045	12	103	127	58	4	759	19
		—	1.1%	9.9%	12.2%	5.6%	0.4%	72.6%	1.8%
	小学 2 年生	1130	18	92	142	79	2	794	31
		—	1.6%	8.1%	12.6%	7.0%	0.2%	70.3%	2.7%
	小学 5 年生	1075	15	70	110	67	4	792	32
	—	1.4%	6.5%	10.2%	6.2%	0.4%	73.7%	3.0%	
中学 2 年生	956	8	72	122	52	3	680	41	
	—	0.8%	7.5%	12.8%	5.4%	0.3%	71.1%	4.3%	
高校 2 年生	926	13	56	97	47	2	681	39	
	—	1.4%	6.0%	10.5%	5.1%	0.2%	73.5%	4.2%	

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 68 世帯類型と生活や心身への影響があったか（B 父親の仕事への影響）のクロス

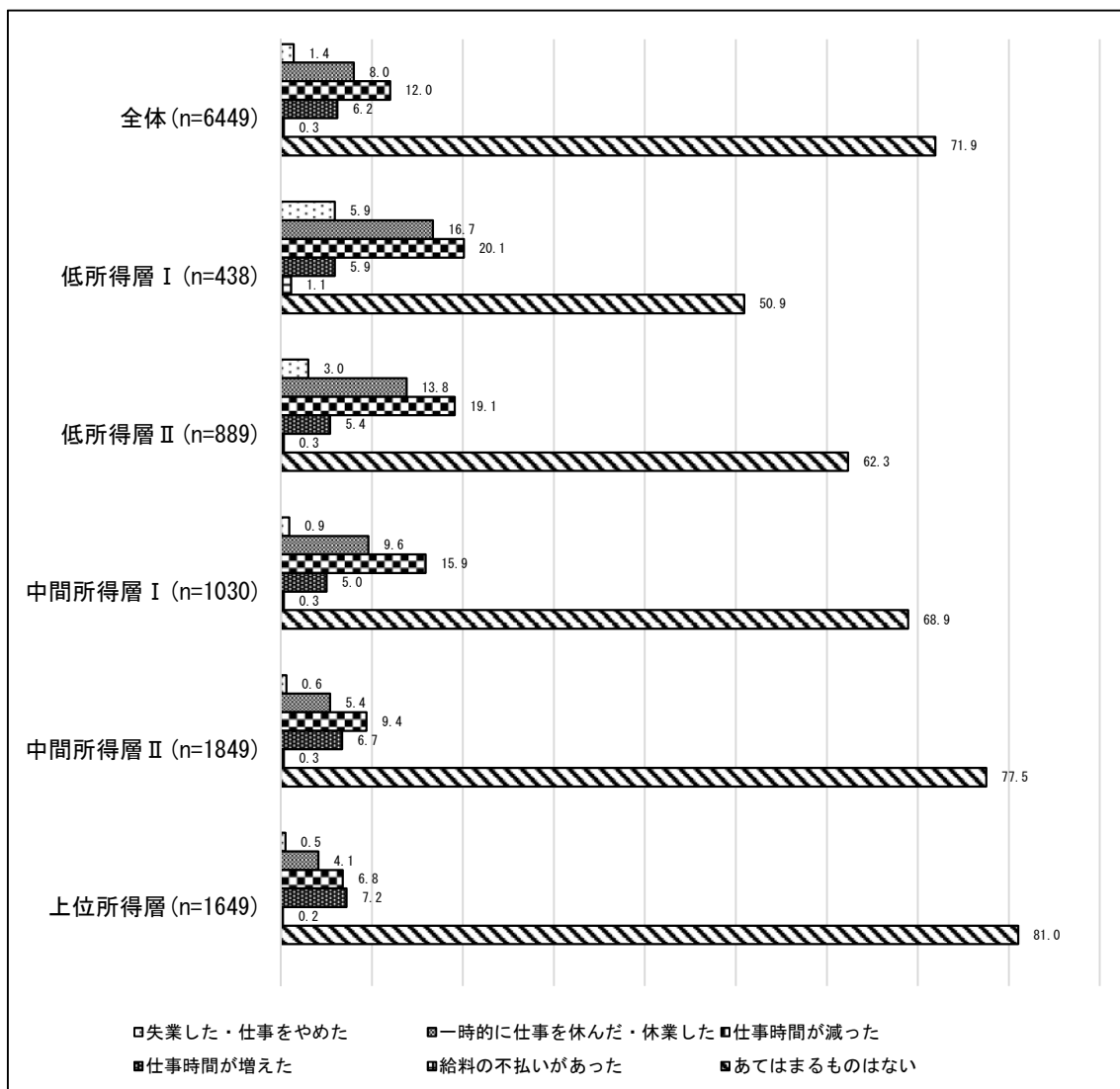
		合計	生活や心身への影響があったか B 父親の仕事への影響（※複数回答）						不明
			失業した・仕事をやめた	休業した 一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	
全体		6449 —	91 1.4%	514 8.0%	771 12.0%	402 6.2%	20 0.3%	4634 71.9%	178 2.8%
世帯類型	ひとり親世帯	71 —	0 0.0%	7 9.9%	9 12.7%	5 7.0%	0 0.0%	45 63.4%	7 9.9%
	ふたり親世帯	6371 —	91 1.4%	507 8.0%	761 11.9%	397 6.2%	20 0.3%	4584 72.0%	170 2.7%
	その他世帯	7 —	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 69 所得階層と生活や心身への影響があったか（B 父親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか B 父親の仕事への影響（※複数回答）						不明
			失業した・仕事をやめた	休業した 一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	
全体		6449 —	91 1.4%	514 8.0%	771 12.0%	402 6.2%	20 0.3%	4634 71.9%	178 2.8%
所得階層	低所得層 I	438 —	26 5.9%	73 16.7%	88 20.1%	26 5.9%	5 1.1%	223 50.9%	27 6.2%
	低所得層 II	889 —	27 3.0%	123 13.8%	170 19.1%	48 5.4%	3 0.3%	554 62.3%	11 1.2%
	中間所得層 I	1030 —	9 0.9%	99 9.6%	164 15.9%	52 5.0%	3 0.3%	710 68.9%	22 2.1%
	中間所得層 II	1849 —	12 0.6%	99 5.4%	173 9.4%	123 6.7%	6 0.3%	1433 77.5%	29 1.6%
	上位所得層	1649 —	8 0.5%	68 4.1%	112 6.8%	118 7.2%	3 0.2%	1335 81.0%	24 1.5%
	不明	594 —	9 1.5%	52 8.8%	64 10.8%	35 5.9%	0 0.0%	379 63.8%	65 10.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答



※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者(母子世帯を除く)が回答

学年、世帯類型、所得階層ともに、影響の偏りはみられない。
前記の母親の仕事への方が大きな影響がある。

表 70 学年と生活や心身への影響があったか（C 回答者自身への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか C 回答者自身への影響（※複数回答）							
			体調をくずした・くずしやすくなった	気持ちが沈みがちになった	病院にかかりにくくなった	子育てや子どもに使う時間が増えた	子どもに注意したり怒ったりすることが増えた	友人や知人に相談ことをする機会が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282	625	1536	1132	1565	1376	1328	2943	159
		—	8.6%	21.1%	15.5%	21.5%	18.9%	18.2%	40.4%	2.2%
学年	2 歳児	1398	116	300	274	375	336	341	493	10
		—	8.3%	21.5%	19.6%	26.8%	24.0%	24.4%	35.3%	0.7%
	5 歳児	1131	85	256	229	320	301	230	367	18
		—	7.5%	22.6%	20.2%	28.3%	26.6%	20.3%	32.4%	1.6%
	小学 2 年生	1249	111	262	180	311	297	208	479	28
		—	8.9%	21.0%	14.4%	24.9%	23.8%	16.7%	38.4%	2.2%
	小学 5 年生	1263	107	276	172	282	246	206	486	31
	—	8.5%	21.9%	13.6%	22.3%	19.5%	16.3%	38.5%	2.5%	
中学 2 年生	1133	99	227	144	163	124	193	530	36	
	—	8.7%	20.0%	12.7%	14.4%	10.9%	17.0%	46.8%	3.2%	
高校 2 年生	1108	107	215	133	114	72	150	588	36	
	—	9.7%	19.4%	12.0%	10.3%	6.5%	13.5%	53.1%	3.2%	

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者が回答

表 71 世帯類型と生活や心身への影響があったか（C 回答者自身への影響）のクロス

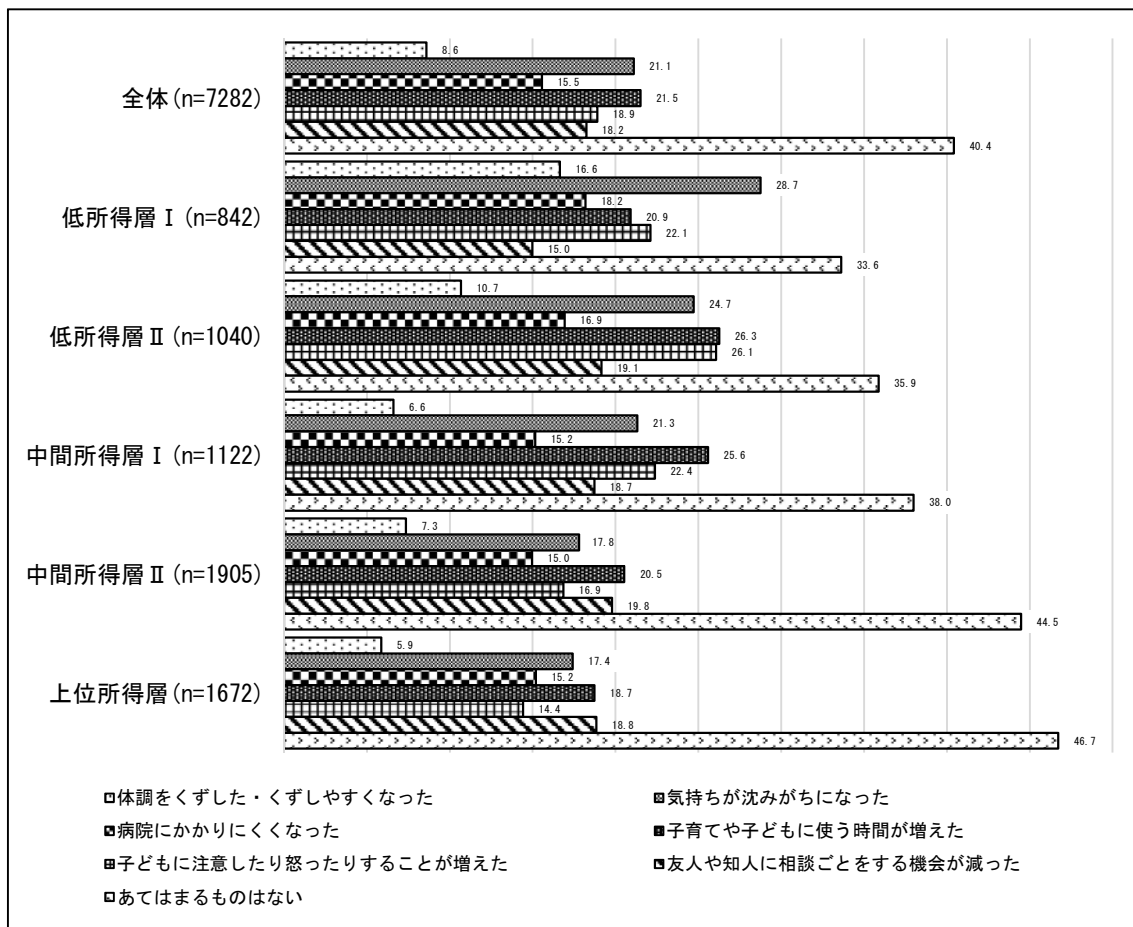
		合計	生活や心身への影響があったか C 回答者自身への影響（※複数回答）							
			体調をくずした・くずしやすくなった	気持ちが沈みがちになった	病院にかかりにくくなった	子育てや子どもに使う時間が増えた	子どもに注意したり怒ったりすることが増えた	友人や知人に相談ことをする機会が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282	625	1536	1132	1565	1376	1328	2943	159
		—	8.6%	21.1%	15.5%	21.5%	18.9%	18.2%	40.4%	2.2%
世帯類型	ひとり親世帯	805	131	226	119	141	149	104	290	30
		—	16.3%	28.1%	14.8%	17.5%	18.5%	12.9%	36.0%	3.7%
	ふたり親世帯	6371	483	1287	1001	1407	1210	1215	2613	112
		—	7.6%	20.2%	15.7%	22.1%	19.0%	19.1%	41.0%	1.8%
その他世帯	41	3	8	5	9	8	6	20	1	
	—	7.3%	19.5%	12.2%	22.0%	19.5%	14.6%	48.8%	2.4%	
不明	65	8	15	7	8	9	3	20	16	
	—	12.3%	23.1%	10.8%	12.3%	13.8%	4.6%	30.8%	24.6%	

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者が回答

表 72 所得階層と生活や心身への影響があったか（C 回答者自身への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか C 回答者自身への影響（※複数回答）							不明
			体調をくずした・くずしやすくなった	気持ちが沈みがちになった	病院にかかりにくくなった	子育てや子どもに使う時間が増えた	子どもに注意したり怒ったりすることが増えた	友人や知人に相談ことをする機会が減った	あてはまるものはない	
全体		7282 —	625 8.6%	1536 21.1%	1132 15.5%	1565 21.5%	1376 18.9%	1328 18.2%	2943 40.4%	159 2.2%
所得階層	低所得層 I	842 —	140 16.6%	242 28.7%	153 18.2%	176 20.9%	186 22.1%	126 15.0%	283 33.6%	24 2.9%
	低所得層 II	1040 —	111 10.7%	257 24.7%	176 16.9%	273 26.3%	271 26.1%	199 19.1%	373 35.9%	8 0.8%
	中間所得層 I	1122 —	74 6.6%	239 21.3%	170 15.2%	287 25.6%	251 22.4%	210 18.7%	426 38.0%	12 1.1%
	中間所得層 II	1905 —	140 7.3%	339 17.8%	285 15.0%	391 20.5%	321 16.9%	377 19.8%	847 44.5%	17 0.9%
	上位所得層	1672 —	98 5.9%	291 17.4%	254 15.2%	313 18.7%	241 14.4%	315 18.8%	781 46.7%	15 0.9%
	不明	701 —	62 8.8%	168 24.0%	94 13.4%	125 17.8%	106 15.1%	101 14.4%	233 33.2%	83 11.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「体調をくずした・くずしやすくなった」は全体で8.6%、「気持ちが沈みがちになった」は全体で21.1%。

年齢・学年別にみると、2歳児・5歳児保護者で、より子育て関連の苦労が増えている（「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」は2歳児保護者では24.0%、5歳児保護者では26.6%）（表70）。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯で、より体調や気持ちへの負の影響がある（「体調をくずした・くずしやすくなった」はひとり親世帯では16.3%、ふたり親世帯では7.6%、「気持ちが沈みがちになった」はひとり親世帯では28.1%、ふたり親世帯では20.2%）（表71）。

所得階層別にみると、低所得層で、心身の調子低下や子育て関連の苦労の影響がよりある（「体調をくずした・くずしやすくなった」は低所得層Iでは16.6%、上位所得層では5.9%、「気持ちが沈みがちになった」は低所得層Iでは28.7%、上位所得層では17.4%、「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」は低所得層Iでは22.1%、上位所得層では14.4%）（表72）

表 73-1 学年と生活や心身への影響があったか（D子どもへの影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D子どもへの影響（全学年）（※複数回答）								
			5・中2・高2 学習に支障が でた（小2・小 小）	習い事などに 支障がでた	遊びや友だち づきあいに支 障がでた	生活リズムが くずれた	体力が落ちたり、 ケガをしやす くなった	精神的に不安定 になったり、 ふさぎ込むこと が増えた	ゲームや動画の 視聴時間が 増えた（2歳児・ 5歳児）	あてはまるもの はない	不明
全体		7282	948	1733	1922	1595	688	521	1315	2356	148
		—	13.0%	23.8%	26.4%	21.9%	9.4%	7.2%	18.1%	32.4%	2.0%
学年	2歳児	1398	0	170	351	130	39	95	642	521	18
		—	0.0%	12.2%	25.1%	9.3%	2.8%	6.8%	45.9%	37.3%	1.3%
	5歳児	1131	0	305	317	160	82	112	673	242	15
		—	0.0%	27.0%	28.0%	14.1%	7.3%	9.9%	59.5%	21.4%	1.3%
	小学2年生	1249	171	411	376	202	128	82	0	434	31
		—	13.7%	32.9%	30.1%	16.2%	10.2%	6.6%	0.0%	34.7%	2.5%
	小学5年生	1263	260	454	339	343	175	85	0	374	27
	—	20.6%	35.9%	26.8%	27.2%	13.9%	6.7%	0.0%	29.6%	2.1%	
中学2年生	1133	264	263	278	382	161	74	0	364	27	
	—	23.3%	23.2%	24.5%	33.7%	14.2%	6.5%	0.0%	32.1%	2.4%	
高校2年生	1108	253	130	261	378	103	73	0	421	30	
	—	22.8%	11.7%	23.6%	34.1%	9.3%	6.6%	0.0%	38.0%	2.7%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 73-2 学年と生活や心身への影響があったか（D子どもへの影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D子どもへの影響（2歳児・5歳児）（※複数回答）								
			—	習い事などに支障がでた	遊びや友だちつきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	すくなくなった 体力が落ちたり、ケガをしやすくなった	ふさぎ込むことが増えた 精神的に不安定になったり、	ゲームや動画の視聴時間が増えた	あてはまるものはない	不明
全体 (2歳児・5歳児)		2529	—	475	668	290	121	207	1315	763	33
		—	—	18.8%	26.4%	11.5%	4.8%	8.2%	52.0%	30.2%	1.3%
学年	2歳児	1398	—	170	351	130	39	95	642	521	18
		—	—	12.2%	25.1%	9.3%	2.8%	6.8%	45.9%	37.3%	1.3%
5歳児	1131	—	305	317	160	82	112	673	242	15	
	—	—	27.0%	28.0%	14.1%	7.3%	9.9%	59.5%	21.4%	1.3%	

※2歳、5歳の保護者が回答

表 73-3 学年と生活や心身への影響があったか（D子どもへの影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D子どもへの影響（※複数回答）								
			学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちつきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	すくなくなった 体力が落ちたり、ケガをしやすくなった	ふさぎ込むことが増えた 精神的に不安定になったり、	—	あてはまるものはない	不明
全体（小2・小5・中2・高2）		4753	948	1258	1254	1305	567	314	—	1593	115
		—	19.9%	26.5%	26.4%	27.5%	11.9%	6.6%	—	33.5%	2.4%
学年	小学2年生	1249	171	411	376	202	128	82	—	434	31
		—	13.7%	32.9%	30.1%	16.2%	10.2%	6.6%	—	34.7%	2.5%
	小学5年生	1263	260	454	339	343	175	85	—	374	27
		—	20.6%	35.9%	26.8%	27.2%	13.9%	6.7%	—	29.6%	2.1%
中学2年生	1133	264	263	278	382	161	74	—	364	27	
	—	23.3%	23.2%	24.5%	33.7%	14.2%	6.5%	—	32.1%	2.4%	
高校2年生	1108	253	130	261	378	103	73	—	421	30	
	—	22.8%	11.7%	23.6%	34.1%	9.3%	6.6%	—	38.0%	2.7%	

※小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 74 世帯類型と生活や心身への影響があったか（D 子どもへの影響）のクロス

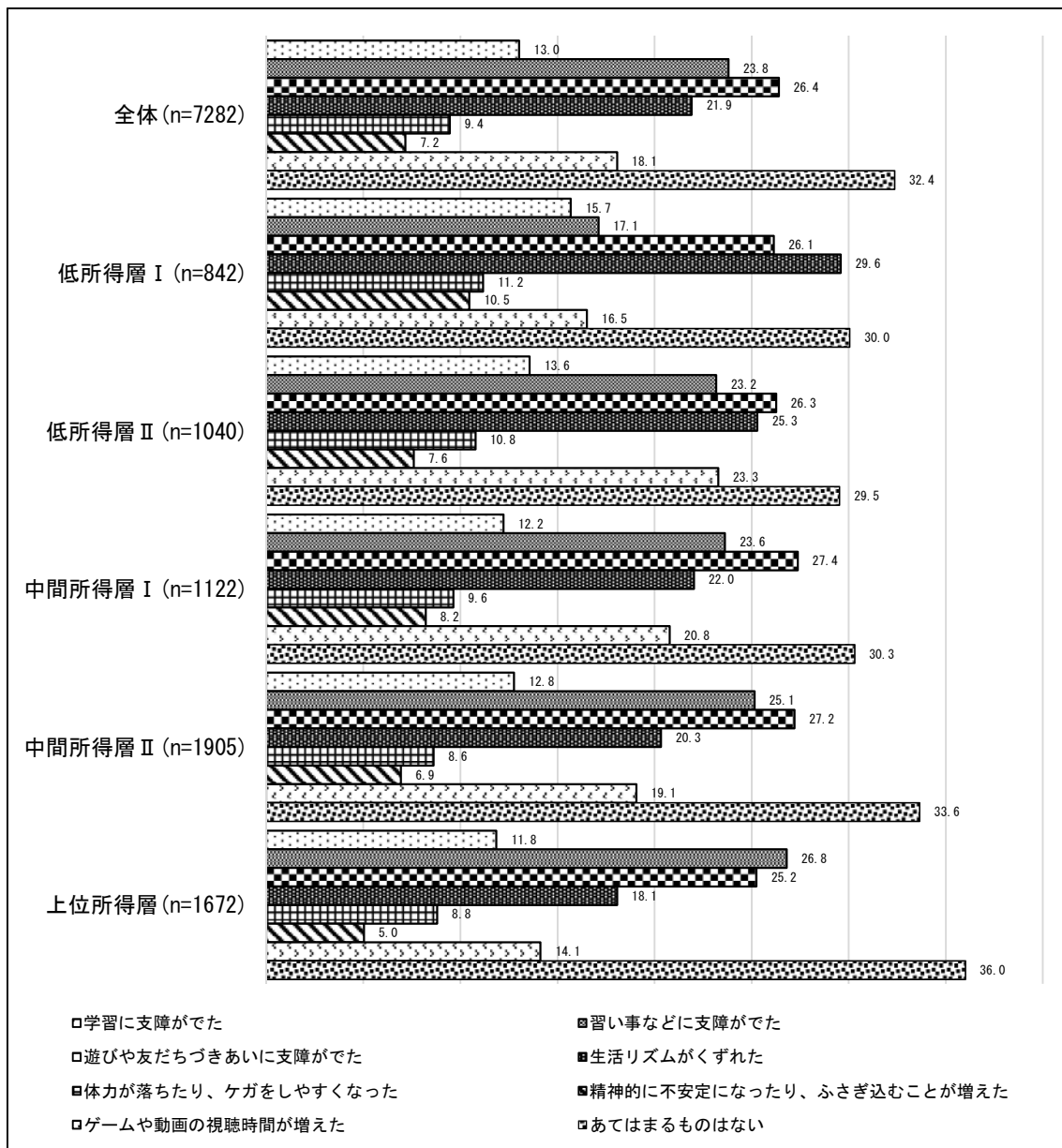
		合計	生活や心身への影響があったか D子どもへの影響（※複数回答）								
			学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちつきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	体力が落ちたり、ケガをしやすくなった	精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた	ゲームや動画の視聴時間が増えた	あてはまるものはない	不明
全体		7282 —	948 13.0%	1733 23.8%	1922 26.4%	1595 21.9%	688 9.4%	521 7.2%	1315 18.1%	2356 32.4%	148 2.0%
世帯類型	ひとり親世帯	805 —	158 19.6%	144 17.9%	200 24.8%	257 31.9%	95 11.8%	67 8.3%	69 8.6%	249 30.9%	25 3.1%
	ふたり親世帯	6371 —	772 12.1%	1575 24.7%	1702 26.7%	1312 20.6%	581 9.1%	445 7.0%	1231 19.3%	2082 32.7%	106 1.7%
	その他世帯	41 —	7 17.1%	4 9.8%	6 14.6%	15 36.6%	4 9.8%	4 9.8%	8 19.5%	8 19.5%	2 4.9%
	不明	65 —	11 16.9%	10 15.4%	14 21.5%	11 16.9%	8 12.3%	5 7.7%	7 10.8%	17 26.2%	15 23.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 75 所得階層と生活や心身への影響があったか（D子どもへの影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D子どもへの影響（※複数回答）								
			学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちつきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	体力が落ちたり、ケガをしやすくなった	精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた	ゲームや動画の視聴時間が増えた	あてはまるものはない	不明
全体		7282 —	948 13.0%	1733 23.8%	1922 26.4%	1595 21.9%	688 9.4%	521 7.2%	1315 18.1%	2356 32.4%	148 2.0%
所得階層	低所得層Ⅰ	842 —	132 15.7%	144 17.1%	220 26.1%	249 29.6%	94 11.2%	88 10.5%	139 16.5%	253 30.0%	24 2.9%
	低所得層Ⅱ	1040 —	141 13.6%	241 23.2%	273 26.3%	263 25.3%	112 10.8%	79 7.6%	242 23.3%	307 29.5%	8 0.8%
	中間所得層Ⅰ	1122 —	137 12.2%	265 23.6%	307 27.4%	247 22.0%	108 9.6%	92 8.2%	233 20.8%	340 30.3%	15 1.3%
	中間所得層Ⅱ	1905 —	243 12.8%	479 25.1%	518 27.2%	387 20.3%	164 8.6%	132 6.9%	363 19.1%	641 33.6%	13 0.7%
	上位所得層	1672 —	198 11.8%	448 26.8%	422 25.2%	302 18.1%	147 8.8%	84 5.0%	236 14.1%	602 36.0%	11 0.7%
	不明	701 —	97 13.8%	156 22.3%	182 26.0%	147 21.0%	63 9.0%	46 6.6%	102 14.6%	213 30.4%	77 11.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

世帯類型別にみると、ひとり親世帯で、学習の支障と生活リズムのくずれの影響がより大きい(「学習に支障がでた」はひとり親世帯では19.6%、ふたり親世帯では12.1%、「生活リズムがくずれた」はひとり親世帯では31.9%、ふたり親世帯では20.6%)。また、ふたり親世帯で、習い事の支障の影響がより大きい。(「習い事などに支障がでた」はひとり親世帯では17.9%、ふたり親世帯では24.7%) (表74)。

所得階層別にみると、低所得層で、学習の支障、体力・ケガの増加と精神的に不安定への影響がより大きい(「学習に支障がでた」は低所得層Iでは15.7%、上位所得層では11.8%、「体力が落ちたり、ケガをしやすくなった」は低所得層Iでは11.2%、上位所得層では8.8%、「精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた」は低所得層Iでは10.5%、上位所得層では5.0%) (表75)

表 76 学年と生活や心身への影響があったか（E 家庭の家計への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか E 家庭の家計への影響（※複数回答）				
			世帯収入が減った	世帯の支出が増えた	世帯の貯蓄が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282	1570	1307	1011	4029	212
		—	21.6%	17.9%	13.9%	55.3%	2.9%
学年	2 歳児	1398	294	224	187	809	9
		—	21.0%	16.0%	13.4%	57.9%	0.6%
	5 歳児	1131	240	215	181	620	28
		—	21.2%	19.0%	16.0%	54.8%	2.5%
	小学 2 年生	1249	265	214	152	711	47
		—	21.2%	17.1%	12.2%	56.9%	3.8%
	小学 5 年生	1263	271	221	165	698	48
	—	21.5%	17.5%	13.1%	55.3%	3.8%	
中学 2 年生	1133	260	228	167	594	38	
	—	22.9%	20.1%	14.7%	52.4%	3.4%	
高校 2 年生	1108	240	205	159	597	42	
	—	21.7%	18.5%	14.4%	53.9%	3.8%	

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者が回答

表 77 学年と生活や心身への影響があったか（E 家庭の家計への影響）のクロス

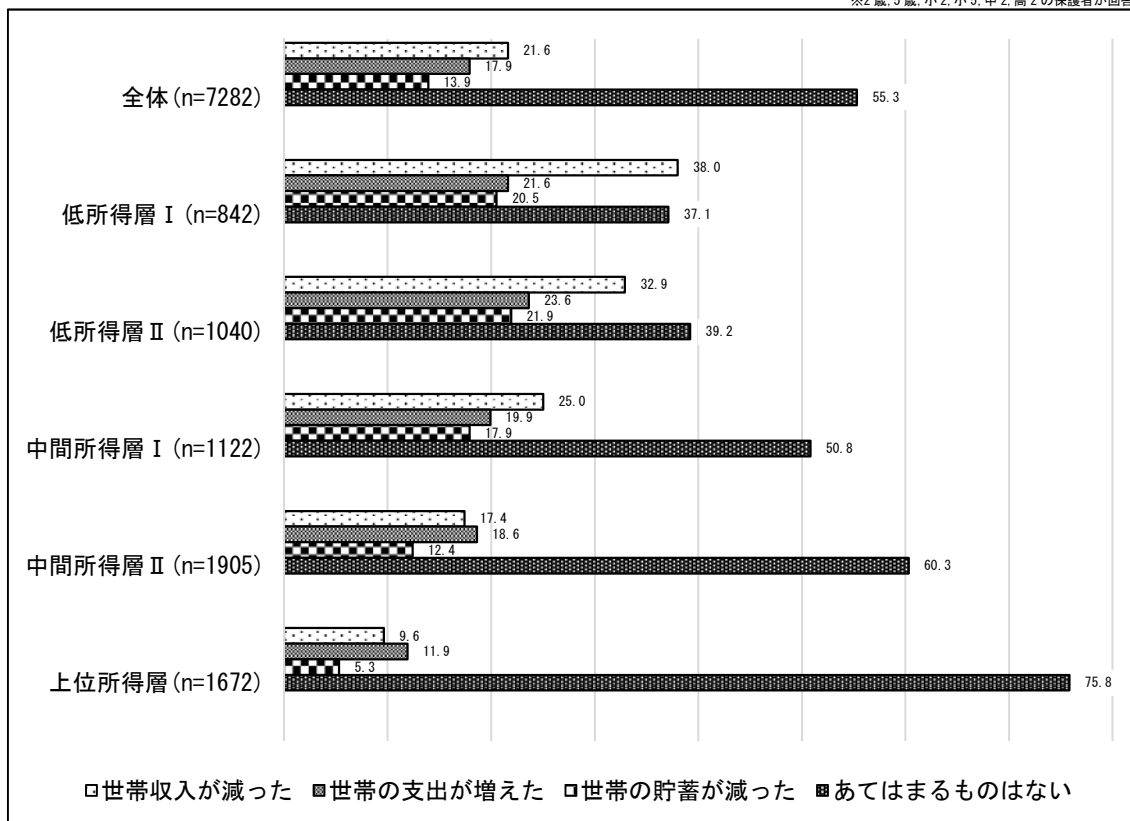
		合計	生活や心身への影響があったか E 家庭の家計への影響（※複数回答）				
			世帯収入が減った	世帯の支出が増えた	世帯の貯蓄が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282	1570	1307	1011	4029	212
		—	21.6%	17.9%	13.9%	55.3%	2.9%
世帯類型	ひとり親世帯	805	224	158	139	370	34
		—	27.8%	19.6%	17.3%	46.0%	4.2%
	ふたり親世帯	6371	1324	1129	857	3617	160
		—	20.8%	17.7%	13.5%	56.8%	2.5%
	その他世帯	41	7	9	7	21	1
	—	17.1%	22.0%	17.1%	51.2%	2.4%	
不明	65	15	11	8	21	17	
	—	23.1%	16.9%	12.3%	32.3%	26.2%	

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者が回答

表 78 学年と生活や心身への影響があったか（E 家庭の家計への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか E 家庭の家計への影響（※複数回答）				
			世帯収入が減った	世帯の支出が増えた	世帯の貯蓄が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282 100.0%	1570 21.6%	1307 17.9%	1011 13.9%	4029 55.3%	212 2.9%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	320 38.0%	182 21.6%	173 20.5%	312 37.1%	17 2.0%
	低所得層 II	1040 100.0%	342 32.9%	245 23.6%	228 21.9%	408 39.2%	14 1.3%
	中間所得層 I	1122 100.0%	280 25.0%	223 19.9%	201 17.9%	570 50.8%	17 1.5%
	中間所得層 II	1905 100.0%	332 17.4%	355 18.6%	237 12.4%	1149 60.3%	16 0.8%
	上位所得層	1672 100.0%	161 9.6%	199 11.9%	88 5.3%	1267 75.8%	17 1.0%
	不明	701 100.0%	135 19.3%	103 14.7%	84 12.0%	323 46.1%	131 18.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

全体として、「世帯収入が減った」は21.6%、「世帯の支出が増えた」は17.9%、「世帯の貯蓄が減った」は13.9%。

年齢・学年ごとの偏りはみられない（表76）。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において家計への負の影響がより大きい（「世帯収入が減った」はひとり親世帯では27.8%、ふたり親世帯では20.8%、「世帯の支出が増えた」はひとり親世帯では19.6%、ふたり親世帯では17.7%、「世帯の貯蓄が減った」はひとり親世帯では17.3%、ふたり親世帯では13.5%）（表77）。

所得階層別にみると、低所得層において家計への負の影響がより大きい（「世帯収入が減った」は所得階層Ⅰでは38.0%、上位所得層では9.6%、「世帯の支出が増えた」は所得階層Ⅰでは21.6%、上位所得層では11.9%、「世帯の貯蓄が減った」は所得階層Ⅰでは20.5%、上位所得層では5.3%）（表78）。

【総評】新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

仕事・体調・家計に共通して、ひとり親・母親・低所得層において負の影響が大きい。

2歳児・5歳児保護者では、子育てに関わる苦勞が、小学生以降より増した様子が見える。

子どもへの影響では、影響の出る項目が世帯類型や所得階層の違いにより、やや異なるパターンを示している。

第二部

子ども回答結果より

第二部 子ども回答結果より

1 自分の家の暮らし向き

表 79 学年と自分の家の暮らし向きのクロス

		合計	自分の家の暮らし向き						
			大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	わからない	不明
全体		3513 100.0%	63 1.8%	350 10.0%	1643 46.8%	598 17.0%	247 7.0%	556 15.8%	56 1.6%
学年	小学 5 年生	1262 100.0%	11 0.9%	59 4.7%	541 42.9%	219 17.4%	122 9.7%	284 22.5%	26 2.1%
	中学 2 年生	1132 100.0%	16 1.4%	103 9.1%	552 48.8%	190 16.8%	69 6.1%	186 16.4%	16 1.4%
	高校 2 年生	1119 100.0%	36 3.2%	188 16.8%	550 49.2%	189 16.9%	56 5.0%	86 7.7%	14 1.3%

表 80 世帯類型と自分の家の暮らし向きのクロス

※小 5、中 2、高 2 の子どもが回答

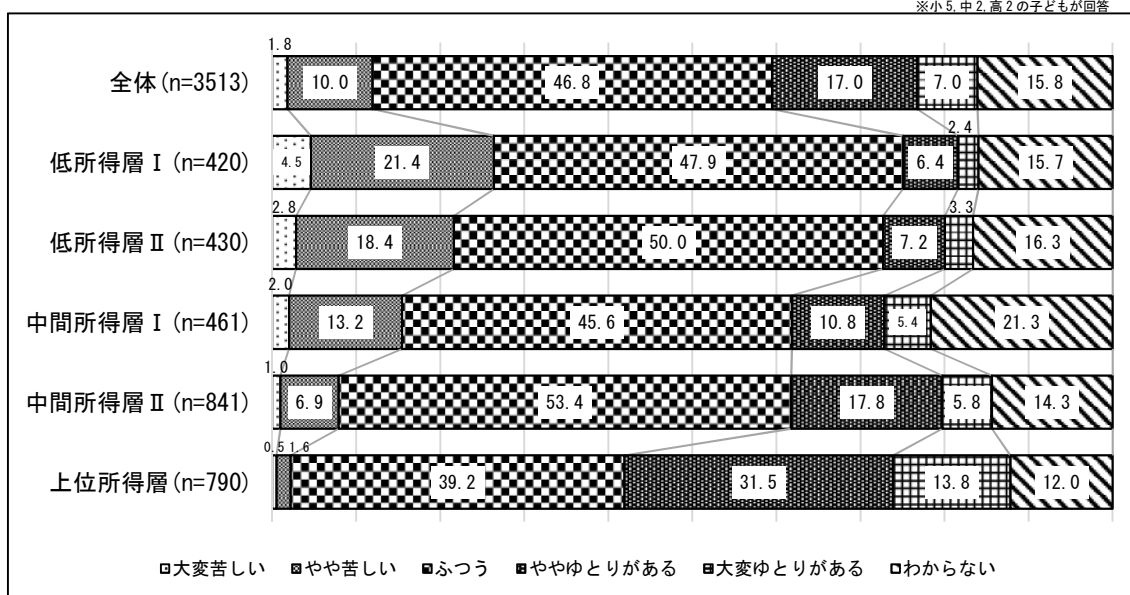
		合計	自分の家の暮らし向き						
			大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	わからない	不明
全体		3513 100.0%	63 1.8%	350 10.0%	1643 46.8%	598 17.0%	247 7.0%	556 15.8%	56 1.6%
世帯 類型	ひとり親世帯	496 100.0%	19 3.8%	109 22.0%	223 45.0%	53 10.7%	11 2.2%	75 15.1%	6 1.2%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	37 1.4%	216 7.9%	1288 47.1%	505 18.5%	220 8.0%	430 15.7%	41 1.5%
	その他世帯	24 100.0%	0 0.0%	4 16.7%	18 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%
	不明	256 100.0%	7 2.7%	21 8.2%	114 44.5%	40 15.6%	16 6.3%	49 19.1%	9 3.5%

※小 5、中 2、高 2 の子どもが回答

表 81 所得階層と自分の家の暮らし向きのクロス

		合計	自分の家の暮らし向き						
			大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	わからない	不明
全体		3513 100.0%	63 1.8%	350 10.0%	1643 46.8%	598 17.0%	247 7.0%	556 15.8%	56 1.6%
所得階層	低所得層 I	420 100.0%	19 4.5%	90 21.4%	201 47.9%	27 6.4%	10 2.4%	66 15.7%	7 1.7%
	低所得層 II	430 100.0%	12 2.8%	79 18.4%	215 50.0%	31 7.2%	14 3.3%	70 16.3%	9 2.1%
	中間所得層 I	461 100.0%	9 2.0%	61 13.2%	210 45.6%	50 10.8%	25 5.4%	98 21.3%	8 1.7%
	中間所得層 II	841 100.0%	8 1.0%	58 6.9%	449 53.4%	150 17.8%	49 5.8%	120 14.3%	7 0.8%
	上位所得層	790 100.0%	4 0.5%	13 1.6%	310 39.2%	249 31.5%	109 13.8%	95 12.0%	10 1.3%
	不明	571 100.0%	11 1.9%	49 8.6%	258 45.2%	91 15.9%	40 7.0%	107 18.7%	15 2.6%

※小5、中2、高2の子どもが回答



※小5、中2、高2の子どもが回答

子ども自身が、自分の家の経済状態をどのように認識しているのかを理解するために、自分の家の暮らし向きへの認知を調べた。学年別にみると、学年が上がるにつれて、暮らし向きを「大変苦しい」「やや苦しい」と認知している者の割合が高くなる（「大変苦しい」と「やや苦しい」を足すと小5では5.5%、高2では20.0%）（表79）。

世帯累計別にみると、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯の子どものほうが、「大変苦しい」「やや苦しい」と認知している者の割合が高い（「大変苦しい」と「やや苦しい」

を足すとひとり親では25.8%、ふたり親では9.2%) (表 80)。

所得階層別にみると、所得が低い階層になるほど、「大変苦しい」「やや苦しい」と認知している者の割合が高い(「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると低所得層Ⅰでは26.0%、上位所得層では2.2%) (表 81)。

2 居場所・相談相手・食事等について

表 82 学年と平日の放課後一緒に過ごす相手（一人である）のクロス

		合計	平日の放課後一緒に過ごす相手（一人である）				
			まったくない	あまりない	ときどきある	よくある	不明
全体		3513 100.0%	915 26.0%	897 25.5%	880 25.0%	629 17.9%	192 5.5%
学年	小学5年生	1262 100.0%	428 33.9%	338 26.8%	261 20.7%	155 12.3%	80 6.3%
	中学2年生	1132 100.0%	255 22.5%	279 24.6%	307 27.1%	240 21.2%	51 4.5%
	高校2年生	1119 100.0%	232 20.7%	280 25.0%	312 27.9%	234 20.9%	61 5.5%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 83 世帯類型と平日の放課後一緒に過ごす相手（一人である）のクロス

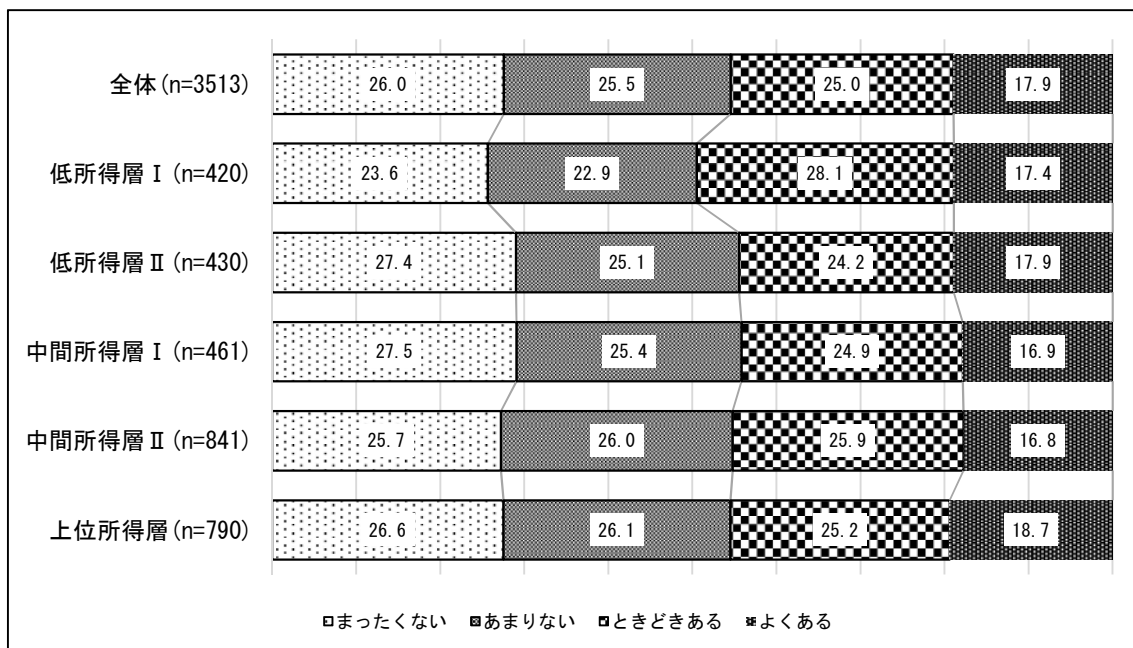
		合計	放課後一緒に過ごす相手（一人である）				
			まったくない	あまりない	ときどきある	よくある	不明
全体		3513 100.0%	915 26.0%	897 25.5%	880 25.0%	629 17.9%	192 5.5%
世帯類型	ひとり親世帯	496 100.0%	99 20.0%	118 23.8%	119 24.0%	121 24.4%	39 7.9%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	748 27.3%	701 25.6%	707 25.8%	453 16.6%	128 4.7%
	その他世帯	24 100.0%	7 29.2%	6 25.0%	2 8.3%	7 29.2%	2 8.3%
	不明	256 100.0%	61 23.8%	72 28.1%	52 20.3%	48 18.8%	23 9.0%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 84 所得階層と平日の放課後一緒に過ごす相手（一人である）のクロス

		合計	放課後一緒に過ごす相手（一人である）				
			まったくない	あまりない	ときどきある	よくある	不明
全体		3513 100.0%	915 26.0%	897 25.5%	880 25.0%	629 17.9%	192 5.5%
所得階層	低所得層Ⅰ	420 100.0%	99 23.6%	96 22.9%	118 28.1%	73 17.4%	34 8.1%
	低所得層Ⅱ	430 100.0%	118 27.4%	108 25.1%	104 24.2%	77 17.9%	23 5.3%
	中間所得層Ⅰ	461 100.0%	127 27.5%	117 25.4%	115 24.9%	78 16.9%	24 5.2%
	中間所得層Ⅱ	841 100.0%	216 25.7%	219 26.0%	218 25.9%	141 16.8%	47 5.6%
	上位所得層	790 100.0%	210 26.6%	206 26.1%	199 25.2%	148 18.7%	27 3.4%
	不明	571 100.0%	145 25.4%	151 26.4%	126 22.1%	112 19.6%	37 6.5%

※小5、中2、高2の子どもが回答



※小5、中2、高2の子どもが回答

放課後、一人でいることが「よくある」「ときどきある」と回答した者の割合は、中学生以降に増え、全体で約半数が「ときどきある」「よくある」と回答している（小5では33.0%、中2では48.3%、高2では48.8%）（表82）。

世帯類型別にみると、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯の子どもの方が、放課後、一人でいることが「よくある」と回答した者が多く（ひとり親世帯では24.4%、ふたり親世帯では16.6%）、逆に「まったくない」と回答した者が少ない（ひとり親世帯では20.0%、ふたり親世帯では27.3%）（表83）。

所得階層別にみると、放課後、一人で過ごすかどうかに関して、所得階層による違いはほとんどみられない（表84）。

表 85 学年とほっとできる場所のクロス

		合計	ほっとできる居場所											
			自分の家	同じ学校の友だちの家	同じ学校ではない友だちの家	塾や習い事	学校(部活など)	スポーツクラブの活動の場 (野球場、サッカー場など)	公園	図書館や公共の施設	ショッピングセンター	児童会館	ない	不明
全体		3513 100.0%	2894 82.4%	45 1.3%	16 0.5%	42 1.2%	110 3.1%	16 0.5%	74 2.1%	19 0.5%	7 0.2%	6 0.2%	144 4.1%	140 4.0%
学年	小学5年生	1262 100.0%	1043 82.6%	13 1.0%	1 0.1%	21 1.7%	17 1.3%	8 0.6%	49 3.9%	5 0.4%	1 0.1%	5 0.4%	31 2.5%	68 5.4%
	中学2年生	1132 100.0%	906 80.0%	18 1.6%	7 0.6%	10 0.9%	44 3.9%	6 0.5%	18 1.6%	12 1.1%	3 0.3%	1 0.1%	63 5.6%	44 3.9%
	高校2年生	1119 100.0%	945 84.5%	14 1.3%	8 0.7%	11 1.0%	49 4.4%	2 0.2%	7 0.6%	2 0.2%	3 0.3%	0 0.0%	50 4.5%	28 2.5%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 86 世帯類型とほっとできる場所のクロス

		合計	ほっとできる居場所											
			自分の家	同じ学校の友だちの家	同じ学校ではない友だちの家	塾や習い事	学校(部活など)	スポーツクラブの活動の場 (野球場、サッカー場など)	公園	図書館や公共の施設	ショッピングセンター	児童会館	ない	不明
全体		3513 100.0%	2894 82.4%	45 1.3%	16 0.5%	42 1.2%	110 3.1%	16 0.5%	74 2.1%	19 0.5%	7 0.2%	6 0.2%	144 4.1%	140 4.0%
世帯 類型	ひとり親世帯	496 100.0%	405 81.7%	7 1.4%	5 1.0%	1 0.2%	11 2.2%	1 0.2%	15 3.0%	2 0.4%	2 0.4%	1 0.2%	25 5.0%	21 4.2%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	2269 82.9%	36 1.3%	11 0.4%	38 1.4%	89 3.3%	11 0.4%	52 1.9%	17 0.6%	4 0.1%	5 0.2%	98 3.6%	107 3.9%
	その他世帯	24 100.0%	20 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%
	不明	256 100.0%	200 78.1%	2 0.8%	0 0.0%	3 1.2%	9 3.5%	4 1.6%	6 2.3%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	19 7.4%	12 4.7%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 87 所得階層とほっとできる場所のクロス

	合計	ほっとできる居場所												
		自分の家	同じ学校の友だちの家	同じ学校ではない友だちの家	塾や習い事	学校（部活など）	スポーツクラブの活動の場 （野球場、サッカー場など）	公園	図書館や公共の施設	ショッピングセンター	児童会館	ない	不明	
全体	3513 100.0%	2894 82.4%	45 1.3%	16 0.5%	42 1.2%	110 3.1%	16 0.5%	74 2.1%	19 0.5%	7 0.2%	6 0.2%	144 4.1%	140 4.0%	
所得階層	低所得層Ⅰ	420 100.0%	346 82.4%	9 2.1%	2 0.5%	0 0.0%	12 2.9%	0 0.0%	12 2.9%	3 0.7%	1 0.2%	1 0.2%	15 3.6%	19 4.5%
	低所得層Ⅱ	430 100.0%	364 84.7%	4 0.9%	3 0.7%	4 0.9%	10 2.3%	2 0.5%	10 2.3%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.2%	20 4.7%	10 2.3%
	中間所得層Ⅰ	461 100.0%	382 82.9%	6 1.3%	3 0.7%	4 0.9%	14 3.0%	2 0.4%	6 1.3%	4 0.9%	1 0.2%	0 0.0%	18 3.9%	21 4.6%
	中間所得層Ⅱ	841 100.0%	701 83.4%	7 0.8%	5 0.6%	10 1.2%	26 3.1%	4 0.5%	17 2.0%	5 0.6%	2 0.2%	1 0.1%	30 3.6%	33 3.9%
	上位所得層	790 100.0%	652 82.5%	10 1.3%	2 0.3%	16 2.0%	27 3.4%	2 0.3%	19 2.4%	3 0.4%	1 0.1%	1 0.1%	28 3.5%	29 3.7%
	不明	571 100.0%	449 78.6%	9 1.6%	1 0.2%	8 1.4%	21 3.7%	6 1.1%	10 1.8%	3 0.5%	1 0.2%	2 0.4%	33 5.8%	28 4.9%

※小5、中2、高2の子どもが回答

ほっとできる居場所に関しては、学年（表 85）、世帯類型（表 86）、所得階層（表 87）別、いずれに関しても「自分の家」と回答する者が、どのカテゴリーにおいても8割を超えており、顕著な違いは見られない。

表 88 学年と悩みごとの相談相手のクロス

	合計	悩みごとの相談相手（※複数回答）													
		親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	同じ学校の友だち	同じ学校ではない友だち	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、塾・ 習い事の先生、地域の人など）	バイト先の人	ネットで知り合った人	その他（左記以外の人）	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	不明
全体	3513	2508	840	516	1271	2253	665	215	215	16	157	63	131	294	169
	—	71.4%	23.9%	14.7%	36.2%	64.1%	18.9%	6.1%	6.1%	0.5%	4.5%	1.8%	3.7%	8.4%	4.8%
学 年	小学 5年 生	1262	968	317	276	571	739	94	92	0	29	18	52	89	95
		—	76.7%	25.1%	21.9%	45.2%	58.6%	7.4%	7.3%	0.0%	2.3%	1.4%	4.1%	7.1%	7.5%
	中学 2年 生	1132	787	263	158	438	760	159	76	0	58	22	45	123	40
	—	69.5%	23.2%	14.0%	38.7%	67.1%	14.0%	6.7%	7.2%	0.0%	5.1%	1.9%	4.0%	10.9%	3.5%
高校 2年 生	1119	753	260	82	262	754	412	47	51	16	70	23	34	82	34
	—	67.3%	23.2%	7.3%	23.4%	67.4%	36.8%	4.2%	4.6%	1.4%	6.3%	2.1%	3.0%	7.3%	3.0%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 89 世帯類型と悩みごとの相談相手のクロス

	合計	悩みごとの相談相手（※複数回答）													
		親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	同じ学校の友だち	同じ学校ではない友だち	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、 塾・習い事の先生、地域の人など）	バイト先の人	ネットで知り合った人	その他（左記以外の人）	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	不明
全体	3513	2508	840	516	1271	2253	665	215	215	16	157	63	131	294	169
	—	71.4%	23.9%	14.7%	36.2%	64.1%	18.9%	6.1%	6.1%	0.5%	4.5%	1.8%	3.7%	8.4%	4.8%
世 帯 類 型	ひとり親 世帯	496	332	103	76	174	304	99	26	7	32	14	27	53	15
		—	66.9%	20.8%	15.3%	35.1%	61.3%	20.0%	5.2%	1.4%	6.5%	2.8%	5.4%	10.7%	3.0%
	ふたり親 世帯	2737	2000	671	391	1006	1788	520	171	7	115	45	91	211	129
		—	73.1%	24.5%	14.3%	36.8%	65.3%	19.0%	6.2%	0.3%	4.2%	1.6%	3.3%	7.7%	4.7%
その他世 帯	24	16	6	6	6	18	3	0	0	0	0	0	1	1	2
	—	66.7%	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	8.3%
不明	256	160	60	43	85	143	43	18	21	2	10	4	12	29	23
	—	62.5%	23.4%	16.8%	33.2%	55.9%	16.8%	7.0%	8.2%	0.8%	3.9%	1.6%	4.7%	11.3%	9.0%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 90 所得階層と悩みごとの相談相手のクロス

		悩みごとの相談相手（※複数回答）														
		合計	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	同じ学校の友だち	同じ学校ではない友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人もなど）	バイト先の人	ネットで知り合った人	その他（左記以外の人）	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	不明
全体		3513	2508	840	516	1271	2253	665	215	215	16	157	63	131	294	169
		—	71.4%	23.9%	14.7%	36.2%	64.1%	18.9%	6.1%	6.1%	0.5%	4.5%	1.8%	3.7%	8.4%	4.8%
所得階層	低所得層Ⅰ	420	274	98	59	139	262	73	29	18	5	22	7	20	36	20
		—	65.2%	23.3%	14.0%	33.1%	62.4%	17.4%	6.9%	4.3%	1.2%	5.2%	1.7%	4.8%	8.6%	4.8%
	低所得層Ⅱ	430	315	94	68	158	274	76	31	16	3	16	10	18	37	17
		—	73.3%	21.9%	15.8%	36.7%	63.7%	17.7%	7.2%	3.7%	0.7%	3.7%	2.3%	4.2%	8.6%	4.0%
	中間所得層Ⅰ	461	324	102	71	170	300	83	26	28	2	27	7	21	40	19
		—	70.3%	22.1%	15.4%	36.9%	65.1%	18.0%	5.6%	6.1%	0.4%	5.9%	1.5%	4.6%	8.7%	4.1%
	中間所得層Ⅱ	841	624	209	121	316	547	176	44	53	2	37	9	28	74	40
	—	74.2%	24.9%	14.4%	37.6%	65.0%	20.9%	5.2%	6.3%	0.2%	4.4%	1.1%	3.3%	8.8%	4.8%	
上位所得層	790	590	211	120	283	523	160	56	65	0	34	19	23	59	32	
	—	74.7%	26.7%	15.2%	35.8%	66.2%	20.3%	7.1%	8.2%	0.0%	4.3%	2.4%	2.9%	7.5%	4.1%	
不明	571	381	126	77	205	347	97	29	35	4	21	11	21	48	41	
	—	66.7%	22.1%	13.5%	35.9%	60.8%	17.0%	5.1%	6.1%	0.7%	3.7%	1.9%	3.7%	8.4%	7.2%	

※小5、中2、高2の子どもが回答

悩みごとの相談相手に関しては、学年が上がるにつれて、親とする者の割合が減少し（小5では76.7%、中2では69.5%、高2では67.3%）、同じ学校の友だちが増える傾向がみられる。また中高生で顕著に減るのが祖父母（小5では21.9%、中2では14.0%、高2では7.3%）や学校の先生（小5では45.2%、中2では38.7%、高2では23.4%）であり、逆に高校生で顕著に増えるのが、同じ学校ではない友だちである（小5では7.4%、中2では14.0%、高2では36.8%）（表88）。

世帯類型別にみると、親を相談相手とする者の割合が、ひとり親世帯のほうがやや少なくない（ひとり親世帯では66.9%、ふたり親世帯では73.1%）。またわずかではあるが、だれにも相談できない、だれにも相談したくない者の割合が、ひとり親世帯のほうが多い（合わせるとひとり親世帯では16.1%、ふたり親世帯では11.0%）（表89）。

所得階層別にみると、親を相談相手とする者の割合が、他の階層がすべて7割を超えている中で、低所得層Ⅰのみが65.2%とやや低い値を示している。その一方で、だれにも相談できない者の割合は、低所得層Ⅰ～中間所得層Ⅰの間では差は見られないものの、中間所得層Ⅱ、上位所得層では他の階層に比べ、さらに低い値を示している（表90）。

表 91 学年と平日に夕食をだれと食べるかのクロス

		合計	平日に夕食をだれと食べるか（※小学2年生は保護者が回答）				
			家族	家族以外の人	きょうだいだけで食べる	一人で食べる	不明
全体		4762 100.0%	4188 84.3%	38 0.8%	153 3.1%	280 5.6%	103 6.2%
学年	小学2年生	1249 100.0%	1142 91.4%	13 1.0%	45 3.6%	10 0.8%	39 3.1%
	小学5年生	1262 100.0%	1155 91.5%	6 0.5%	37 2.9%	32 2.5%	32 2.5%
	中学2年生	1132 100.0%	989 87.4%	5 0.4%	47 4.2%	72 6.4%	19 1.7%
	高校2年生	1119 100.0%	902 80.6%	14 1.3%	24 2.1%	166 14.8%	13 1.2%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

表 92 世帯類型と平日に夕食をだれと食べるかのクロス

		合計	平日に夕食をだれと食べるか（※小学2年生は保護者が回答）				
			家族	家族以外の人	きょうだいだけで食べる	一人で食べる	不明
全体		4762 100.0%	4188 87.9%	38 0.8%	153 3.2%	280 5.9%	103 2.2%
世帯類型	ひとり親世帯	615 100.0%	500 81.3%	6 1.0%	24 3.9%	62 10.1%	23 3.7%
	ふたり親世帯	3857 100.0%	3450 89.4%	26 0.7%	117 3.0%	189 4.9%	75 1.9%
	その他世帯	28 100.0%	25 89.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.7%	0 0.0%
	不明	262 100.0%	213 81.3%	6 2.3%	12 4.6%	26 9.9%	5 1.9%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

表 93 所得階層と平日に夕食をだれと食べるかのクロス

		合計	平日に夕食をだれと食べるか（※小学2年生は保護者が回答）				
			家族	家族以外の人	きょうだいだけで食べる	一人で食べる	不明
全体		4762 100.0%	4188 87.9%	38 0.8%	153 3.2%	280 5.9%	103 2.2%
所得階層	低所得層Ⅰ	560 100.0%	471 84.1%	4 0.7%	21 3.8%	43 7.7%	21 3.8%
	低所得層Ⅱ	603 100.0%	527 87.4%	5 0.8%	29 4.8%	29 4.8%	13 2.2%
	中間所得層Ⅰ	654 100.0%	580 88.7%	5 0.8%	24 3.7%	29 4.4%	16 2.4%
	中間所得層Ⅱ	1139 100.0%	1022 89.7%	3 0.3%	31 2.7%	69 6.1%	14 1.2%
	上位所得層	1104 100.0%	982 88.9%	10 0.9%	28 2.5%	65 5.9%	19 1.7%
	不明	702 100.0%	606 86.3%	11 1.6%	20 2.8%	45 6.4%	20 2.8%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

夕食を誰と食べるかについては、学年が高くなるにつれて、家族と回答する者の割合が減り（小2では91.4%、小5では91.5%、中2では87.4%、高2では80.6%）、一人で食べると回答する者の割合が増え（小2では0.8%、小5では2.5%、中2では6.4%、高2では14.8%）、特に高校生で顕著である（表91）。

世帯類型別にみると、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯の子どものほうが、家族と食べると回答する者の割合がやや低く（ひとり親世帯では81.3%、ふたり親世帯では89.4%）、一人で食べると回答する者の割合が高い（ひとり親世帯では10.1%、ふたり親世帯では4.9%）（表92）。

所得階層別にみると、低所得層Ⅰにおいて、若干ではあるが、家族と回答する者の割合が低く（84.1%）、一人で食べると回答する者の割合が高い（7.7%）（表93）。

3 進学・勉強時間・成績について

表 94 学年とどの段階まで進学したいかのクロス

		合計	どの段階まで進学したいか							
			(小学5年生 中学2年生)	高校まで	短大	高等専門学校	専門学校	大学またはそれ以上	まだわからない	不明
全体		3513 100.0%	10 0.3%	308 8.8%	53 1.5%	45 1.3%	367 10.4%	1824 51.9%	882 25.1%	24 0.7%
学年	小学5年生	1262 100.0%	8 0.6%	142 11.3%	11 0.9%	24 1.9%	124 9.8%	469 37.2%	466 36.9%	18 1.4%
	中学2年生	1132 100.0%	2 0.2%	108 9.5%	23 2.0%	13 1.1%	126 11.1%	541 47.8%	315 27.8%	4 0.4%
	高校2年生	1119 100.0%	0 0.0%	58 5.2%	19 1.7%	8 0.7%	117 10.5%	814 72.7%	101 9.0%	2 0.2%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 95 世帯類型とどの段階まで進学したいかのクロス

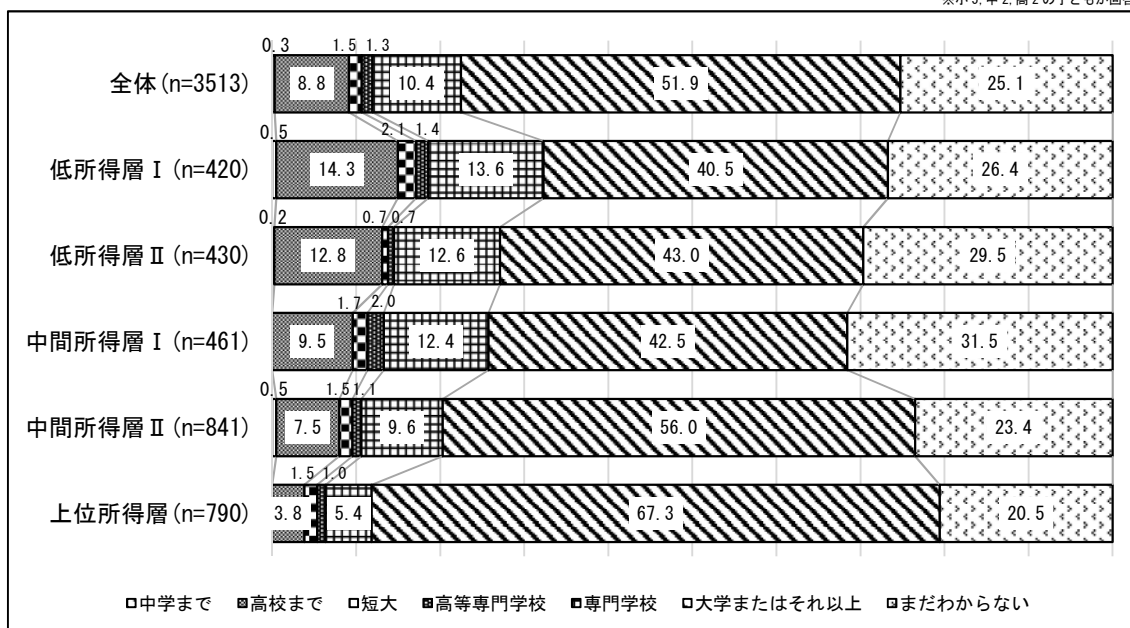
		合計	どの段階まで進学したいか							
			中学まで	高校まで	短大	高等専門学校	専門学校	大学またはそれ以上	まだわからない	不明
全体		3513 100.0%	10 0.3%	308 8.8%	53 1.5%	45 1.3%	367 10.4%	1824 51.9%	882 25.1%	24 0.7%
世帯 類型	ひとり親世帯	496 100.0%	2 0.4%	57 11.5%	7 1.4%	8 1.6%	87 17.5%	211 42.5%	120 24.2%	4 0.8%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	7 0.3%	220 8.0%	43 1.6%	33 1.2%	241 8.8%	1499 54.8%	680 24.8%	14 0.5%
	その他世帯	24 100.0%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	1 4.2%	3 12.5%	9 37.5%	9 37.5%	0 0.0%
	不明	256 100.0%	1 0.4%	29 11.3%	3 1.2%	3 1.2%	36 14.1%	105 41.0%	73 28.5%	6 2.3%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 96 所得階層とどの段階まで進学したいかのクロス

		合計	どの段階まで進学したいか							
			中学まで	高校まで	短大	高等専門学校	専門学校	大学またはそれ以上	まだわからない	不明
全体		3513 100.0%	10 0.3%	308 8.8%	53 1.5%	45 1.3%	367 10.4%	1824 51.9%	882 25.1%	24 0.7%
所得階層	低所得層 I	420 100.0%	2 0.5%	60 14.3%	9 2.1%	6 1.4%	57 13.6%	170 40.5%	111 26.4%	5 1.2%
	低所得層 II	430 100.0%	1 0.2%	55 12.8%	3 0.7%	3 0.7%	54 12.6%	185 43.0%	127 29.5%	2 0.5%
	中間所得層 I	461 100.0%	0 0.0%	44 9.5%	8 1.7%	9 2.0%	57 12.4%	196 42.5%	145 31.5%	2 0.4%
	中間所得層 II	841 100.0%	4 0.5%	63 7.5%	13 1.5%	9 1.1%	81 9.6%	471 56.0%	197 23.4%	3 0.4%
	上位所得層	790 100.0%	0 0.0%	30 3.8%	12 1.5%	8 1.0%	43 5.4%	532 67.3%	162 20.5%	3 0.4%
	不明	571 100.0%	3 0.5%	56 9.8%	8 1.4%	10 1.8%	75 13.1%	270 47.3%	140 24.5%	9 1.6%

※小5、中2、高2の子どもが回答



※小5、中2、高2の子どもが回答

進学について、全体で「大学またはそれ以上」を約半数（51.9%）のこどもが選択した。「高校まで」と回答する割合は、全体で 8.8%であり、学年が上がるごとにその割合は低くなっている（小5では 11.3%、高2では 5.2%）（表 94）。

ひとり親世帯はふたり親世帯よりも 10%以上「大学以上」を希望する割合が少ない（ひとり親世帯では 42.5%、ふたり親世帯では 54.8%）（表 95）。

所得階層ごとにみると、上位2層（上位所得層、中間所得層Ⅱ）は低所得層Ⅰ～中間所得層Ⅰに比べて「大学以上」の希望が多い（上位所得層では67.3%、中間所得層Ⅱでは56.0%）。一方、低所得層Ⅰ～中間所得層Ⅰの各カテゴリにおいても約4割の子どもが「大学以上」を希望している（表96）。

「高校まで」、「専門学校」は上記と逆のパターンを示しており、ひとり親世帯はふたり親世帯よりも「高校まで」、「専門学校」を希望する割合が多く（合わせるとひとり親世帯では29.0%、ふたり親世帯では16.8%）、所得階層が高い世帯よりも所得階層が低い世帯ほど「高校まで」、「専門学校」を希望する割合が多い（合わせると低所得層Ⅰでは27.9%、上位所得層では9.2%）。

表 97 学年とどの段階まで進学したいかという間に「高校まで」と答えた理由のクロス

	合計	どの段階まで進学したいかという間に「高校まで」と答えた理由（※複数回答）														
		希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	よい仕事につけないから	親もその進路を選択している	勉強する意味がわからないか	学びたいことがあるから	その他	とくに理由はない	不明	
全体	308 —%	116 37.7%	68 22.1%	31 10.1%	16 5.2%	17 5.5%	32 10.4%	34 11.0%	36 11.7%	14 4.5%	21 6.8%	40 13.0%	27 8.8%	68 22.1%	9 2.9%	
学年	小学5年生	142 —%	49 34.5%	29 20.4%	7 4.9%	9 6.3%	3 2.1%	10 7.0%	15 10.6%	21 14.8%	7 4.9%	8 5.6%	30 21.1%	18 12.7%	30 21.1%	4 2.8%
	中学2年生	108 —%	41 38.0%	31 28.7%	20 18.5%	5 4.6%	14 13.0%	14 13.0%	12 11.1%	14 13.0%	6 5.6%	9 8.3%	10 9.3%	7 6.5%	26 24.1%	1 0.9%
	高校2年生	58 —%	26 44.8%	8 13.8%	4 6.9%	2 3.4%	0 0.0%	8 13.8%	7 12.1%	1 1.7%	1 1.7%	4 6.9%	0 0.0%	2 3.4%	12 20.7%	4 6.9%

※小5、中2、高2の子どもが回答（表94～96の間に「高校まで」と答えた人のみで集計）

どの段階まで進学したいかという問いに「高校まで」と答えた子どものうちで（308名）、一番大きな理由は「希望する学校や職業があるから」（37.7%）であった。「自分の成績から考えて」が2割ほどであった。また、「親がそう言っているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」など、家庭の経済状況を反映する理由付けも各1割程度見られた。

表 98 学年と授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）のクロス

		合計	授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）（小学2年生は保護者が回答）							不明
			まったくしない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	
全体		4762 100.0%	377 7.9%	1104 23.2%	1465 30.8%	1078 22.6%	489 10.3%	180 3.8%	3 0.1%	66 1.4%
学年	小学2年生	1249 100.0%	16 1.3%	497 39.8%	564 45.2%	140 11.2%	15 1.2%	5 0.4%	3 0.2%	9 0.7%
	小学5年生	1262 100.0%	46 3.6%	260 20.6%	438 34.7%	325 25.8%	100 7.9%	64 5.1%	0 0.0%	29 2.3%
	中学2年生	1132 100.0%	90 8.0%	152 13.4%	236 20.8%	362 32.0%	231 20.4%	48 4.2%	0 0.0%	13 1.1%
	高校2年生	1119 100.0%	225 20.1%	195 17.4%	227 20.3%	251 22.4%	143 12.8%	63 5.6%	0 0.0%	15 1.3%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

表 99 世帯類型と授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）のクロス

		合計	授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）（小学2年生は保護者が回答）							不明
			まったくしない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	
全体		4762 100.0%	377 7.9%	1104 23.2%	1465 30.8%	1078 22.6%	489 10.3%	180 3.8%	3 0.1%	66 1.4%
世帯類型	ひとり親世帯	615 100.0%	77 12.5%	168 27.3%	153 24.9%	127 20.7%	64 10.4%	17 2.8%	0 0.0%	9 1.5%
	ふたり親世帯	3857 100.0%	259 6.7%	879 22.8%	1241 32.2%	886 23.0%	386 10.0%	151 3.9%	3 0.1%	52 1.3%
	その他世帯	28 100.0%	5 17.9%	7 25.0%	8 28.6%	4 14.3%	4 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	262 100.0%	36 13.7%	50 19.1%	63 24.0%	61 23.3%	35 13.4%	12 4.6%	0 0.0%	5 1.9%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

表 100 所得階層と授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）のクロス

		合計	授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）（小学2年生は保護者が回答）							
			まったくしない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	不明
全体		4762 100.0%	377 7.9%	1104 23.2%	1465 30.8%	1078 22.6%	489 10.3%	180 3.8%	3 0.1%	66 1.4%
所得階層	低所得層Ⅰ	560 100.0%	73 13.0%	151 27.0%	158 28.2%	112 20.0%	46 8.2%	13 2.3%	0 0.0%	7 1.3%
	低所得層Ⅱ	603 100.0%	59 9.8%	167 27.7%	203 33.7%	114 18.9%	38 6.3%	16 2.7%	0 0.0%	6 1.0%
	中間所得層Ⅰ	654 100.0%	42 6.4%	160 24.5%	240 36.7%	121 18.5%	60 9.2%	20 3.1%	0 0.0%	11 1.7%
	中間所得層Ⅱ	1139 100.0%	76 6.7%	258 22.7%	357 31.3%	282 24.8%	104 9.1%	49 4.3%	0 0.0%	13 1.1%
	上位所得層	1104 100.0%	56 5.1%	192 17.4%	332 30.1%	293 26.5%	159 14.4%	57 5.2%	1 0.1%	14 1.3%
	不明	702 100.0%	71 10.1%	176 25.1%	175 24.9%	156 22.2%	82 11.7%	25 3.6%	2 0.3%	15 2.1%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

勉強時間について、学校段階が上がるにつれて「全くしない」と答える割合が高くなる（小2では1.3%、高2では20.1%）。それぞれの学校段階で最頻値は、小学生（小2・小5）が「30分～1時間未満」、中学生（中2）、高校生（高2）が「1～2時間」であった（表98）。

ひとり親世帯はふたり親世帯よりも勉強時間が短い傾向にある。例えば、ふたり親世帯と比較すると5～6%ほど「まったくしない」、「30分未満」の割合が高い（合わせるとひとり親世帯では39.8%、ふたり親世帯では29.5%）（表99）。

所得階層が低いほど「全くしない」「30分未満」のカテゴリの割合がやや高くなっている。一方、1時間以上の各カテゴリではこの傾向が逆転し、所得階層が高いほど該当する者の割合がやや高くなっている。中程度の勉強時間（30分～1時間）や長い勉強時間（3時間以上）では、それほど明確な差はみられない（表100）。

表 101 学年と成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うかのクロス

		合計	成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか					不明
			よいほう	どちらかというときよいほう	まんなかあたり	どちらというときよくないほう	よくないほう	
全体		3513 100.0%	492 14.0%	716 20.4%	1127 32.1%	575 16.4%	552 15.7%	51 1.5%
学年	小学5年生	1262 100.0%	228 18.1%	264 20.9%	463 36.7%	174 13.8%	105 8.3%	28 2.2%
	中学2年生	1132 100.0%	121 10.7%	206 18.2%	328 29.0%	206 18.2%	258 22.8%	13 1.1%
	高校2年生	1119 100.0%	143 12.8%	246 22.0%	336 30.0%	195 17.4%	189 16.9%	10 0.9%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 102 世帯類型と成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うかのクロス

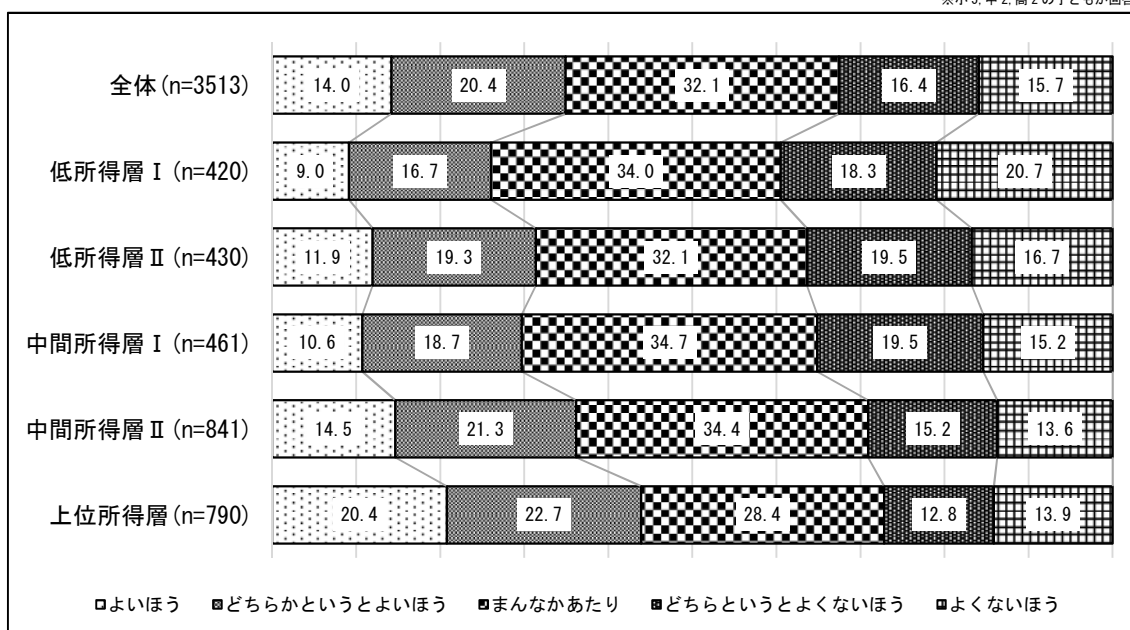
		合計	成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか					不明
			よいほう	どちらかというときよいほう	まんなかあたり	どちらというときよくないほう	よくないほう	
全体		3513 100.0%	492 14.0%	716 20.4%	1127 32.1%	575 16.4%	552 15.7%	51 1.5%
世帯類型	ひとり親世帯	496 100.0%	45 9.1%	92 18.5%	145 29.2%	96 19.4%	110 22.2%	8 1.6%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	418 15.3%	567 20.7%	892 32.6%	430 15.7%	393 14.4%	37 1.4%
	その他世帯	24 100.0%	1 4.2%	6 25.0%	9 37.5%	4 16.7%	4 16.7%	0 0.0%
	不明	256 100.0%	28 10.9%	51 19.9%	81 31.6%	45 17.6%	45 17.6%	6 2.3%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 103 所得階層と成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うかのクロス

		合計	成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか					不明
			よいほう	どちらかというといほう	まんなかあたり	どちらというといよくないほう	よくないほう	
全体		3513 100.0%	492 14.0%	716 20.4%	1127 32.1%	575 16.4%	552 15.7%	51 1.5%
所得階層	低所得層 I	420 100.0%	38 9.0%	70 16.7%	143 34.0%	77 18.3%	87 20.7%	5 1.2%
	低所得層 II	430 100.0%	51 11.9%	83 19.3%	138 32.1%	84 19.5%	72 16.7%	2 0.5%
	中間所得層 I	461 100.0%	49 10.6%	86 18.7%	160 34.7%	90 19.5%	70 15.2%	6 1.3%
	中間所得層 II	841 100.0%	122 14.5%	179 21.3%	289 34.4%	128 15.2%	114 13.6%	9 1.1%
	上位所得層	790 100.0%	161 20.4%	179 22.7%	224 28.4%	101 12.8%	110 13.9%	15 1.9%
	不明	571 100.0%	71 12.4%	119 20.8%	173 30.3%	95 16.6%	99 17.3%	14 2.5%

※小5、中2、高2の子どもが回答



※小5、中2、高2の子どもが回答

成績の自己認知についての設問であるが、小5で「よいほう」と答える割合が中2、高2に比べて高い傾向が見られた(小5では18.1%、中2では10.7%、高2では12.8%)。「よくないほう」については、中2が最も高い割合を示した(小2では8.3%、中2で

は 22.8%、高 2 では 16.9%) (表 101)。

ふたり親世帯のほうが、ひとり親世帯に比べて「よいほう」に回答する割合が高く(ひとり親世帯では 9.1%、ふたり親世帯では 15.3%)、「よくないほう」ではひとり親世帯の方が高い傾向にある(ひとり親世帯では 22.2%、ふたり親世帯では 14.4%) (表 102)。

所得階層別では、「よいほう」、「どちらかというよいほう」と答える割合が所得上位層ほど多い(合わせると低所得層 I では 25.7%、上位所得層では 43.0%) (表 103)。

4 健康（精神衛生）について

表 104 学年と抑うつ尺度のクロス

		合計	抑うつ尺度		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		3513 100.0%	2427 69.1%	1052 29.9%	34 1.0%
学年	小学5年生	1262 100.0%	1042 82.6%	208 16.5%	12 1.0%
	中学2年生	1132 100.0%	750 66.3%	376 33.2%	6 0.5%
	高校2年生	1119 100.0%	635 56.7%	468 41.8%	16 1.4%

表 105 世帯類型と抑うつ尺度のクロス

※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

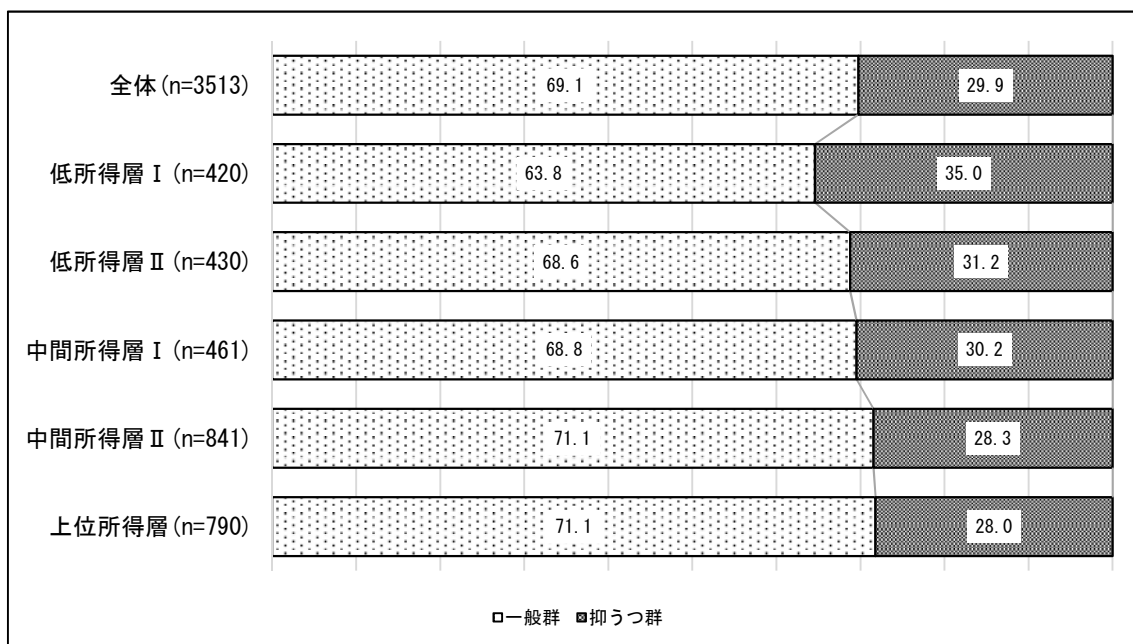
		合計	抑うつ尺度		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		3513 100.0%	2427 69.1%	1052 29.9%	34 1.0%
世帯類型	ひとり親世帯	496 100.0%	338 68.1%	154 31.0%	4 0.8%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	1904 69.6%	808 29.5%	25 0.9%
	その他世帯	24 100.0%	16 66.7%	8 33.3%	0 0.0%
	不明	256 100.0%	169 66.0%	82 32.0%	5 2.0%

表 106 所得階層と抑うつ尺度のクロス

※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

		合計	抑うつ尺度		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		3513 100.0%	2427 69.1%	1052 29.9%	34 1.0%
所得階層	低所得層 I	420 100.0%	268 63.8%	147 35.0%	5 1.2%
	低所得層 II	430 100.0%	295 68.6%	134 31.2%	1 0.2%
	中間所得層 I	461 100.0%	317 68.8%	139 30.2%	5 1.1%
	中間所得層 II	841 100.0%	598 71.1%	238 28.3%	5 0.6%
	上位所得層	790 100.0%	562 71.1%	221 28.0%	7 0.9%
	不明	571 100.0%	387 67.8%	173 30.3%	11 1.9%

※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類



※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

うつとは、気分がふさぎ込む憂うつな状態を表している。今回の調査では、子どもに対し、過去1週間どんな気持であったかを聞く設問に対する回答を点数化している。

今回、子どもを対象に使用した抑うつを測定する尺度は、7点にカットオフ値が設定されており、7点以上を取っていると、心理的な問題が生じる可能性が高くなることを意味している。今回の調査では、この尺度の得点が7点より低かった群を「一般群」、7点以上の群を「抑うつ群」と定義し分析を行った。

まず学年による違いについては、学年が上がるにつれて、抑うつ群の割合が高くなり、一般群の割合が低くなる（抑うつ群が小5では16.5%、高2では41.8%）（表104）。

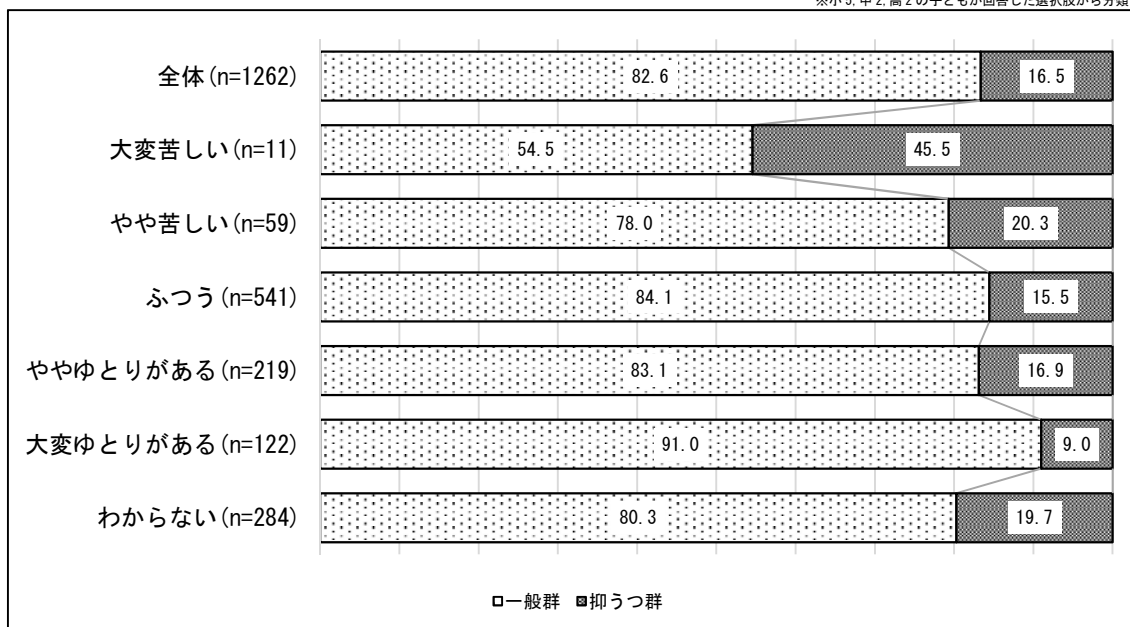
世帯類型別にみると、ひとり親世帯とふたり親世帯で、ほとんど差はみられない（表105）。つまり、世帯類型は、子どもの精神衛生にほとんど影響を与えていないと考えられる。

所得階層別にみると、所得階層が低い層において抑うつ群の割合が若干ではあるが、高くなり、一般群の割合が低くなる傾向がみられる（抑うつ群が低所得層Iでは35.0%、上位所得層では28.0%）（表106）。

表 107 自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス

		合計	分類		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		1262 100.0%	1042 82.6%	208 16.5%	12 1.0%
自分の家の暮らし向き	大変苦しい	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	0 0.0%
	やや苦しい	59 100.0%	46 78.0%	12 20.3%	1 1.7%
	ふつう	541 100.0%	455 84.1%	84 15.5%	2 0.4%
	ややゆとりがある	219 100.0%	182 83.1%	37 16.9%	0 0.0%
	大変ゆとりがある	122 100.0%	111 91.0%	11 9.0%	0 0.0%
	わからない	284 100.0%	228 80.3%	56 19.7%	0 0.0%
	不明	26 100.0%	14 53.8%	3 11.5%	9 34.6%

※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

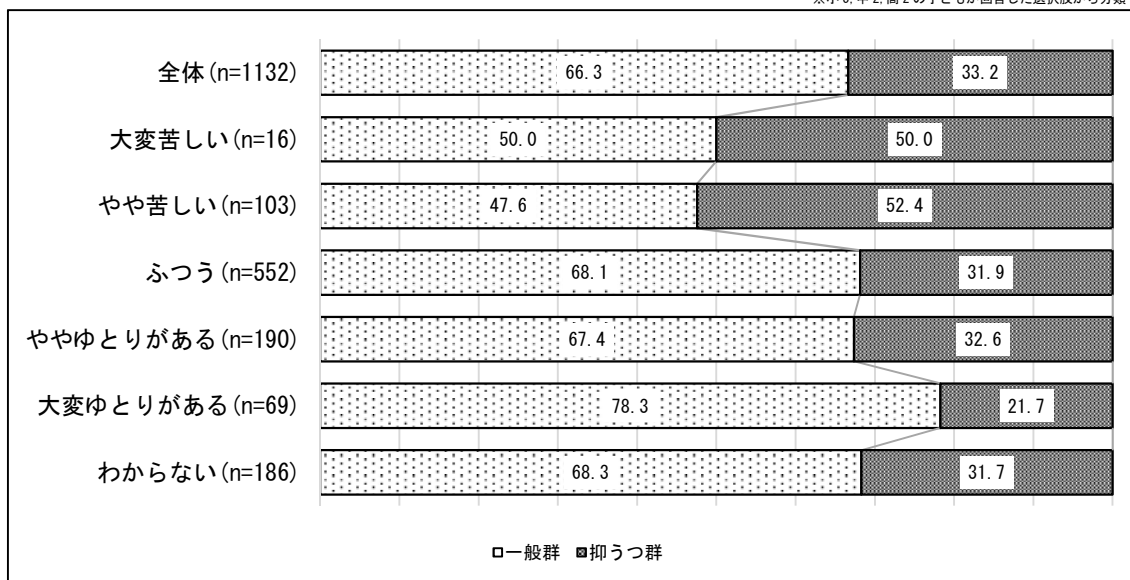


※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

表 108 自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス

		合計	分類		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		1132	750	376	6
		100.0%	66.3%	33.2%	0.5%
自分の家の暮らし向き	大変苦しい	16	8	8	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	やや苦しい	103	49	54	0
		100.0%	47.6%	52.4%	0.0%
	ふつう	552	376	176	0
		100.0%	68.1%	31.9%	0.0%
	ややゆとりがある	190	128	62	0
		100.0%	67.4%	32.6%	0.0%
大変ゆとりがある	69	54	15	0	
	100.0%	78.3%	21.7%	0.0%	
わからない	186	127	59	0	
	100.0%	68.3%	31.7%	0.0%	
不明	16	8	2	6	
	100.0%	50.0%	12.5%	37.5%	

※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

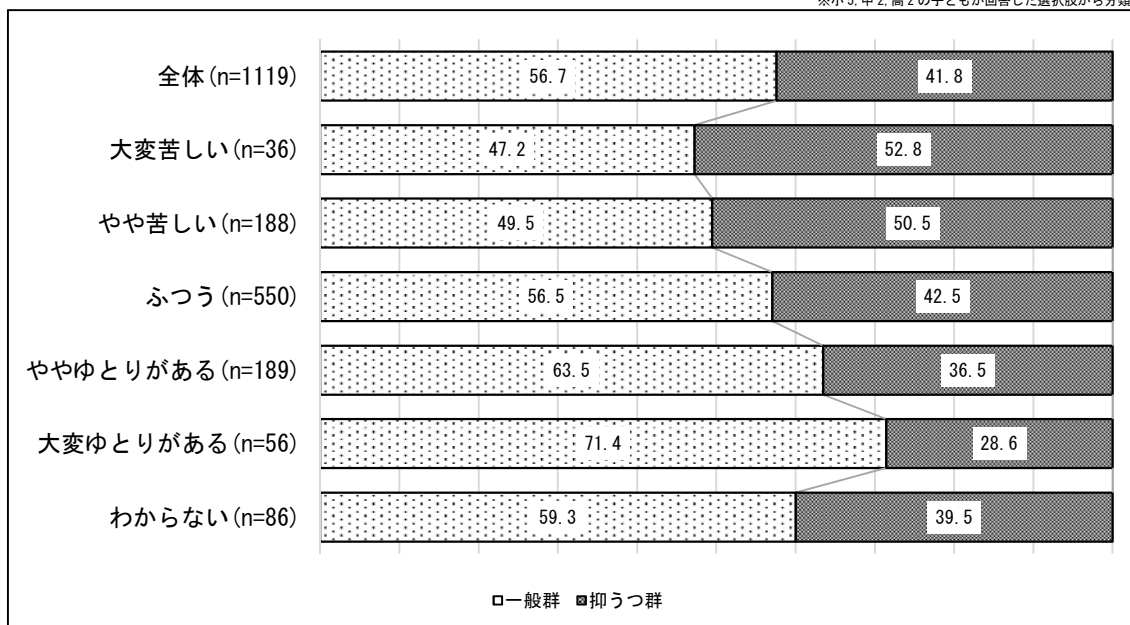


※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

表 109 自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス

		合計	分類		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		1119 100.0%	635 56.7%	468 41.8%	16 1.4%
自分の家の暮らし向き	大変苦しい	36 100.0%	17 47.2%	19 52.8%	0 0.0%
	やや苦しい	188 100.0%	93 49.5%	95 50.5%	0 0.0%
	ふつう	550 100.0%	311 56.5%	234 42.5%	5 0.9%
	ややゆとりがある	189 100.0%	120 63.5%	69 36.5%	0 0.0%
	大変ゆとりがある	56 100.0%	40 71.4%	16 28.6%	0 0.0%
	わからない	86 100.0%	51 59.3%	34 39.5%	1 1.2%
	不明	14 100.0%	3 21.4%	1 7.1%	10 71.4%

※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類



※小5、中2、高2の子どもが回答した選択肢から分類

表 107～109 は、学年別に自分の家の暮らし向きの認知と抑うつとの関係を見たものである。自分の家の暮らし向きを苦しいと感じている者のほうが、抑うつ群に該当する者の割合が高くなる傾向が見られるが、特に中学生・高校生においてその傾向が顕著である。